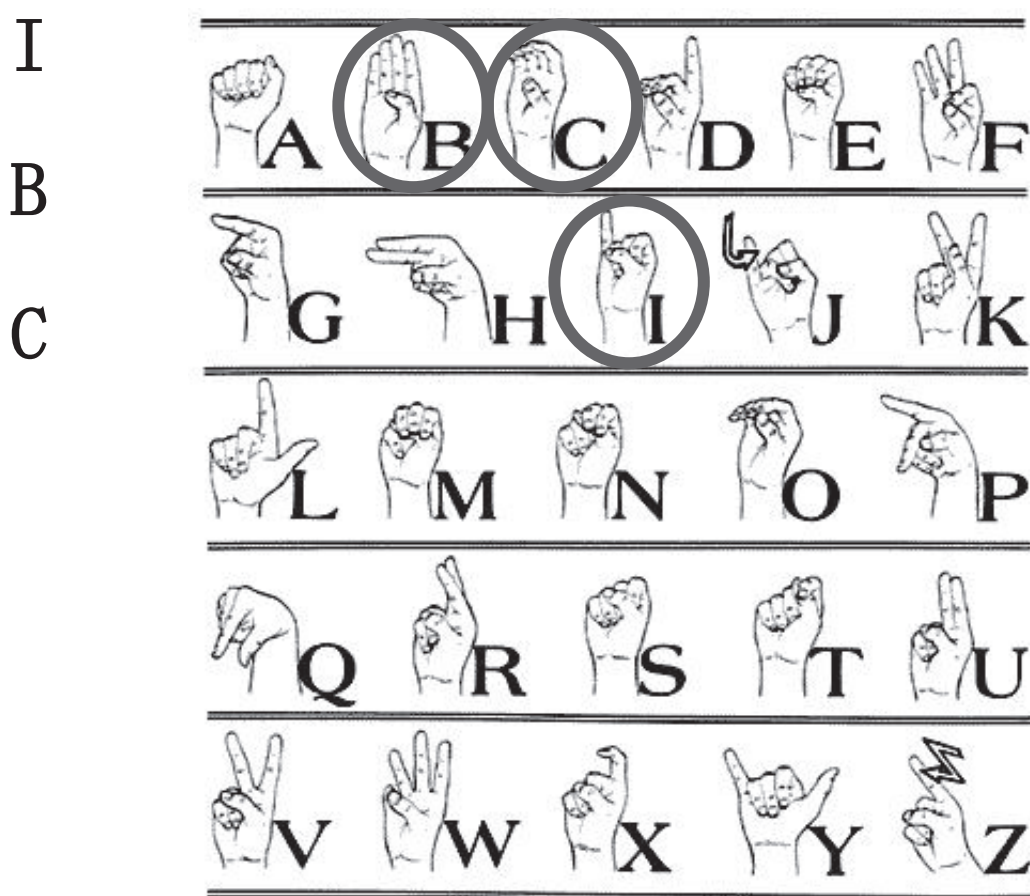


2023年度 後期 シラバス



クラス		名前	
-----	--	----	--

専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ

<目次>

共通	P1~15
ホテル・ブライダル	P17~43
エアライン	P45~69
鉄道	P71~92
国際ホテルマネジメント	P93~127
国際ビジネス	P129~152
夜間総合観光	P153~162

共通

学年	科目名	クラス
1	TOEIC I	EQDY①
1	TOEIC II	EQDY①
1	英検対策 I・II	EQDY②~⑥
1	ホテル英会話	ES
1	コンピュータ	AOY
1	ビジネスマナー	QDMY
1	SPI言語対策	QD
1	SPI非言語対策	QD
1	貿易実務	QD
1、2	観光英語	OD
1、2	西鉄グループ未来塾	EC
1、2、3	韓国語	ATQZN
1、2、3	中国語	ATM
2、3	国際比較文化論	CT

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル・エアライン・国際ビジネス・夜間総合観光科
科目名	TOEIC I			クラス	EQDY①
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化をめざす。 TOEIC頻出の文法事項を理解する。			授業形態	講義
到達目標	TOEIC試験で目標スコアを獲得する。				
使用テキスト	公式TOEIC LISTENING & READING 問題集 9				
成績評価方法	単元テスト・期末試験70% 平常点30%			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	Part1	授業の進め方、評価方法の説明 写真をチェックする 人物、風景と物、乗り物についての表現			
2回	Part2(2)	Yes/No疑問文 付加疑問文 平叙文			
3回	Part3(1)	Part3の攻略 音のひっかけに注意する 練習問題			
4回	Part3(3)	設問を先に読む 図・イラスト問題を攻略する 選択肢を読む			
5回	Part4(2)	場所を問う問題 職業を問う問題 次の行動を問う問題			
6回	Part5(1)	Part5の攻略 品詞問題 名詞・動詞・形容詞・副詞			
7回	Part5(3)	動詞の形と役割 時制 態			
8回	Part5(5)	代名詞・限定詞 適切な格を判断する 可算名詞・不可算名詞			
9回	Part5(7)	Part5のまとめ 単元テスト			
10回	Part6(2)	「分挿入問題」の解き方 空所の前後の内容をリンクさせるキーワードに注意する 練習問題			
11回	Part7(2)	テキストメッセージ、説明書を読む 文脈を意識して読む テキストメッセージメッセージは書き手の関係を整理して読む			
12回	模試	リスニング模試 Part1/Part2/Part3/Part4 答え合わせと解説			
13回	IPテスト直前対策	リスニング対策 よくある場面と設問 頻出語彙			
14回	期末テスト対策	語彙問題 文法問題 読解問題			
15回	TOEIC S&W	TOEIC S&Wテストの案内 スピーキング ライティング			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル・エアライン・国際ビジネス・夜間総合観光科
科目名	TOEIC II			クラス	EDQY①
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化をめざす。 TOEIC頻出の文法事項を理解する。			授業形態	講義
到達目標	TOEIC試験で目標スコアを獲得する。				
使用テキスト	公式TOEIC LISTENING & READING 問題集 9				
成績評価方法	単元テスト・期末試験70% 平常点30%			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	Part2(1)	Part2の攻略の基本を学ぶ WH疑問文を聞き取る キーワードをとらえる			
2回	Part2(3)	「許可」「依頼」「提案」の応答の典型を覚える 音のひっかけに注意する 練習問題			
3回	Part3(2)	設問を先に読む 設問の意味を単純化する 選択肢を読む			
4回	Part4(1)	Part4の攻略の基本を学ぶ 設問の順番に沿ってヒントを聞き取る 会議の抜粋やスピーチを聞く			
5回	Part1~4	リスニングのまとめ 単元テスト			
6回	Part5(2)	品詞問題 発展編 文脈から適切な意味の語を選ぶ 複合名詞			
7回	Part5(4)	関係代名詞 先行詞が人か物かをチェックする 主格・目的格・所有格の判別			
8回	Part5(6)	準動詞の形と役割を理解する 不定詞・動名詞の練習問題 分詞の形と用法を理解する			
9回	Part6(1)	Part6の攻略の基本を学ぶ 設問を分類する 文法・語彙問題を解く			
10回	Part7(1)	Part7の攻略の基本を学ぶ 短い文章から取り組む 広告・Eメールを読む			
11回	Part7(3)	パンフレット・オンラインチャットを読む 時間を管理する シングルパッセージの後半の問題			
12回	模試	リーディング Part5/Part6/Part7 答え合わせ			
13回	IPテスト直前対策	頻出問題(文法・語彙) よくある場面 抽象的な選択肢			
14回	期末テスト	公式問題集9TEST2 Part5/Part6/Part7 単語プリント			
15回	まとめと復習	後期のまとめ 期末テストのフィードバック			

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル、エアライン、国際ビジネス、夜間総合観光科	
科目名	英検対策Ⅰ&Ⅱ			クラス	EQDY	
担当講師(フルネーム)	平島千華 岩永弘輝 脇谷奈々 日高郁子 大神香寿沙 加藤亜希			実務経験	有	
授業概要(内容)	英検各級の語彙、文法についての解説等 注:各クラスで取得目標級が異なる為、授業内容や進度はそれぞれ異なる。			授業形態	講義	
到達目標	10月7日(土)(2023年度第2回)及び1月20日(土)(2023年度第3回)実施の英検に合格できる力をつける。					
使用テキスト	2023年度版 英検過去6回全問題集(旺文社)					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	4
期末試験	△授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	2021年度第2回検定問題		語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
2回	2021年度第2回検定問題		長文問題、語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。			
3回	2021年度第2回検定問題		リスニング問題 英作文指導 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
4回	2023年度第2回検定 解答解説		2022年度第2回検定解答、解説 自身の弱点研究 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
5回	2021年度第2回検定問題		語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
6回	英作文指導 2次試験対策		作文指導(取得目標級により異なる) 2020年度第2回検定問題での未修得箇所の再学習。 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
7回	2021年度第1回検定問題 2次試験対策		語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
8回	2021年度第1回検定問題		長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。			
9回	2021年度第1回検定問題		長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。			
10回	2021年度第1回検定問題		リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
11回	2020年度第3回検定問題		語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
12回	2020年度第3回検定問題		長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。			
13回	2020年度第3回検定問題		リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
14回	2023年度第3回検定 2次試験対策 後期試験		長文読解 英作文問題 2次試験対策 後期試験			
15回	後期試験解答解説 2次試験対策		後期試験解答解説 2022年度第3回検定解答・解説 2次試験対策			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテルプライダル科・国際ホテルマネジメント科
科目名	ホテル英会話			クラス	E・S
担当講師(フルネーム)	日高郁子・中牟田登喜枝			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	接客英語の基本表現を学ぶ ホテル各部門の業務内容に沿った英語表現を学ぶ			授業形態	講義
到達目標	状況に応じて英語で対応できるようになる				
使用テキスト	ホテル英会話II 応用編				
成績評価方法	・筆記試験50% 会話テスト・提出物・平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
テーマ		授業内容			
1回	Lesson 5 check out	前期復習 チェックアウトの手順と英語表現 * チェックアウト会話テスト			
2回	Lesson 6 Telephone & paging	Lesson 5テスト D1&D2			
3回	Lesson 6 Telephone & paging	D3～5 * 電話応答会話テスト			
4回	Lesson 7 Restaunt	Lesson6 テスト D1 レストラン用語			
5回	Lesson 7 Restaunt	D2			
6回	Lesson 7 Restaunt	D3&D4			
7回	Lesson 7 Restaunt	レストランでの接客を英語でロールプレー * レストランでの会話テスト			
8回	Lesson 8 Bar and cocktail ounge	Lesson 7 テスト D1 &D2			
9回	Lesson 8 Bar and cocktail ounge	D3			
10回	Lesson 9 complaints	Lesson 8 テスト D1～D3			
11回	Lesson 9 complaints	D4～6			
12回	Lesson 9 complaints	D7～9 * 苦情対応会話テスト			
13回	Lesson 10 Emergencies	Lesson 9 テスト D1 &D2 身体、医療関係用語			
14回	Lesson 10 Emergencies	D3&D4			
15回	後期まとめ	Lesson10 テスト 後期内容復習			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル、エアライン、夜間総合観光科	
科目名	コンピュータ			クラス	A O Y	
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美			実務経験	有(通信業界勤務歴)	
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 表計算の基礎を学び、活用できる力を習得する。			授業形態	講義&演習	
到達目標	表計算技能検定2級レベルの習得および資格取得。就活に必要なパソコンスキルを習得する。					
使用テキスト	30時間でマスター Office2019					
成績評価方法	・期末試験60% パワーポイント提出課題20% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験						
	テーマ	授業内容				
1回	パソコン活用	ビジネスメールの形式とマナー① Microsoftアカウントの取得・確認とクラウド機能の使い方をマスターする				
2回	パソコン活用	ビジネスメールの形式とマナー② Microsoftアカウントの取得・確認とクラウド機能の使い方をマスターする				
3回	Excel基礎	タイピングレッスン Excel2019について、画面構成、文字・数値の入力と編集、テンキーレッスン 四則演算式と関数				
4回	Excel基礎	タイピングレッスン 表作成 関数(SUM・AVERAGE・COUNT・MAX・MINなど)				
5回	Excel基礎	タイピングレッスン 表作成・先週の確認 関数(SUM・AVERAGE・COUNT・MAX・MINなど)				
6回	Excel基礎	タイピングレッスン 表作成 グラフ作成(基本的な縦棒・横棒・折れ線・円グラフ)				
7回	Excel基礎	タイピングレッスン 表作成 相対参照と絶対参照、比率・割合を求める				
8回	Excel基礎	タイピングレッスン 表作成 関数(IF関数など)				
9回	Excel基礎	タイピングレッスン 表作成・先週の確認 関数(IF関数など)				
10回	Excel応用	タイピングレッスン 表作成 検定過去問題の練習①				
11回	Excel応用	タイピングレッスン 表作成 検定過去問題の練習②				
12回	Excel応用	タイピングレッスン 表作成 検定過去問題の練習③				
13回	Excel応用	タイピングレッスン 表作成 検定過去問題の練習④				
14回	Excel応用	タイピングレッスン 表作成 検定過去問題の練習⑤				
15回	後期期末試験	表計算技能処理検定 2級相当の模擬試験				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科 鉄道科 国際ビジネス科 夜間総合観光科
科目名	ビジネスマナー			クラス	QDNY
担当講師(フルネーム)	榎本 美和子 田中 友加利			実務経験	有(エアライン業界勤務)(ホテル業界勤務)
授業概要(内容)	・社会人になるための心構え、また専門学校での過ごし方を学ぶ。 ・社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。			授業形態	講義
到達目標	ビジネス能力検定ジョブパス3級合格を目指す。(12/3(日)受験)				
使用テキスト	ビジネス能力検定3級テキスト2023年度版				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
テーマ		授業内容			
1回	過去問題	後期授業の進め方について 過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
2回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
3回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
4回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
5回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
6回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
7回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
8回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
9回	過去問題	過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
10回	社会人としての心構え	ビジネスマナー他 社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。			
11回	自己採点	ビジネスマナー他 社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。			
12回	社会人としての心構え	12/3(日)試験の自己採点をする			
13回	社会人としての心構え	ビジネスマナー他 社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。			
14回	社会人としての心構え	ビジネスマナー他 社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。			
15回	社会人としての心構え	ビジネスマナー他 社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科・国際ビジネス科	
科目名	SPI言語対策			クラス	QD	
担当講師(フルネーム)	前田 恭子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職試験における筆記試験の言語系分野の対策授業			授業形態	講義	
到達目標	就職筆記試験の点数を確実に取るために基礎学力の向上を目指し、応用力を養う					
使用テキスト	内定ナビ! 時事&一般常識(高橋書店)					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	なぜSPIをするのか	SPI検査とは SPI言語:同意語(意味や内容が近い語)				
2回	日本の特産物(1)	四字熟語テスト① 夏休み課題を6回に分けて小テストを行なう 日本地理① 日本各地の産物を学び、産地との組み合わせを覚える SPI言語:反意語(意味や内容が反対の語)				
3回	日本の特産物(2)	四字熟語テスト② 日本地理② 産地・産物の練習問題を解き、理解を深める SPI言語:ことばの意味①(語句の意味が正しいもの)				
4回	世界の特産物(1)	四字熟語テスト③ 世界地理① 世界各地の産物を学び、産地との組み合わせを覚える SPI言語:ことばの意味②(意味に適合する語句)				
5回	世界の特産物(2)	四字熟語テスト④ 世界地理② 産地・産物の練習問題を解き、理解を深める SPI言語:複数の意味(意味や用法が近いもの)				
6回	日本史(1)	四字熟語テスト⑤ 日本史① 人物に焦点をあてて歴史上の出来事を整理する SPI言語:原料(加工物とその原料)				
7回	日本史(2)	四字熟語テスト⑥ 日本史② 人物に焦点をあてて歴史上の出来事を理解する SPI言語:包含・用途・機能関係				
8回	世界史	世界史: 人物に焦点をあてて歴史上の出来事を理解する SPI言語:行為関係				
9回	日本文化史	時代ごとの文化・芸術を整理し、理解する SPI言語:ことわざ・慣用句				
10回	名言・名句	思想史: 思想家の名言・名句・著書を学ぶ SPI言語:文章問題①				
11回	発明・発見	世界の発明・発見家を学ぶ SPI言語:文章問題② 適性検査				
12回	文学史	主な文学作品とその著者を学ぶ SPI言語:文章問題③ 適性検査				
13回	労働・社会保障	日本の労働・社会保障のしくみについて学ぶ SPI言語:文章問題④ 適性検査				
14回	社会常識	法規・マーク・名数など社会常識を学ぶ SPI言語:文章問題⑤ 適性検査				
15回	後期のまとめ	後期の授業内容の復習				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科・国際ビジネス科	
科目名	SPI非言語対策			クラス	QD	
担当講師(フルネーム)	榎木田 裕夫			実務経験	無	
授業概要(内容)	SPIは企業がおこなう就職試験です、授業では非言語(数学系)の得点差がつきやすい計算問題や様々な論理問題を解きます。			授業形態	講義	
到達目標	SPI、玉手箱、SCOAなどの採用試験が解ける計算力や論理的思考能力を身につける。					
使用テキスト	SPI基本問題集(大和書房)					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	ハジキ問題1		速さ、時間、距離を求める基本計算を確認する。 単位を変えた時の計算を正確に行う。			
2回	ハジキ問題2		速度算の実践的な問題を解く。 旅人算(同じ方向に進む、反対方向に進む、向きあう)を解く。			
3回	ハジキ問題3		速度算の実践的な問題を解く。 通過算(追いつく、追い越す、渡り切る)を解く。			
4回	食塩水の問題1		食塩水の中の塩の量を求める基本計算を理解して問題を解く。			
5回	食塩水の問題2		濃度算の標準問題(食塩水を蒸発させたり、水を加えたりした問題)を解く。			
6回	食塩水の問題3		濃度算の応用問題(異なる濃度の食塩水を混ぜる)を解く。			
7回	グラフの問題		1次関数、2次関数の特徴を知り、グラフの領域の問題を解く。			
8回	順列の問題1		順列Pの計算を理解し、基本問題を解く。			
9回	順列の問題2		順列の応用問題(並べ替え、色の塗り方、円順列など)を解く。			
10回	組み合わせの問題1		組み合わせCの計算を理解し、基本問題を解く。			
11回	組み合わせの問題2		組み合わせの応用問題(チームにわけ、最短経路の問題、文字の並べ方)を解く。			
12回	確率の問題1		確率の意味を理解し、基本問題(サイコロの出た目、コインの表裏)を解く。			
13回	確率の問題2		確率の標準問題(カード、色玉など)を解く。			
14回	確率の問題3		確率の応用問題(「少なくとも」の場合)を解く。			
15回	推論の問題		推論(順位を考える問題など)を解く。後期のまとめ。			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科・国際ビジネス科	
科目名	貿易実務			クラス	Q、D	
担当講師(フルネーム)	中村 秀茂			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	国際物流業界での通関実務、営業、企画の経験あり。 貿易実務の基本を講義。貿易実務英語は毎回の講義で少しずつ触れます。			授業形態	講義	
到達目標	貿易実務検定C級合格					
使用テキスト	最新貿易実務ベーシックマニュアル改訂4版(MHJ出版)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	貨物海上保険	① 付保手続き ② 貨物海上保険の基本条件				
2回	貨物海上保険	② 貨物海上保険の基本条件				
3回	貿易取引に関するその他の保険	① 製造物責任とは ② PL保険 ③ 貿易保険				
4回	代金決済	① 外国との代金決済 ② 荷為替手形による決済 ③ 送金による決済				
5回	船積みから輸出代金の回収	① 輸出実務の流れ ② 為替予約 ③ 輸出貿易管理				
6回	船積みから輸出代金の回収	④ 輸出の準備 ⑤ 輸出通関と船積手続				
7回	船積みから輸出代金の回収	⑤ 輸出通関と船積手続 ⑥ 代金回収手続				
8回	船積通知の受領から貨物の引取りまで	① 輸入実務の流れ ② 輸入貿易管理 ③ 代金決済と輸入金融				
9回	船積通知の受領から貨物の引取りまで	④ 貨物の荷受け ⑤ 輸入通関				
10回	船積通知の受領から貨物の引取りまで	⑤ 輸入通関				
11回	外国為替相場と為替変動リスクの回避	① 外国為替相場と外国為替市場 ② 貿易取引と相場				
12回	外国為替相場と為替変動リスクの回避、1回から6回までの復習	③ 為替変動リスクの回避 貨物海上保険、貿易取引に関するその他の保険、代金決済、船積みから輸出代金の回収 おさらいとポイント				
13回	7回～12回までの復習	船積みから輸出代金の回収、船積通知の受領から貨物の引き取りまで、外国為替相場と為替変動リスクの回避のおさらいとポイント				
14回	過去問	貿易実務検定C級の過去問を解いてみる。答え合わせの中で理解を深める。				
15回	後期のまとめと期末試験	① 全体の振り返りとまとめ ② 期末試験				

対象学年	1・2年共通	学期	通年(後期)	学科	エアライン・国際ビジネス科	
科目名	観光英語			クラス	OD	
担当講師(フルネーム)	秋満陽子・挽田雅子・平島千華			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	エアライン・観光ビジネスに必要な英語の語彙と表現を学ぶ。 プロとして必要な英語コミュニケーションを楽しみながら学ぶ。			授業形態	講義	
到達目標	航空・観光系の英語を身につける。接客に必要な英語表現を学び、実際に会話ができるようになる。					
使用テキスト	English for Tourism Professionals					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	Unit8(1) Working at the boarding gate	パスポートの確認 搭乗ゲートでの対応について学ぶ Vocabulary and Useful Expressions				
2回	Unit8(2) Working at the boarding gate	Dialogue Study Pair Speaking Practice Role Play				
3回	Unit8(3) Working at the boarding gate	Topic Reading 空港のセキュリティ対策 フライトに遅れやキャンセルが生じた場合				
4回	Unit9(1) Offering in-flight services	life jacketの使い方 While boarding: お客様の手助け During the meal service: 食事のサービス				
5回	Unit9(2) Offering in-flight services	Dialogue Study Pair Speaking Practice Role Play				
6回	Unit9(3) Offering in-flight services	Topic Reading 機内アナウンス ファーストクラスについてのパンフレット				
7回	Unit10(1) Giving CIQ information	customs, immigration, quarantine の手順 entry form について customs form について				
8回	Unit10(2) Giving CIQ information	Dialogue Study 免税に関する情報 Role Play				
9回	Unit10(3) Giving CIQ information	Topic Reading カナダの税関申告書の説明を読む 税関申告書を記入する				
10回	Unit3(1) Escorting a tour	ツアーコンダクターの業務 ツアーコンダクターと客室乗務員の会話 ツアーコンダクターとホテルのフロント係の会話				
11回	Unit3(2) Escorting a tour	病人について伝える 遺失物について伝える Role Play				
12回	Unit4(1) Welcoming international tourists	海外からのお客様を迎える 日本の観光地 バストアーのガイドと乗客の会話				
13回	Unit4(2) Welcoming international tourists	Dialogue Study Pair Speaking Practice Role Play				
14回	期末試験	Unit8/Unit9/Unit10 Unit3(1)(2)/Unit4(1)(2)				
15回	まとめと復習	前期の復習 期末試験のフィードバック				

対象学年	1・2年共通	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル科(ホテル3年グローバルコース1年)・国際ビジネス科2年
科目名	西鉄グループ未来塾			クラス	E / C
担当講師(フルネーム)	西鉄グループ各企業・講師 (伊藤 潤・藤田 祐子・友納 真)			実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	西鉄グループの企業から様々な業種業界のプロによる講話 幅広い業種について学び、社会経済や企業への理解を深める			授業形態	講義
到達目標	西鉄グループの業種業界を学び、活躍できる人材を目指す				
使用テキスト	なし				
成績評価方法	・提出物(レポート等)70% 平常点(出席状況・受講態度等)30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	× 期末試験なし				
	テーマ	授業内容			
1回 9/13(水)	企業研究	講話スケジュール確認 次回の企業研究			
2回 9/20(水)	講話⑧	企業: ㈱西鉄ストア テーマ: 商品の仕入れとマーケット調査 ※以下、講話テーマは変更になることもあります			
3回 9/27(水)	企業研究	次回の企業研究			
4回 10/4(水)	講話⑨	企業: NNR Hotels International Korea Co.,Ltd テーマ: 韓国ソラリアホテルで働いて			
5回 10/11(水)	企業研究	次回の企業研究			
6回 10/25(水)	講話⑩	企業: (株)西鉄ホテルズ テーマ: ホテルの接客サービスの現場			
7回 11/1(水)	企業研究	次回の企業研究			
8回 11/8(水)	講話⑪	企業: (株)西鉄ホテルズ テーマ: ホテル展開の戦略と将来			
9回 11/15(水)	企業研究	次回の企業研究			
10回 11/22(水)	講話⑫	企業: 西日本鉄道㈱ 海外開発事業部 テーマ: 西鉄の海外戦略			
11回 11/29(水)	企業研究	次回の企業研究			
12回 12/6(水)	講話⑬	企業: 西日本鉄道㈱ 経営企画部 テーマ: 「まさに、夢を描こう。」の西鉄の役割と今後			
13回 12/13(水)	企業研究	次回の企業研究			
14回 1/17(水)	講話⑭	企業: 西日本鉄道㈱ 人事部 テーマ: これからの日本企業と働き方、求める人材			
15回 1/24(水)	まとめ	後期のまとめ・発表			

対象学年	1・2年共通	学期	通年(後期)	学科	エアライン・ホテル・ブライダル・鉄道科
科目名	韓国語			クラス	AT, QZ, N
担当講師(フルネーム)	権京愛/朴潤姫			実務経験	無
授業概要(内容)	教科書主体に文法を確実に身に付けさせ、毎回の授業には必ず演習を取り入れ、「読む、聞く、話す、書く」の4技能をまんべんなく学ばせる。			授業形態	講義&演習
到達目標	将来仕事で活用できるように会話練習を通してコミュニケーション能力を身につけさせることを目標とする。				
使用テキスト	韓国語の世界へ「入門編」朝日出版				
成績評価方法	・期末テスト50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
テーマ		授業内容			
1回	文字の復習	既習のハングル文字の母音、子音、パッチムの仕組みをもう一度お復習する。 発音と読み書きの復習をする。 会話の練習をする。			
2回	漢数字と助数詞	何年、何月、何日、何分、何個など漢数字とともに使われる助数詞を覚える。 発音と読み書きの復習をする。 助数詞を使って会話の練習をする。			
3回	位置表現(場所を尋ねる)	絵を見ながら場所を尋ねる表現を学ぶ。 位置を表す名詞を覚え、会話練習をする。 クラスメートと待ち合わせの場所を決めるなど会話の練習をする。			
4回	へヨ体の作り方 I	うちとけた丁寧な言い方を学ぶ① 韓国語の用言の活用を学び、へヨ体に直す練習をする。 会話の練習をする。			
5回	助詞	助詞をまとめて覚える。 例文を作りながら練習して覚える。 会話の練習をする。			
6回	復習と練習問題	問題を解きながら復習をする。 会話の練習をする。			
7回	へヨ体の作り方 II	うちとけた丁寧な言い方を学ぶ② 韓国語の用言の活用を学び、へヨ体に直す練習をする。 会話の練習をする。			
8回	指示詞	指示詞を覚え、物を探る表現を学ぶ。 「これはなんですか」など指示詞を使って会話練習をする。 教室にある物を利用し、名前を尋ねる会話練習をする。			
9回	復習と練習問題	問題を解きながら、復習をする。 会話の練習をする。			
10回	へヨ体の作り方 III	うちとけた丁寧な言い方を学ぶ③ 韓国語の用言の活用を学び、へヨ体に直す練習をする。 会話の練習をする。			
11回	固有数詞	固有数詞を覚える。 固有数詞とともに使われる助数詞を学ぶ。 会話練習をする。			
12回	時を表す言葉	時を尋ねる表現を学ぶ。 「誕生日はいつですか」「今日は何月何日ですか？」など会話練習をする。			
13回	復習と練習問題	問題を解きながら、復習をする。 自己紹介のフレーズを覚え、韓国語で自己紹介の練習をする。			
14回	期末テスト	期末テスト 韓国文化の紹介			
15回	まとめ	テストのフィードバック			

対象学年	2・3年共通	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル、国際ホテルマネジメント、鉄道科	
科目名	中国語			クラス	AT/M	
担当講師(フルネーム)	青山祐子					
授業概要(内容)	中国語の基礎的な発音・文法・単語を習得し、簡単な会話文について			授業形態	講義	
到達目標	中国語の音読、語彙の使い方、文の表現しながら、業務上で使うリスニング能力と会話能力を高めることを目標とする。					
使用テキスト	初めまして！中国語(白水社)					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・期末試50%+小テスト30%+平常点20%				単位数	2
期末試験	△					
事前・事後学習について	※期末試験期間中に実施・・・○ 授業中に実施・・・△期末試験なし・・・× を枠に選択 中国語の音読、語彙の習得、その後、文の表現が出来るようになる。					
	テーマ	授業内容				
1回	第7課 コンビニで	21. 量 詞 22. 実現・完了を表わす”了” 23. 助動詞”想” ◇”几”と”多少”				
2回	トレーニング7	24. 連動文 25. 前置詞”在”				
3回	第8課 バス停で	26. 時刻の言い方 27. ”是”の省略 ◆時を表わす語(2)				
4回	復 習	今まで勉強した内容についての小テスト				
5回	トレーニング8	28. 助動詞 ”会” ・ ”能” ・ ”可以”				
6回	第9課 放課後に	29. 前置詞 ”跟”と”给” 30. 主述述語文				
7回	トレーニング9	31. 様態補語 32. 経験を表わす”过”				
8回	第10課 卓球の中継を見ながら	33.比較を表わす”比” 34. 動詞 ”喜欢” 小テスト				
9回	第11課 ディズニーランドで待ち合わせ	トレーニング10 35. 進行を表わす”在”				
10回	トレーニング11	36. 方向補語 37. 選択疑問文				
11回	第12課 カフェテラスで	38. ”是～的”の文 39. 結果補語				
12回	トレーニング12	40. 時間の長さ・動作の回数を表わす語の位置 ◆ 時間の長さを表わす語 小テスト				
13回	期末テスト対策	復習プリント				
14回	期末テスト自己紹介	今まで習った表現を使って自己紹介しよう。				
15回	総復習	これまで習得した表現を使って、業務上で使う会話を実践しよう				

対象学年	2・3年共通	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント3年・国際ビジネス2年
科目名	国際比較文化論			クラス	T・C
担当講師(フルネーム)	中牟田 哲也			実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	世界の独特の文化をパワーポイントを使って解説。映像で確認し、毎回配布するレジュメに記載しながら理解をより深めてもらう。			授業形態	講義
到達目標	世界の多様性を理解し、共生社会への対応力を高める。				
使用テキスト	なし。毎回レジュメを配布。				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
テーマ		授業内容			
1回	ガイダンス	講義内容説明 授業アンケート 諺・慣用句			
2回	微笑みの国	王政・仏教・LGBT・タイの文化 映像:文化都市バンコク 諺・慣用句			
3回	IT大国	数字・IT・カーズ・インドの文化 映像:文化都市デリー 諺・慣用句			
4回	オリンピック	五輪の起源と歴史・ギリシャの文化 映像:文化都市アテネ 諺・慣用句			
5回	東西文明の十字路	親日の歴史と東西文明・トルコの文化 映像:文化都市イスタンブール 諺・慣用句			
6回	3つの宗教の聖地	3つの宗教の聖地・ユダヤ教の特徴・イスラエルの文化 映像:文化都市エルサレム 諺・慣用句			
7回	タンゴと gaucho	移民の歴史とタンゴ・肉食と gaucho・アルゼンチンの文化 映像:文化都市ブエノスアイレス 諺・慣用句			
8回	先住民族	先住民族・固有の動植物・オーストラリアの文化 映像:オーストラリアの世界遺産 諺・慣用句			
9回	ワインと文化	ボージョレヌーボー・ワインにまつわる世界遺産 映像:ワインにまつわる世界遺産 諺・慣用句			
10回	食文化	食のタブーとアルコール 映像:食の世界遺産 諺・慣用句			
11回	ゲーミングビジネス	カジノの功罪と現状・ラスベガス 映像:ラスベガス 諺・慣用句			
12回	ムスリム	イスラムの文化 映像:文化都市イスファハン 諺・慣用句			
13回	カフェ文化	カフェの歴史・ウィーンの文化 映像:文化都市ウィーン 諺・慣用句			
14回	期末試験	まとめ 期末試験			
15回	期末試験のFB	期末試験のフィードバック			

ホテル・ブライダル

学年	科目名
1	レストランバンケットサービス
1	ソムリエ&バーテンダー
1	コンシェルジュ
1	ホテル総論
1	就職活動講座
1	SPI言語対策
1	SPI非言語対策
1	面接対策
1	ブライダル演習
1	ブライダルセールス
1	簿記会計
1	総合英語
1	オンライン英会話
1	英語面接対策
2	フロントオフィス
2	マナープロトコール
2	コミュニケーションイングリッシュ
2	web広告戦略
2	ユニバーサルサービス
2	手話
2	フレッシュャーズ教育
2	観光産業概論
2	社会情勢研究
2	プレゼンテーション
2	着付け演習
2	HRS実技セミナー

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル 科	
科目名	レストランバンケットサービス			クラス	E	
担当講師(フルネーム)	長野 美穂			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	前期に引き続きレストランサービスの知識を身に付ける			授業形態	講義	
到達目標	サーバー、チューリンサービスをマスターする					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	レストランの値段①		モノの値段の決め方を学ぶ 原価率の話			
2回	レストランの値段②		モノの値段の決め方を学ぶ バリューの話			
3回	中国料理		四大中国料理の特徴を知る サーバー練習			
4回	日本料理		日本料理の基本知識 お箸練習、和室での立ち居振る舞い			
5回	バンケットサービス		MICE、ワーキング・ディナー 立食パーティーのマナー、サービス			
6回	レストランマーケティング①		マーケティングの基本 売れているモノが売れている理由 接客業で必要な消費者心理を学ぶ			
7回	レストランマーケティング②		POP作り 作品プレゼンテーション			
8回	ユニバーサルサービス		ご年配、体が不自由なお客様の注意点 お出迎え～食事のサービス～お見送り			
9回	ユニバーサルサービス		車いすの基本操作方法を学ぶ			
10回	レストランウェディング		レストランウェディングの特徴 幸せを呼ぶアイテムたち			
11回	グループワーク		テーブルコーディネートプラン作成			
12回	グループワーク		テーブルコーディネートの作成と撮影			
13回	ソースアート		ライバル業界を偵察 カフェ業界の知られざる集客の仕組み			
14回	実技練習		期末試験 制限時間内にロールプレイング			
15回	まとめ		期末試験の振り返り			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテルブライダル科	
科目名	ソムリエ&バーテンダー			クラス	E	
担当講師(フルネーム)	水田 勇太			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	酒類に興味を持ってもらい、レストラン・バー業務に活かすこと。 現場での業務が円滑に行える、お客様との会話のツールにする。			授業形態	講義&演習	
到達目標	バー・ラウンジにおける接客、お酒の基礎知識また、基本習得					
使用テキスト	ホテルテキスト料飲Ⅱ バー・ラウンジ編					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	シラバス説明		前期復習、後期講義概要			
2回	バー・ラウンジについて		バー・ラウンジ概要			
3回	酒の基礎知識		醸造酒、蒸留酒、混成酒について			
4回	ウイスキーについて		ウイスキー歴史、生産国、原料、生産方法について			
5回	ジン、ウォッカについて		スピリッツについて、生産国、原料、生産方法について			
6回	テキーラ、ラムについて		スピリッツについて、生産国、原料、生産方法について			
7回	ブランデーについて		ブランデーについて、生産国、原料、生産方法について			
8回	リキュールについて		リキュールについて、生産国、原料、生産方法について			
9回	日本酒と焼酎について		日本の酒類について			
10回	カクテルの基礎		カクテル概要			
11回	カクテル基礎知識		器具、カクテル作成について			
12回	カクテル実技		カクテル作成			
13回	カクテル実技		カクテルの知識と作成			
14回	カクテル実技		オリジナルカクテル作成			
15回	カクテル実技		オリジナルカクテルプレゼン・期末試験			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテルブライダル科	
科目名	コンシェルジュ			クラス	E	
担当講師(フルネーム)	中牟田 登喜枝			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	宿泊部門の日常業務理解と技術取得			授業形態	講義	
到達目標	企業実習、就職にむけてのフロントサービス実技取得					
使用テキスト	ホテルテキスト宿泊II フロント・サービス編					
成績評価方法	・筆記試験4回50% 実技・レポート50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	前期復習		企業実習の成果をロールプレーでみせよう			
2回	ハウスキーピング		ハウスキーピングの主な業務			
3回	ハウスキーピング		客室についての基礎知識			
4回	ハウスキーピング		客室整備の手順			
5回	ハウスキーピング		客室係の接客サービス			
6回	ハウスキーピング		記録及び報告			
7回	ハウスキーピング		環境への取り組み			
8回	ハウスキーピング		ベッドメイキング実技			
9回	ハウスキーピング		ベッドメイキング実技			
10回	コンシェルジュ		コンシェルジュの意味と歴史			
11回	コンシェルジュ		コンシェルジュの業務(1)			
12回	コンシェルジュ		コンシェルジュの業務(2)			
13回	コンシェルジュ		コンシェルジュに必要な資質と知識			
14回	コンシェルジュ		こんな要望にどう応えますか？			
15回	まとめ		後期復習 ホテル用語の確認			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル 科	
科目名	ホテル総論			クラス	E	
担当講師(フルネーム)	長野 美穂			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	講義と過去問題を中心に、宿泊・料飲等、ホテルの各部門にわたっての総合的な知識を身につける			授業形態	講義	
到達目標	ホテル実務技能認定試験(初級)合格を目指す					
使用テキスト	ホテル実務技能認定試験 初級過去問題集					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテル実務技能認定試験について ・授業の進め方、評価方法 ・接遇分野演習 				
2回	ホテル実務技能認定試験 問題集	<ul style="list-style-type: none"> ・接遇分野演習 ・解答 ・解説 				
3回	料飲分野の知識①	<ul style="list-style-type: none"> ・フルコースの成り立ちと各食材について学ぶ 				
4回	料飲分野の知識②	<ul style="list-style-type: none"> ・飲料、その他の知識について学ぶ 				
5回	ホテル実務技能認定試験 問題集	<ul style="list-style-type: none"> ・料飲分野演習問題 ・解答 ・解説 				
6回	ホテル実務技能認定試験 問題集	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊分野演習問題 ・解答 ・解説 				
7回	ホテル実務技能認定試験 問題集	<ul style="list-style-type: none"> ・語学分野演習問題 ・解答 ・解説 				
8回	ホテル実務技能認定試験 問題集	<ul style="list-style-type: none"> ・その他分野演習問題 ・解答 ・解説 				
9回	ホテル実務技能認定試験 過去問題	<ul style="list-style-type: none"> ・過去問題 ・解答、解説、復習 				
10回	ホテル実務技能認定試験 過去問題	<ul style="list-style-type: none"> ・過去問題 ・解答、解説、復習 				
11回	ホテル実務技能認定試験 過去問題	<ul style="list-style-type: none"> ・過去問題 ・解答、解説、復習 				
12回	ホテル実務技能認定試験 過去問題	<ul style="list-style-type: none"> ・過去問題 ・解答、解説、復習 				
13回	ホテル実務技能認定試験 過去問題	<ul style="list-style-type: none"> ・過去問題 ・解答、解説、復習 				
14回	ホテル実務技能認定試験	資格試験実施 * 点数を期末評価とします				
15回	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテル実務技能認定試験振り返り 				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテルブライダル科	
科目名	就職活動講座			クラス	E	
担当講師(フルネーム)	安部紀美江			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	・就職活動のフォローアップをし、志望する企業への内定を勝ち取る。			授業形態	講義	
到達目標	・志望する企業の絞り込みを行い、内定へと導く。					
使用テキスト	・「専門学校生のための就職内定基本テキスト」 ・就職ノート ・オリジナルレジュメ					
成績評価方法	・課題プリント50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション・自己PR		・後期授業内容の説明 ・実習体験をもとにした自己PRの作成			
2回	自己PR作成		・実習体験をもとにした自己PRの作成			
3回	自由表現		・多様性のある自己PRを作ることでどの様な質問でもPRできるようにする			
4回	自由表現		・自己PRの変形として様々なバリエーションを学ぶ。			
5回	志望動機の作り方		・モデルケースの志望動機を作ってみる。			
6回	志望動機の作り方		・志望動機作成に必要な文言や自己PRとの関連性について考えていく。			
7回	企業研究		・エントリーシートとは何かを理解し、就活にとっての第一歩であることを認識できるようになる。 ・エントリーシートの効果的な作成方法を学び、どう活用するかを考える。 ・過去のエントリーシートを使って、実際にエントリーシートを書いてみる。			
8回	企業研究		・企業研究の重要性と企業研究シートの作成方法を学ぶ。 ・情報収集の必要性とその収集方法ができるようになる。			
9回	企業研究		・企業開催セミナー・説明会に参加する意味と就活への活用方法をわかるようになる。 ・志望する企業の研究と自己PR、志望動機の作成			
10回	志望企業の研究		・受験する企業を絞り込み、その企業に合わせた対策を考えることで自信につなげていく。 ・志望する企業の研究と自己PR、志望動機の作成			
11回	面接対策		・面接の形式 ・面接の受け答えチェックポイント			
12回	面接対策		・よく出る質問の答え方を自身で考え、面接練習を行う。			
13回	面接対策		・よく出る質問の答え方を自身で考え、面接練習を行う。			
14回	面接対策		・よく出る質問の答え方を自身で考え、面接練習を行う。			
15回	完成品のチェック		・後期提出物のチェック			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	SPI言語対策			クラス	E	
担当講師(フルネーム)	山本真美			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職試験における筆記試験分野・言語系の対策授業			授業形態	講義	
到達目標	筆記試験の点数を確実に取るために基礎知識の向上を目指す					
使用テキスト	一般常識&時事/一問一答(高橋書店)					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	SPIを知る		授業方針説明、SPI検査の内容を確認 SPI言語 同意語(意味や内容が近い語) * 夏休みの課題(四字熟語)提出			
2回	日本の特産品		日本地理 ①都道府県名、県庁所在地の確認 SPI言語 反意語(意味や内容が反対の語)			
3回	四字熟語		四字熟語テスト① 夏休みの課題(四字熟語)を6回に分けて小テスト 日本地理 ②日本各地の産物を学び、産地の組み合わせを覚える SPI言語 ことばの意味① 語句の意味が正しいもの			
4回	世界の気候		四字熟語テスト② 世界地理 世界各地の気候、産物と産地の組み合わせを覚える SPI言語 ことばの意味② 意味に適合する語句			
5回	日本史の中の人物		四字熟語テスト③ 日本史 日本史上の人物に焦点をあて、歴史をみる(誰が何をしたか) SPI言語 複数の意味(意味や用法が近いもの)			
6回	世界史の中の人物		四字熟語テスト④ 世界史 世界史上の出来事を追い、人物と「何」が起きたのか?を見る SPI言語 文章問題①			
7回	文化史		四字熟語テスト⑤ 文化史 文化・芸術史を学び、有名な芸術作品をおさえる SPI言語 文章問題②			
8回	名言・名句		四字熟語テスト⑥ 思想史 思想家の名言・名句と著書 SPI言語 原料(加工物とその原料)			
9回	国際連合の役割		国際連合と諸機関 SPI言語 包含・用途・機能			
10回	地域協定		地域協定と経済連携協定 SPI言語 文章問題③			
11回	G7とG20		G7とG20 国際協調を考える SPI言語 行為の関係			
12回	日本の政治		中央政治と地方政治 SPI言語 文章問題④			
13回	経済		経済と経済用語 SPI言語 ことわざ・慣用句			
14回	働く環境を考える		労働・社会保障 労働者は守られているか? SPI言語 文章問題⑤			
15回	2年生に向けての準備		時事問題を考える 新聞・ニュースサイトの活用 後期の復習			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	SPI非言語対策			クラス	E	
担当講師(フルネーム)	榎木田 裕夫			実務経験	無	
授業概要(内容)	SPIは企業がおこなう就職試験です、授業では非言語(数学系)の得点差が付きやすい計算問題や様々な論理問題を解きます。			授業形態	講義	
到達目標	SPI、玉手箱、SCOAなどの採用試験が解ける計算力や論理的思考能力を身につける。					
使用テキスト	SPI基本問題集(大和書房)					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	四則計算		SPI非言語の基本となる計算問題(分数、小数を使った1次方程式など)を解く。			
2回	割合の問題		割合の問題を解く。			
3回	金銭の問題1		定価・原価・利益のしくみを正しく理解し、損益算の基本問題を解く。			
4回	金銭の問題2		損益算の標準問題を解く。			
5回	ハジキ問題1		速度算の基本計算(単位を合わせて式を立て時間や距離を求める)を理解し、問題を解く。			
6回	ハジキ問題2		速度算の標準問題(旅人算の同方向、反対方向など)を解く。			
7回	食塩水の問題1		食塩水の中の塩の量を求める基本計算を理解して問題を解く。			
8回	食塩水の問題2		濃度算の応用問題(異なる濃度の食塩水を混ぜる)を解く。			
9回	順列の問題1		順列Pの計算を理解し、基本問題を解く。			
10回	順列の問題2		順列の応用問題(並べ替え、色の塗り方、円順列など)を解く。			
11回	組み合わせの問題		組み合わせの応用問題(チームにわけ、最短経路の問題、文字の並べ方)を解く。			
12回	確率の問題1		確率の意味を理解し、基本問題(サイコロの出た目、コインの表裏)を解く。			
13回	確率の問題2		確率の標準問題(カード、色玉など)を解く。			
14回	推論の問題		推論(順位を考える問題など)を解く。			
15回	後期のまとめ		後期のまとめ。			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテルブライダル科	
科目名	面接対策講座			クラス	E①	
担当講師(フルネーム)	宮前訓子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職面接における一次面接突破のために、第一印象を整える。 自己分析を行い現時点での最上級のアピール方法を習得する。			授業形態	講義&演習	
到達目標	ホスピタリティ産業に必要なレベルの外面と内面を整える。					
使用テキスト	なし(この授業専用のクリアファイルかパーファイルを用意してください)					
成績評価方法	実技(試験及び授業内) 60% 提出物 20% 平常点 20%				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	授業案内		この授業の概要 面接の基本立居振舞 体験を話す(実習経験の共有)			
2回	自己分析のやり方		自己パーソナリティ分析とアピール方法			
3回	私の長所・短所①		短所長所の表現方法			
4回	私の長所・短所②		他者から見た自分の長所・短所			
5回	自己PR①		自己PRの表現方法			
6回	自己PR②		自己PRの表現方法			
7回	グループディスカッション①		グループディスカッションのやり方と実技			
8回	グループディスカッション②		グループディスカッションのやり方と実技			
9回	志望動機①		職種に対する志望動機(なぜホテル科を選んだのか)			
10回	志望動機②		ホテルに対する志望動機(働きたいホテルを選び調べたうえで志望動機を作成する)			
11回	質疑応答①		よくある質問に対して答える(経験を積む)			
12回	質疑応答②		質問に対する答えに自己PRを加える(アドリブ力をつける)			
13回	期末試験①		グループディスカッション実技試験			
14回	期末試験②		グループ面接試験			
15回	まとめ		まとめ(面接予備日)			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ブライダル演習			クラス	E	
担当講師(フルネーム)	島崎満美子			実務経験	有(ブライダル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	ブライダルフェア用のポスターを作成。 写真のレイアウト等含め専門カメラマンも後半入れて完成させる。			授業形態	演習	
到達目標	誰もが行ってみたいと思うフェアの提案できるポスター作り。より詳しい内容も含め、グループ別に発表(プレゼン)を行う。チームワークを身に付ける。					
使用テキスト	A1模造紙、色鉛筆、クレヨン、他使用。					
成績評価方法	・提出課題 70% 出席30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	自己紹介、テーマ作り		自己紹介 グループ分け 4名1組※1組のみ5名 今後の説明と各グループのテーマ相談			
2回	衣裳 ①		・ドレスの着せ方 全員が衣裳を着せる実践を行います。205教室にて順番に行います。 ・ドレスシルエット、デザインの再確認も含める。歩き方もお伝えします。 ・メンズはサスペンダーの付け方、アジャスターについても全員把握する。			
3回	衣裳 ②		・衣裳の基礎知識 女性編 資料集めにあたって、衣裳の知識を把握・研究			
4回	資料集め①		各チームで分担してテーマに合わせた、資料調査し、集める 衣裳、料理、ヘアメイク、花、等・・・			
5回	衣裳 ③		・衣裳の基礎知識 男性編 資料集めにあたって、衣裳の知識を把握・研究			
6回	資料集め②		各チームで分担してテーマに合わせた、資料調査し、集める 衣裳、料理、ヘアメイク、花、等・・・			
7回	プレゼン台本①		各チーム今まで集めたものをまとめ、プレゼンテーション台本を相談しながら作成			
8回	プレゼン台本②		プレゼンテーション台本、各グループ完成。 ※1グループ15～20分程度			
9回	専門アドバイス①		カメラマンからのアドバイス レイアウトの仕方や写真の撮り方			
10回	専門アドバイス②		カメラマンからのアドバイス 自分たちで実際に写真を撮ってみる			
11回	作成①		A1模造紙に今まで調べたものや集めた資料などを基にポスターの作成に入る ※立体的なものを作ってもOK			
12回	作成②		ポスターの仕上げ、色鉛筆や自分で撮った写真なども使って完成させる。			
13回	プレゼンテーション①		3チーム 発表 質疑応答 ※これも点数になります。人のプレゼンをどこまで理解し、どのような質問が出せるか？ ※一人1個質問をお願いします。			
14回	プレゼンテーション②		3チーム 発表 質疑応答 ※これも点数になります。人のプレゼンをどこまで理解し、どのような質問が出せるか？ ※一人1個質問をお願いします。			
15回	総まとめ提出		14回にわたる実践に対してのレポート提出。各自400文字以上、500文字以内でお願いします。			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル科
科目名	ブライダルセールス			クラス	Eクラス
担当講師(フルネーム)	田中 香利			実務経験	有(ブライダル業界勤務歴)
授業概要(内容)	ウェディングシステムを使用し、打合せ全体を把握する			授業形態	講義
到達目標	ブライダルプランナーとしての接客に於ける接客トーク演習とシステム操作				
使用テキスト	RWA(システム)制作コンテンツ保存用USBメモリー各自持参				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験					
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション	・パソコンID セットアップ方法 ・後期授業スケジュールの説明とシステム活用方法の説明			
2回	ブライダルのABC	ブライダル用語とは ・挙式スタイルの分類(RWA-A) ・披露宴スタイルと一般的な流れ(RWA-B)			
3回	日本におけるブライダル	・ブライダルの歴史 ・ブライダルに関連した日本・外国の習慣・しきたり(RWA-A・B) ・今のブライダルの主流			
4回	ブライダルにおける接客 Vol. 1	・挙式スタイルの提案(RWA-A)			
5回	ブライダルにおける接客 Vol. 2	・披露宴スタイルの提案(RWA-A)			
6回	ブライダルアイテム1	・料理 RWA-A ・装花			
7回	ブライダルアイテム2	・衣装 RWA-A ・美容 ・演出・写真			
8回	ブライダルサービス実務 Vol. 1	・ブライダルサービス実務の一般的な流れ RWA-A・B (資料請求対応～フェア内容・会場案内)			
9回	ブライダルサービス実務 Vol. 2	・ブライダルサービス実務の一般的な流れ RWA-A・B (仮予約・本予約・規約説明・申込み手続き)			
10回	ブライダルサービス実務 Vol. 3	・ブライダルサービス実務の一般的な流れ RWA-A・B (婚礼打合せ～アイテム紹介)			
11回	ブライダルサービス実務 Vol. 4	・ブライダルサービス実務の一般的な流れ RWA-A・B (婚礼打合せ～発注・手配・最終確認)			
12回	ブライダルサービス実務 Vol. 4	・ブライダルサービス実務の一般的な流れ RWA-A・B (挙式当日～挙式以降の業務)			
13回	ブライダルサービス実務 まとめ	・ブライダル用語の理解 ・敬語の使い分けの理解			
14回	期末試験	14回の週に実施			
15回	期末試験振り返りと 後期まとめ	・クレーム対応とコンプレの実例 ・お客様対応の留意点 ・プランナーを目指す方へ伝えたいこと(講師より)			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	簿記会計Ⅰ・Ⅱ			クラス	E(3年)クラス	
担当講師(フルネーム)	久保田 博子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	ビジネスパーソンが身につけておくべき「必須の基本知識」として、基本的な商業簿記を修得する			授業形態	講義&演習	
到達目標	日商簿記3級合格を目指す					
使用テキスト	・スッキリわかる日商簿記3級 ・日商簿記3級 まるっと完全予想問題集					
成績評価方法	・模擬試験8回分:80% 平常点:20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション 第1章～第2章		授業の進め方、評価方法について理解する 簿記の基礎、商品売買			
2回	第3章～第5章		現金、普通預金、定期預金、当座預金、当座借越、小口現金			
3回	第6章～第7章		手形と電子記録債権(債務)、貸付金・借入金、手形貸付金・手形借入金			
4回	第8章		その他の債権債務			
5回	第9章～第10章		その他の費用、貸倒れと貸倒引当金			
6回	第11章～第12章		有形固定資産と減価償却、株式の発行、余剰金の配当と処分			
7回	第13章～第14章		法人税等と消費税、費用・収益の前払い・前受けと未払い・未収、訂正仕訳			
8回	第15章		帳簿への記入			
9回	第16章～第17章		試算表、伝票と仕訳日計表、証ひょう			
10回	第18章		精算表と財務諸表			
11回	第19章		帳簿の締め切り			
12回	チェックテスト 予想問題第4回		60分で問題を解き、解答解説			
13回	予想問題第5回・第6回		60分で問題を解き、解答解説			
14回	予想問題第7回・第8回		60分で問題を解き、解答解説			
15回	予想問題第9回・第10回		60分で問題を解き、解答解説			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテルブライダル科	
科目名	総合英語			クラス	E2	
担当講師(フルネーム)	加藤 亜希			実務経験	有(通訳翻訳業界勤務歴)	
授業概要(内容)	英語のボキャブラリー、イディオム、文法、リーディングすべてにおいて基礎から練習し、アウトプット力、応用力を養う。			授業形態	講義	
到達目標	英語圏での生活に問題なく適応できるよう、総合的に英語力を伸ばす。					
使用テキスト	Useful College English / Let's Read Aloud & Learn English (2冊のテキストを交互に勉強します。)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	前期の復習		前期期末試験の見直し、確認 テキストの進み方、小テスト、口頭テスト、授業の目標などを確認			
2回	Unit 5		Unit 5 未来表現 予定を述べる、詳細を尋ねる What are we going to do in the afternoon?			
3回	Unit 4 ①		Unit 4 health 仮定法現在			
4回	Unit 4 ②		否定語を用いた慣用表現 文法練習問題			
5回	Unit 6		Unit 6 ホームステイでの会話 受動態 It's called Mountain Grove.			
6回	Unit 5 ①		Unit 5 computers 再帰代名詞を用いた慣用表現 疑問詞+to-不定詞			
7回	Unit 5 ②		受動態の進行形 『時』を表す副詞節を導く接続詞			
8回	Unit 7		レストランでの会話表現 注文する、希望を尋ねる How would you like your steak?			
9回	Unit 6 ①		Unit 6 Finding a job 不定代名詞、独立不定詞 主語と動詞の呼応			
10回	Unit 6 ②		原因、理由を表す副詞節を導く接続詞 文法問題			
11回	Unit 8		病院での会話問題 現在完了形、期間を尋ねる、症状を述べる How long have you felt this way?			
12回	Unit 7 ①		Unit 7 Exercise and sports 2語から成る群前置詞 仮定法過去、仮定法過去完了			
13回	Unit 7 ②		時を表す前置詞 動名詞の意味上の主語 TOEIC文法問題			
14回	Review		期末試験			
15回	Review		期末試験フィードバック			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	オンライン英会話			クラス	E2クラス	
担当講師(フルネーム)	久保田 博子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	与えられたテーマについて講師と会話しながら文法の習熟をはかる			授業形態	講義&演習	
到達目標	高校範囲の文法をスピーキングに役立たせる					
使用テキスト	予習・復習プリント					
成績評価方法	・オンラインレッスン評価60% アセスメント20% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	高校英文法 for スピーキング スタンダード		Lesson14 比較の文①—比較級・最上級			
2回	高校英文法 for スピーキング スタンダード		Lesson15 比較の文②—同等比較など			
3回	高校英文法 for スピーキング スタンダード		Lesson16 接続詞			
4回	高校英文法 for スピーキング スタンダード		Lesson17 仮定法			
5回	高校英文法 for スピーキング スタンダード		Lesson18 関係詞①—関係代名詞・接続節			
6回	高校英文法 for スピーキング スタンダード		Lesson19 関係詞②—関係副詞など			
7回	高校英文法 for スピーキング スタンダード		Lesson20 知覚動詞と使役動詞			
8回	英検2次試験対策 トレーニング		準1級～準2級の2次試験を想定した模擬試験			
9回	高校英文法 for スピーキング アドバンス		Lesson1 現在をあらわす表現			
10回	高校英文法 for スピーキング アドバンス		Lesson2 過去をあらわす表現			
11回	高校英文法 for スピーキング アドバンス		Lesson3 未来をあらわす表現			
12回	高校英文法 for スピーキング アドバンス		Lesson4 原因・理由をあらわす表現			
13回	高校英文法 for スピーキング アドバンス		Lesson5 対照・譲歩をあらわす表現			
14回	スピーキングアセスメント		スピーキングアセスメント			
15回	高校英文法 for スピーキング アドバンス		Lesson6 仮定・条件をあらわす表現			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	英語面接対策			クラス	E	
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	英語面接の基礎知識、面接を成功させるためのテクニックを学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	実践で使える自分用のシュミレーションパターンを作成、暗記する					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	面接を成功させるためのテクニック		挨拶の仕方、丁寧な言葉づかい、相づち等、状況に応じた意思表示の仕方を英語でできるようになる			
2回	趣味や余暇で「自分らしさ」をうまくだそう		趣味や余暇の過ごし方について、面接に効果的なモデルパターンを知る 自分の長所や短所 学校生活、成績、英語力			
3回	仕事(バイト、実習)の話題を膨らませよう		ホテルの仕事内容や、出来事を英語で説明できるようになろう 実習体験			
4回	仕事(バイト、実習)の話題を膨らませよう		志望動機 将来の夢			

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル,国際ホテルマネジメント科	
科目名	フロントオフィス			クラス	A・U	
担当講師(フルネーム)	中牟田 登喜枝			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	フロント・オフィス業務についての基本知識を学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	予約からチェックアウトまでの流れを理解し接客スキルを磨く					
使用テキスト	ホテルテキスト宿泊Ⅰフロントオフィス編					
成績評価方法	・期末試験3回 50%、実技・レポート 50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	前期復習	前期復習				
2回	レセプション業務	チェックアウト業務 ナイト業務				
3回	レセプション業務	デイリールームレポート				
4回	レセプション業務	デイリールームレポート				
5回	フロントキャッシャー業務	ホテルビル サービス料と税金 宿泊料金計算				
6回	フロントキャッシャー業務	宿泊料金計算 外貨両替				
7回	フロントキャッシャー業務	清算手順と方法				
8回	フロントキャッシャー業務	清算手順と方法				
9回	フロントキャッシャー業務	清算業務実技				
10回	フロントキャッシャー業務	清算業務実技				
11回	フロントキャッシャー業務	清算業務実技(評価)				
12回	フロントキャッシャー業務	清算業務実技(評価)				
13回	リスク管理	防災事故管理、防犯管理				
14回	今後のホテルビジネス	ホテルビジネスのトレンド、宿泊ビジネスの今後				
15回	まとめ	ホテル用語復習				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	マナープロトコール			クラス	A	
担当講師(フルネーム)	池田 香織			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	社会人としてのマナーとしきたりを学ぶ。 マナープロトコール検定3級に合格する力をつける。			授業形態	講義&演習	
到達目標	マナーの知識を習得し、思いやりのある優しい心と美しいふるまいを身につける。					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		シラバスの説明 マナーとは何か			
2回	第1章マナーの歴史と意義		日本の礼儀、作法の成り立ち 西洋のマナー・エチケットの成り立ち アジアのマナーの特徴			
3回	第2章国際人としてのプロトコール		プロトコールの原則 具体的な席次例 社交の場でのコミュニケーション			
4回	第3章社会人に必要なマナー		好印象を与えるコミュニケーション 礼装の基準 喜ばれる贈答、手紙のマナー			
5回	第4章ビジネスシーンのマナー		ビジネスマナーに必要性 社会人としての心構え 電話対応、来客対応、名刺交換			
6回	第5章社会人に必要なマナー		食事の作法の基本 和食のマナー・作法 西洋料理のマナー			
7回	第7章「冠」のしきたり		冠婚葬祭とは 日本の主な通過儀礼			
8回	第8章「婚」のしきたり		結婚の変遷 結婚式のマナー			
9回	第9章「葬」のしきたり		葬儀・告別式のマナー 法要のしきたり			
10回	第10章「祭」のしきたり		1月～12月の行事			
11回	グループワーク		冠婚葬祭についてグループで調べる。			
12回	グループワーク		調べたものをまとめ、プレゼンテーションの準備をする。			
13回	グループワーク		グループでまとめたことをプレゼンテーションしよう。			
14回	期末試験		マナープロトコール検定3級模擬試験を行います。			
15回	まとめ		期末試験フィードバック			

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	ホテルブライダル科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			クラス	Aクラス	
担当講師(フルネーム)	久保田 博子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	日常生活だけでなく、ホテルで使う語彙や会話表現を学びオンラインレッスンで実践する			授業形態	講義&演習	
到達目標	学んだ英語をホテルでの接客に活かせるようにする					
使用テキスト	プリント対応					
成績評価方法	授業・レッスン評価 60% アセスメント20% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	日常英会話 基礎編	Lesson16 提案①				
2回	日常英会話 基礎編	Lesson17 提案②				
3回	おもてなし英会話	Lesson18 ホテル:周辺案内				
4回	日常英会話 基礎編	Lesson19 スモールトーク①				
5回	日常英会話 基礎編	Lesson20 スモールトーク②				
6回	おもてなし英会話	Lesson21 ホテル:日本の文化・習慣を伝える				
7回	日常英会話 基礎編	Lesson22 観光の計画①				
8回	日常英会話 基礎編	Lesson23 観光の計画②				
9回	おもてなし英会話	Lesson24 ホテル:トラブル・クレーム対応				
10回	日常英会話 基礎編	Lesson25 日本を案内する①				
11回	日常英会話 基礎編	Lesson26 日本を案内する②				
12回	おもてなし英会話	Lesson27 ホテル:電話対応				
13回	日常英会話 基礎編	Lesson28 日本を案内する③				
14回	日常英会話 基礎編 スピーキングアセスメント	Lesson29 日本を案内する④ スピーキングアセスメント				
15回	おもてなし英会話	Lesson30 ホテル:チェックアウト				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	ホテル・ブライダル 科	
科目名	WEB広告戦略			クラス	A	
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美			実務経験	有(通信業界勤務歴)	
授業概要(内容)	デザインの基本を知り、様々なコンテンツ作りを目指す。 Excelを使って、データの集計や報告書などの練習をする。			授業形態	講義&演習	
到達目標	今まで学習したOffice基礎やWeb・クラウドなどを再確認しながら、集客力のあるかっこいいコンテンツができるようになる					
使用テキスト	配布資料やスライドなどを使用					
成績評価方法	・提出課題50% 期末テスト30% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験						
テーマ		授業内容				
1回	前期振り返り					
2回	デザイン基礎とチラシ作成	前期応用で、Caféの新メニューキャンペーンのチラシを作成する				
3回	デザイン基礎とチラシ作成	前期応用で、Caféの新メニューキャンペーンのチラシを作成する				
4回	デザイン基礎とチラシ作成	前期応用で、店舗の新展開オープンのチラシを作成する				
5回	デザイン基礎とチラシ作成	前期応用で、店舗の新展開オープンのチラシを作成する				
6回	Canvaで始めるデザイン	Canvaでデザイン Canvaとは、どんなことができるのかを知る				
7回	Canvaで始めるデザイン	デザイン課題作成				
8回	Canvaで始めるデザイン	デザイン課題作成				
9回	Webページ作成	Webページ作成① Webページ作成の基礎技術 HTMLとCSSについて				
10回	Webページ作成	Webページ作成② Webページ作成の基礎技術 HTMLとCSSについて				
11回	Webページ作成	Webページ作成③ Webページ作成の基礎技術 HTMLとCSSについて				
12回	Excel応用	WordとExcelを組み合わせ、報告書作成				
13回	Excel応用	WordとExcelを組み合わせ、報告書作成				
14回	Excel応用	WordとExcelを組み合わせ、報告書作成				
15回	後期期末試験					

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ユニバーサルサービス			クラス	A	
担当講師(フルネーム)	原田歩			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	障害者や高齢者の生活の一部を体験し、理解を深める 基本的な介護知識を身につける			授業形態	講義&演習	
到達目標	仕事だけではなく、日常生活でも気づき実践できるようになる					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的、進め方、成績評価方法について理解する ユニバーサルデザインについて考える 身近なユニバーサルデザインを知る				
2回	視覚障害者へのサービス①	視覚障害者についての基本知識を習得する 介助犬について学ぶ 盲導犬について理解を深める				
3回	視覚障害者へのサービス②	視覚障害者の日常生活の一部を体験し、理解を深める 全盲体験をする 体験から学んだことを共有する				
4回	視覚障害者へのサービス③	視覚障害者への接客を学ぶ 手引きの方法を学ぶ ホテル内を想定し案内する				
5回	視覚障害者へのサービス④	視覚障害者への接客を学ぶ 手引きの方法を学ぶ ホテル内を想定し案内する				
6回	聴覚障害者へのサービス①	聴覚障害者の基本知識を習得する 聴覚障害者の日常生活の一部を体験し、理解を深める 体験から学んだことを共有する				
7回	聴覚障害者へのサービス②	様々なコミュニケーション方法を学ぶ 筆談でチェックイン業務を行う				
8回	高齢者へのサービス①	高齢者についての基本知識を習得する 高齢社会について考える 加齢に伴う心身の変化を理解する				
9回	高齢者へのサービス②	認知症についての基本知識を習得する 認知症の症状を学ぶ 高齢者への接客を学ぶ				
10回	内部障害のある方	内部障害についての基本知識を習得する				
11回	妊娠中の方・小さなお子さま連れの方	妊娠中の方についての基本知識を習得する 小さなお子さま連れの方への接客を学ぶ 施設や店舗で喜ばれるサービスを考える				
12回	肢体障害者へのサービス①	肢体障害者や麻痺のある方についての基本知識を習得する 車椅子の種類と基本操作を学ぶ 校内を自走する				
13回	肢体障害者へのサービス②	車椅子をご利用の方への案内方法を学ぶ 自走体験をもとに注意すべき点に気づく ホテル内を想定し案内する				
14回	肢体障害者へのサービス③	車椅子をご利用の方への案内方法を学ぶ 自走体験をもとに注意すべき点に気づく ホテル内を想定し案内する				
15回	肢体障害者へのサービス④ まとめ	段差や階段での案内方法を学ぶ 後期の振り返り				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	手話			クラス	Aクラス	
担当講師(フルネーム)	江口由香			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	聴覚障害について理解を深め、聴覚障害者のお客様とコミュニケーションのあり方を学ぶ			授業形態	講義&演習	
到達目標	手話での簡単日常会話と接客法					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	聴覚障がい者と手話	聞こえないとは 聴覚障害をとりまく環境と状況				
2回	伝え合ってみましょう	ものの形や身振り表情でコミュニケーション あいさつ				
3回	伝え合ってみましょう	自己紹介 名前の表し方・指文字				
4回	伝え合ってみましょう	人物の表し方・家族の紹介				
5回	数字を使って話しましょう	数の表し方 数に関する接客手話				
6回	手話で表現してみましょう	自分のことを手話で伝える 趣味の表現				
7回	仕事について話しましょう	職業の手話表現 職場でつかう手話				
8回	住所を紹介しましょう	地名の手話を学び住所を紹介する 交通手段の表現				
9回	自己紹介まとめ	これまで学んだ手話をつかって自分のことを伝える				
10回	一日のことを話しましょう	時の表し方 過去の表現				
11回	過去・現在・未来	時間の経過を表す 行事				
12回	接客手話	聴覚障がいのあるお客様に対するサービスの在り方				
13回	聞こえないとは	聴覚に障害がある人、デフファミリーの生活 実技テスト練習				
14回	実技テスト	学んだ手話で実技テスト				
15回	まとめ	手話学習まとめ				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科
科目名	フレッシュエース教育			クラス	A
担当講師(フルネーム)	長野 美穂			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	授業を通して社会人になった際の知識(考え方、動き方含む)を事前に身につける			授業形態	講義
到達目標	社会人としての基礎知識を身に付けるとともに、困難を楽しく生き抜く力を養う				
使用テキスト	適宜プリント				
成績評価方法	週ごとの課題提出 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	× 期末試験なし				
	テーマ	授業内容			
1回	イントロデュース	授業のすすめかた 社会人に必要な知識と知恵とは			
2回	アンガーマネジメント	自分の怒りのタイプを知る 上手な怒り方とは			
3回	ストレスマネジメント	接客業とストレス 上手にストレスコントロール			
4回	マネーセミナー①	大事なお金の話 ライフイベントやリスクを知ろう			
5回	マネーセミナー②	大事なお金の話 資産運用のABC			
6回	あなたの知らない世界①	興味を広げて、楽しいことを増やそう 〇〇の世界			
7回	HRS実技練習	本番直前！総仕上げ。			
8回	あなたの知らない世界②	興味を広げて、楽しいことを増やそう 〇〇の世界			
9回	発表準備	決まったテーマごとにグループ分け 発表準備			
10回	発表	発表			
11回	発表	発表			
12回	発表	発表 優秀食決定！			
13回	年賀状	内定先にひと工夫した年賀状をおくる			
14回	人生相談会	人生の大先輩に悩みを相談 上司との関係づくり、楽しく働くためには			
15回	まとめ	卒業前に総まとめ			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	観光産業概論			クラス	A	
担当講師(フルネーム)	友納真			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	旅行会社から見たホテル。旅行会社との繋がりから観光業界を知る。 観光素材である移動手段(鉄道・航空)・国内・海外の観光地理を学ぶ。			授業形態	講義&演習	
到達目標	観光についての知識を習得する。					
使用テキスト	講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30%(授業態度・出席率・小テスト・提出物含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		・授業の進め方／評価方法 ・「観光」の意味／観光業界のトピックス／観光の歴史など ※シラバスを持参してください			
2回	旅行会社		・旅行会社の仕組み(企画・手配・収入・添乗)・業界用語 ・観光業界においての「おもてなし」			
3回	国内の交通①		・JR(旅客鉄道株式会社)線・旅客営業規則 ・全国の新幹線・接続する特急列車 ・九州の「D&S」列車			
4回	国内の交通②		【演習】 ・JR時刻表を使ってみよう			
5回	国内の交通③		・国内の空港 ・国内線就航の航空会社 ・航空予約端末「アマデウス」とは			
6回	国内の交通④		・旅客営業規則(国内大手2社) ・福岡空港・東京国際空港(羽田)のアクセス			
7回	国内観光地理①		・国内の地域区分 ・九州(福岡県・佐賀県・長崎県)の観光地・名産品を学ぶ ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ			
8回	国内観光地理②		北海道・沖縄県 ・北海道・沖縄の地域・交通・気候 ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ			
9回	国内観光地理③		東京都 ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ			
10回	国内観光地理④		大阪府・京都府 ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ			
11回	海外観光地理①		・海外旅行の基礎知識・地勢 ・時差・言語・宗教・文化の違い			
12回	海外観光地理②		韓国・東南アジアの国々(タイ・マレーシア・シンガポール) ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ			
13回	海外観光地理③		英国・フランス ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ			
14回	まとめ		・授業の振り返り、まとめ			
15回	確認テスト(期末試験)		・確認テスト実施			

・講師作成プリントは講義時に配布します。
マーカーを用意してください。
 ・**小テスト**(数回実施)は
Google Formsを使用し、
スマートフォンで解いてもらいます。

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	社会情勢研究			クラス	A	
担当講師(フルネーム)	前田 恭子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	新聞を用いて話題性の高い時事ニュースを読み解く			授業形態	講義	
到達目標	時事ニュースについて自分の意見を述べられるようにする					
使用テキスト	講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験60% 平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	ニュースの発信源		・授業の進め方、評価方法について理解する ・新聞を読む意義を理解する・授業の進め方、評価方法について理解する ・日本および主要国の新聞社、通信社を知る			
2回	新聞の構成		・新聞の構成を知る ・新聞から必要な情報を探し出せるようになる			
3回	時事を学ぶ①		・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる			
4回	新聞研究①		・記事をジャンル分けできるようになる ・記事の要旨を「5W1H」を意識してまとめられるようになる			
5回	時事を学ぶ②		・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる			
6回	新聞研究②		・難解な語彙を調べながら、記事を読み進めることができる ・記事の要旨とともに、自分の意見も述べられるようになる			
7回	時事を学ぶ③		・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる			
8回	新聞研究③		・記事の背景を理解しながら、記事を読み進めることができる ・記事の要旨を自分の意見とともに発表できるようになる			
9回	時事を学ぶ④		・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる			
10回	新聞研究④		・興味の幅を広げて、記事を読むことができる ・発表内容を聞き、要旨を理解することができる			
11回	時事を学ぶ⑤		・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる			
12回	新聞研究⑤		・グループで研究テーマを決めて、発表準備をする			
13回	新聞研究⑥		・研究テーマについてグループで発表準備をする			
14回	新聞研究⑦		・グループごとに研究発表をする			
15回	新聞研究⑧		・グループごとに研究発表をする			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	プレゼンテーション			クラス	A	
担当講師(フルネーム)	吉良牧子			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	発声、発音、滑舌など基本的な話し方を学び 誰からも好感がもてる対話やプレゼンテーションができるようになる			授業形態	講義	
到達目標	社会で自己PRでき、商品をPRでき、意見の言える人材になる					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	自己紹介		これまでの自己紹介とこれからの自己紹介 話を聴いてもらうコツ 感じの良い印象を残すために			
2回	笑顔・挨拶		世界の挨拶 何のため、誰のため、することでどうなるの 第一印象を良くするためのトレーニング			
3回	名刺交換		印象を残す 笑顔をつくる 次に繋げる			
4回	スピーチ		就職問題を使用してのスピーチ作成 勝ち取るためのスピーチとは			
5回	発表		(もしくは課題提出)			
6回	商品説明		おススメを他者にPRする方法 印象を残すワード、文章 そこに集客力はあるか			
7回	発表		(もしくは課題提出)			
8回	フリートーク術		(もしくは課題提出)			
9回	絵本コミュニケーション		相手へのメッセージはシンプルな方が伝わる ワーク・提出課題あり			
10回	ブログコミュニケーション		印象を残す文章とは そこに集客力があるか おススメを欲しいと思えるか			
11回	就職問題		ネタ作り ワーク・提出課題あり			
12回	チェック		コミュニケーションゲーム・ワーク			
13回	スピーチ1分		課題			
14回	スピーチ3分		課題			
15回	マインドマップ		頭の中を整理する ストレスケア 目標立てと言葉のご褒美			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル 科	
科目名	着付け演習			クラス	A選択	
担当講師(フルネーム)	長野 美穂			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	着物のたたみ方や小物の名称などを覚える 着付けの練習			授業形態	実技	
到達目標	自装と他装で名古屋帯が結べるようになる					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	出席率100% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	着物		座礼で挨拶 備品の取り扱い方の注意点 着物と腰紐をきれいにたためるようになる 腰ひもを結ぶまで			
2回	着物		前回の復習 衿合わせ～伊達締めまで			
3回	半幅帯		半幅帯の結び方を覚える(文庫) 自装 他装			
4回	名古屋帯		名古屋帯を結ぶ(他装) お太鼓を作るまで			
5回	名古屋帯		名古屋帯を結ぶ(他装) 帯揚げ、帯締めの結び方をマスター			
6回	名古屋帯		名古屋帯を結ぶ(自装) ひたすら練習			
7回	名古屋帯		名古屋帯を結ぶ(自装) ひたすら練習			
8回	総まとめ		自装で着付けをして、お互いを手直し トータルコーディネートをして写真撮影			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	HRS実技セミナー			クラス	A	
担当講師(フルネーム)	小西 翼			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	HRS試験合格のために必要な技術を向上させる。 今年度の課題を読み取り、それに沿った対策を行う。			授業形態	実技	
到達目標	国家試験であるレストランサービス技能検定(HRS)3級の実技試験において、受験者全員の合格を目指す。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・実技試験の合否結果50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション 課題の確認		評価方法の説明 課題の確認 ロールプレイ			
2回	通し練習		セッティング 通し練習 整理整頓			
3回	通し練習		セッティング 通し練習 整理整頓			
4回	通し練習		セッティング 通し練習 整理整頓			
5回	通し練習		セッティング 通し練習 整理整頓			
6回	通し練習		セッティング 通し練習 整理整頓			
7回	通し練習		セッティング 通し練習 整理整頓			
8回	通し練習		セッティング 通し練習 整理整頓			

エアライン

学年	科目名
1	航空業界研究
1	エアカーゴ概論
1	ペン字
1	就職活動講座
1	コミュニケーションイングリッシュ
1	空港実務
1	グラウンドハンドリング
1	CA受験対策
1	アマテウスアルテア
1	貿易実務
1	TOEIC (火曜1限)
1	TOEIC (金曜4限)
1	危険物取扱試験対策
1	グラウンドハンドリング概論
1	空港実務
2	航空機概論
2	観光地理
2	コミュニケーションイングリッシュ
2	社会情勢研究
2	フレッシュャーズ教育
2	コンピュータ
2	アマテウスアルテア (横瀬)
2	アマテウスアルテア (原田)
2	CAゼミ

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	航空業界研究			クラス	Q	
担当講師(フルネーム)	吉原 正彦			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	航空会社及び関連会社の事業論・現業論について学ぶ 航空輸送の現状について学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	航空業界の全体を理解し、就職活動に役立つ知識を習得する					
使用テキスト	エアライン・ビジネス入門(第2版)・プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		後期授業内容(授業の進め方・成績評価方法)を具体的に説明する 前期授業内容(航空業界の歴史・航空会社の仕事)を復習する 航空会社の今後の動向について説明し学ぶ			
2回	航空会社の商品		航空会社の商品の特性について学ぶ 航空運賃(国内運賃と国際運賃)について学ぶ 航空会社の商品の販売手法について学ぶ			
3回	航空会社の関連事業		旅客サービス会社について学ぶ 航空機のグランドハンドリング関連会社について学ぶ 周辺事業会社(ケータリング・ホテル・旅行・商事流通)について学ぶ			
4回	航空機運航情報		運航スケジュールの見方(FLT NUMBER等)について学ぶ 飛行機の登録番号(SHIP NUMBER)について学ぶ フライトオペレーションでのブリーフィング内容、等について学ぶ			
5回	空港業務		旅客ハンドリング業務について学ぶ ステーション・オペレーション業務について学ぶ グランドハンドリング業務について学ぶ			
6回	航空貨物輸送		航空貨物輸送の歴史について学ぶ 航空貨物輸送の概要について学ぶ 日本発着の国際航空貨物について学ぶ			
7回	客室におけるサービス		客室乗務員の等級と編成について学ぶ 機内サービス(機内食・機内設備・ヒューマンサービス)について学ぶ 保安要員としての安全業務について学ぶ			
8回	運航・航空機整備		運航乗務員の概要について学ぶ エアラインの航空機整備の概要について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)			
9回	世界と日本のエアライン		エアラインを取り巻く環境について学ぶ エアライン発展の一世紀について学ぶ 日本航空と全日空、新しいエアラインの動向について学ぶ			
10回	日本の航空輸送		日本の航空輸送の変遷について学ぶ 日本の航空輸送の今後の課題について学ぶ			
11回	世界の航空輸送		世界の航空輸送の歴史について学ぶ 世界の航空輸送の枠組みについて学ぶ 国際旅客輸送の現状について学ぶ			
12回	空港の基本構造		空港の基本構造について学ぶ 現代の空港ターミナルビルの構造について学ぶ 日本の空港、ランウェイデータについて学ぶ			
13回	航空業界用語		航空機・運航・整備・空港施設・取り扱い関係用語について学ぶ 飛行機の座席、構造に関する用語、航空一般用語について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)			
14回	期末試験		飛行機が飛び立つまでの手順(プッシュバックから離陸まで)について学ぶ 期末試験を実施			
15回	まとめ		期末試験用紙を返却(解答説明) 授業全体のまとめ、補足			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科
科目名	エアカーゴ概論			クラス	Qクラス
担当講師(フルネーム)	秦 隆益			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	①国内・国際貨物、郵便取扱い業務およびロードコントロール業務を経験 ②航空貨物取扱い全般に加えてその他付随する他業務について講義			授業形態	講義&演習
到達目標	航空貨物取扱いについての基礎知識を学ぶことにより、航空業務への視野を広げる				
使用テキスト	エアカーゴマニュアル 資料プリント配布				
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	貨物の輸送形態	<ul style="list-style-type: none"> ・前期の振り返り ・貨物受託基準 ・保管基準 ・荷役作業基準 ・積付基準 ・取扱いラベルの説明 			
2回		<ul style="list-style-type: none"> ・重量分散 ・タイダウン要領 			
3回		<ul style="list-style-type: none"> ・運航重量の算出 ・重量差異の確認 ・搭載指示書 ・通気が必要な動物取扱い 			
4回	危険物輸送	<ul style="list-style-type: none"> ・危険物の分類 ・航空郵便として輸送可能な危険物 ・申告漏れになりがちな危険物(隠れた危険物) 			
5回		<ul style="list-style-type: none"> ・危険物受託要件 (申告書・IATA規則書・ラベリング・マーキング・運送状・受託チェックシート) 			
6回		<ul style="list-style-type: none"> ・少量危険物 ・微量危険物 ・CAO ・搭載基準 ・隔離基準 			
7回		<ul style="list-style-type: none"> ・運航部門への通知 ・機長への通知 ・危険物事故処理要領 ・危険物に起因する事故事例紹介 			
8回	イレギュラーケース	<ul style="list-style-type: none"> ・貨物損傷、紛失 ・ダイバート、オフロード、欠航時の対処 ・事故の種類、要因等と損害賠償 			
9回	ロードプラン	<ul style="list-style-type: none"> ・WIDE/NARROW機の特徴 ・搭載計画書を作成する上での注意点 (搭載基準・隔離基準) 			
10回		<ul style="list-style-type: none"> ・ロードプラン演習 (WIDE/NARROW機) 			
11回	ウェイト&バランス	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト&バランスの概要 ・ウェイト&バランスの目的 			
12回		<ul style="list-style-type: none"> ・用語の説明 ・重量の構成、重心位置、運用限界 			
13回		<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト&バランスシート作成(演習) 			
14回	後期のまとめ / 期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・後期授業のまとめ ・期末試験 			
15回	期末試験の解説	<ul style="list-style-type: none"> ・期末試験解答用紙の返却 ・期末試験の解説 ・1年間のまとめ 			

科	1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	ペン字				クラス	Q
担当講師(フルネーム)	白石真紀				実務経験	無
授業概要(内容)	文字の基本を学び、様々な用途に合わせた書式とバランスを学ぶ				授業形態	講義&演習
到達目標	実用ペン字・筆ペンの指導を通じて社会人としての教養を身につける。					
使用テキスト	オリジナルテキスト・下書き・ペン2種類・筆ペン					
成績評価方法	提出物70%、小テスト、授業態度30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	履歴書の書き方①		文字を書くための基本～姿勢・ペンの持ち方・種類 読みやすい履歴書を書くためのバランスと書式を学ぶ～横書きの書式 履歴書に出てくる漢字の書き取り練習と名前の練習～下書きを作る			
2回	履歴書の書き方②		履歴書まとめ①			
3回	履歴書の書き方③		履歴書まとめ② ～提出			
4回	美文字になるためのポイント①		文字の基本を学ぶ① 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ①			
5回	美文字になるためのポイント②		文字の基本を学ぶ② 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ②			
6回	美文字になるためのポイント③		文字の基本を学ぶ③ 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ③			
7回	美文字になるためのポイント④		文字の基本を学ぶ④ 文字(片仮名・平仮名)のバランスの取り方を学ぶ			
8回	実用書を学ぶ①		はがきの表書き～配字(書式)とバランスの取り方を学ぶ 封筒(縦長 長形4号)の書き方—個人・企業宛の書き分け①			
9回	実用書を学ぶ②		封筒(縦長 長形4号)の書き方—個人・企業宛の書き分け② 封筒(A4が入る封筒 角形2号)の書き方—個人・企業宛の書き分け①			
10回	実用書を学ぶ③		封筒(A4が入る封筒 角形2号)の書き方—個人・企業宛の書き分け② まとめ			
11回	実用書を学ぶ④		手紙の書き方 内定後のお礼状の書き方—縦書きの書式			
12回	筆ペンで実用書を学ぶ①		筆ペンの特徴と書き方 筆ペンで自分の名前の練習(楷書・行書) 芳名帳の書き方～書式とバランス			
13回	筆ペンで実用書を学ぶ②		慶弔の表書き① 「御祝」「寿」の練習と熨斗封筒の書き方			
14回	筆ペンで実用書を学ぶ③		慶弔の表書き② 「御仏前」「御霊前」の練習と不祝儀袋の書き方			
15回	筆ペンで実用書を学ぶ④		慶弔の表書き③ まとめ 色々な実用書を学ぶ 理論問題(プリント)			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	就職活動講座			クラス	Q	
担当講師(フルネーム)	小林俊也/原田歩			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職内定に向けて模擬面接を中心に面接対策を実施			授業形態	講義	
到達目標	深堀にも対応できる面接レベルを目標とする					
使用テキスト	「専門学校生のための就職内定基本テキスト」または適宜プリント配布					
成績評価方法	授業態度、提出物、身だしなみ、出席率により評価 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	業界求人動向 1年次前期の面接対策の振り返り 企業説明会参加時の心構え				
2回	模擬面接	グループ面接(基本パターンの再確認) フィードバック				
3回	模擬面接	グループ面接(基本パターンの再確認) フィードバック				
4回	模擬面接	グループ面接(基本パターンの再確認) フィードバック				
5回	模擬面接	グループ面接(基本パターンの再確認) フィードバック				
6回	模擬面接	グループ面接(応用) フィードバック				
7回	模擬面接	グループ面接(応用) フィードバック				
8回	模擬面接	グループ面接(応用) フィードバック				
9回	模擬面接	エントリーシート・履歴書作成の仕方 志望動機の書き方				
10回	模擬面接	WEB面接・動画作成について 志望動機、自己PR、ガクチカ確認				
11回	模擬面接	グループ面接 フィードバック				
12回	模擬面接	グループ面接 フィードバック				
13回	後期試験	グループ面接 フィードバック				
14回	模擬面接	グループ面接 フィードバック				
15回	就職活動に向けて	自身の将来の夢(理想の社会人像、キャリアプラン)について発表 就職活動全般の質疑応答				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			クラス	Q	
担当講師(フルネーム)	久保田 博子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	日常生活および空港・航空機内で使う語彙や会話表現を学びオンラインレッスンで実践する			授業形態	講義&演習	
到達目標	学んだ英語をエアライン業界での接客に活かせるようにする					
使用テキスト	予習・復習プリント					
成績評価方法	・オンラインレッスン評価60% アセスメント20% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	日常英会話 基礎編	Lesson16 Scene 8-1: 感想(1)				
2回	日常英会話 基礎編	Lesson17 Scene 8-2: 感想(2)				
3回	おもてなし英会話	Lesson18 空港: 出発ゲートの業務				
4回	日常英会話 基礎編	Lesson19 Scene 9-1: ほめる(1)				
5回	日常英会話 基礎編	Lesson20 Scene 9-2: ほめる(2)				
6回	おもてなし英会話	Lesson21 空港: 預け入れ荷物の返却				
7回	日常英会話 基礎編	Lesson22 Scene 10: 気づかう				
8回	日常英会話 基礎編	Lesson23 Scene 11: 依頼				
9回	おもてなし英会話	Lesson24 空港: よく聞かれる質問				
10回	日常英会話 基礎編	Lesson25 Scene 12-1: 提案(1)				
11回	日常英会話 基礎編	Lesson26 Scene 12-2: 提案(2)				
12回	おもてなし英会話	Lesson27 機内: 搭乗時				
13回	日常英会話 基礎編	Lesson28 Scene 13-1: スモールトーク(1)				
14回	日常英会話 基礎編 スピーキングアセスメント	Lesson29 Scene 13-2: スモールトーク(2) スピーキングアセスメント				
15回	おもてなし英会話	Lesson30 機内: 離着陸時				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	空港実務			クラス	Q①	
担当講師(フルネーム)	原田歩			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	国際線におけるお客様の流れを学ぶ サービスについて考え、接客を学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	国際線の基礎を理解し、接客スキルを身につける					
使用テキスト	JALグランドスタッフ入門					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション 出入国書類		授業の目的、進め方、成績評価方法について 前期の復習 専門用語、空港、航空会社について			
2回	出入国書類		パスポートやビザについて学ぶ 出入国書類に関する航空会社の責任について学ぶ			
3回	CIQ①		CIQの役割を理解する 国際線における手続きを学ぶ 国際線におけるお客様の流れを学ぶ			
4回	CIQ②		CIQの役割を理解する 国際線における手続きを学ぶ 国際線におけるお客様の流れを学ぶ			
5回	アライアンス		3つのアライアンスについて学ぶ 各アライアンスの加盟航空会社を学ぶ アライアンスに加盟するメリットを理解する			
6回	保安		アメリカ同時多発テロ事件について学ぶ 全日空機ハイジャック事件について学ぶ 安全に対し、より一層理解を深める			
7回	予約・チェックイン業務①		アマデウス等を使って接客をする			
8回	予約・チェックイン業務②		アマデウス等を使って接客をする			
9回	予約・チェックイン業務③		アマデウス等を使って接客をする			
10回	予約・チェックイン業務④		アマデウス等を使って接客をする			
11回	予約・チェックイン業務⑤		アマデウス等を使って接客をする			
12回	予約・チェックイン業務⑥		アマデウス等を使って接客をする			
13回	実技試験		予約業務・チェックイン業務の試験			
14回	期末試験		試験 1年間の復習			
15回	まとめ		テスト返却、フィードバック 就職活動について			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科
科目名	グランドハンドリング(後期)			クラス	Q選択
担当講師(フルネーム)	松下 良朗			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	日々進歩している航空機地上業務・航空輸送業務に対応する知識を習得する 航空会社が求めるグランドハンドリング業務全般を理解する			授業形態	講義
到達目標	グランドハンドリング業務(地上支援業務)に必要な関連知識の習得を目的とする				
使用テキスト	航空機のグランドハンドリング(日本航空技術協会)・パワーポイント				
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	前期授業振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・前期授業の振り返り ・後期授業の説明 			
2回	機体サービス作業	<ul style="list-style-type: none"> ・機体空調サービス(低圧空気)の供給作業について概要を説明する。 ・機体電源供給作業の操作方法。サービスパネルの位置について学ぶ。 ・エアスターター(高温高圧空気)供給作業について概要を説明する。 			
3回	客室サービス作業	<ul style="list-style-type: none"> ・客室クリーニングの種類、作業者の訓練・資格について学ぶ ・客室用品の搭載取り卸しとセッティングについて概要を説明する ・客室用品の補充・受け入れ作業について概要を説明する 			
4回	燃料搭載作業	<ul style="list-style-type: none"> ・航空燃料(ジェット燃料)について学ぶ ・搭載量(燃料オーダー)・給油方法(フューエラー方式・ハイドランド方式)について学ぶ ・燃料搭載作業手順について理解する。 作業のための資格について知る 			
5回	機体の防雪・防水作業	<ul style="list-style-type: none"> ・一般 防除雪氷液の種類性能について学ぶ ・ホールドオーバータイムの意味・変化する要因 ガイドラインに示された気象条件について学ぶ ・フローオフの特性・防除雪氷について学ぶ 			
6回	ヘリコプター/小型航空機のグランドハンドリング	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘリコプター-の飛行の仕組みを知る ・グランドハンドリング概要 ・ヘリの構造 小型機の概要 適用 			
7回	航空危険物	<ul style="list-style-type: none"> ・搭載従事者のための航空危険物1 航空輸送に関する法規 危険物輸送の概要 危険物の定義を学ぶ 			
8回	航空危険物	<ul style="list-style-type: none"> ・搭載従事者のための航空危険物2 輸送禁止品目 放射性物質の輸送 旅客に対する援助規定を理解する 			
9回	空港管理規定	<ul style="list-style-type: none"> ・制限区域内安全管理規定・エプロン運用要領・保安管理規定・危機管理について学ぶ ・模擬試験(制限区域内車両試験) ・GRID MAP 			
10回	グランドハンドリング作業	<ul style="list-style-type: none"> ・搭載取り卸し作業の実務を学ぶ ・貨物機の搭載/取り卸し準備/器材の取り扱いB/BL/C/P ・貨物機の取り卸し/搭載 ・ULD DIM 特殊搭載方法 F/P方式 機内積み付け方式 			
11回	グランドハンドリング作業	<ul style="list-style-type: none"> ・地上支援器材の取り扱いについて(概要・トパー牽引車 トパーレス牽引車)について学ぶ ・トパー・ダミー-SHIP ・車両取り扱い PSC/CS/MDL/MDT/HLB/ BL/TC/TT/FT 			
12回	グランドハンドリング作業	<ul style="list-style-type: none"> ・搭載取り卸し作業GRAND SERVICE EQUIPMENTの取り扱いを知る ・機種別CGO DOOR取り扱いを知る ・構造を学ぶ ・PBB取り扱い(機能と仕組み)について学ぶ 			
13回	グランドハンドリング作業	<ul style="list-style-type: none"> ・テールスタンション/テザリングの取り扱いを知る ・メインデッキハンドリングシステム/NOSEドア・サイドカーゴドアのOPEN/CLOSE ・重量分散 エリアロード/リニアロード 			
14回	グランドハンドリング作業	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ 授業全体を通し、グランドハンドリング会社の実際の映像(参考資料)を視聴し、航空機の発着及び作業の流れを理解する。 			
15回	授業まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・社会人への心構え ・フィロソフィ教育を学ぶ。 			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	CA受験対策			クラス	Q②	
担当講師(フルネーム)	小俣 郁美			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	CA受験に向けた面接対策及びエントリーシート対策			授業形態	講義	
到達目標	CA受験に自信をもって臨める為の面接レベルを目標とする					
使用テキスト	適宜プリント配布					
成績評価方法	・期末試験40% ・平常点60%(授業態度、提出物、身だしなみによる評価) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション エントリーシート 自己PR		・授業の進め方 ・エントリーシートの書き方			
2回	自己PR		・自己PRに基づいた面接対策			
3回	入室～自己PR		・面接対策			
4回	入室～自己PR		・面接対策(質問キャッチボール)			
5回	面接対策		・面接対策			
6回	面接対策		・面接対策			
7回	プレゼンテーション		プレゼンテーション大会			
8回	総評		プレゼンテーション大会における総評			
9回	面接対策インプレッショントレーニング		面接対策 インプレッショントレーニング強化			
10回	面接対策インプレッショントレーニング		面接対策 インプレッショントレーニング強化			
11回	面接対策・ディスカッション		面接対策 ディスカッション対策			
12回	面接対策・ディスカッション		面接対策 ディスカッション対策			
13回	面接・プレゼンテーション大会		面接対策・プレゼンテーション大会			
14回	面接・プレゼンテーション大会		面接対策・プレゼンテーション大会			
15回	総評		総評			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	アマデウスアルテア			クラス	Q	
担当講師(フルネーム)	横瀬 敦子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	予約の基礎に加え、応用へと進む。座席指定や機内食・マイル登録など複雑なPNR作成を行う。			授業形態	実技	
到達目標	予約操作の応用をマスターする。アマデウスシステム検定「初級」全員合格を目指す					
使用テキスト	amadeusu ユーザーガイド予約 早見表					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	前期復習		後期授業の進め方について(実習者へ・検定受験について・学生便覧にて確認) 簡単なPNR作成を行う(直行・乗継ぎ・オプション指定含む) DNEエントリー入力(機材の大きさチェック)			
2回	前期復習Ⅱ		小児・幼児を含む、PNR作成を行う PNRの完了後の画面確認(ステイタスコードの確認)・抽出の復習を行う			
3回	予約変更と取消		予約便の変更(SB入力) 予約便の取り消し(XE・XI入力)			
4回	旅客データ訂正		旅客氏名の入力(ヘボン式確認)と氏名変更について 連絡先(TEL)・発券期限の訂正			
5回	ダイレクトアクセス		※確認テスト実施 ダイレクトアクセスとは何かを学ぶ ダイレクトアクセス空席照会とAN(空席照会)の違いは何かを理解す			
6回	その他・便利入力		便利入力(キーボード・画面履歴・スピードマスター)を使用して、PNR操作処理を高める オープンセグメント予約を行う			
7回	SSR入力		SSRとは何か(概要)を学ぶ 機内食入力について概要説明、メインの食事サービスコードを覚える 機内食入力を含む、PNR作成を行う			
8回	SSR入力Ⅱ		座席指定(座席番号指定)を含む、PNR作成を行う シートマップからの(グラフィックページにて)座席配列や有料・無料座席を確認する SSRにて携帯電話とメールアドレス入力を行う			
9回	中間試験		中間試験実施(※後期成績評価対象となる)			
10回	SSRの追加と取消		今まで学んだ様々なSSRをPNRに追加する SSRの取消も行う			
11回	その他・特別な入力		マイルサービスとは何かを学び、FFP入力を含むPNR作成を行う 完成したPNR構成中のOSIやSSR表示の意味を理解する(何のために入力されているのか)			
12回	検定対策		初めての検定に向けての、心構えを学ぶ 検定対策(過去問題と添削)			
13回	検定対策Ⅱ		検定対策(クラスルーム使用・WEB試験にて検定対策を行う)			
14回	期末試験		後期・期末試験の実施			
15回	総復習		後期の総復習(検定初級問題の内容に準じて行う) 後期・期末試験返却と答え合わせ			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科・国際ビジネス科	
科目名	貿易実務			クラス	Q、D	
担当講師(フルネーム)	中村 秀茂			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	国際物流業界での通関実務、営業、企画の経験あり。 貿易実務の基本を講義。貿易実務英語は毎回の講義で少しずつ触れます。			授業形態	講義	
到達目標	貿易実務検定C級合格					
使用テキスト	最新貿易実務ベーシックマニュアル改訂4版(MHJ出版)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	貨物海上保険	① 付保手続き ② 貨物海上保険の基本条件				
2回	貨物海上保険	② 貨物海上保険の基本条件				
3回	貿易取引に関するその他の保険	① 製造物責任とは ② PL保険 ③ 貿易保険				
4回	代金決済	① 外国との代金決済 ② 荷為替手形による決済 ③ 送金による決済				
5回	船積みから輸出代金の回収	① 輸出実務の流れ ② 為替予約 ③ 輸出貿易管理				
6回	船積みから輸出代金の回収	④ 輸出の準備 ⑤ 輸出通関と船積手続				
7回	船積みから輸出代金の回収	⑤ 輸出通関と船積手続 ⑥ 代金回収手続				
8回	船積通知の受領から貨物の引取りまで	① 輸入実務の流れ ② 輸入貿易管理 ③ 代金決済と輸入金融				
9回	船積通知の受領から貨物の引取りまで	④ 貨物の荷受け ⑤ 輸入通関				
10回	船積通知の受領から貨物の引取りまで	⑤ 輸入通関				
11回	外国為替相場と為替変動リスクの回避	① 外国為替相場と外国為替市場 ② 貿易取引と相場				
12回	外国為替相場と為替変動リスクの回避、1回から6回までの復習	③ 為替変動リスクの回避 貨物海上保険、貿易取引に関するその他の保険、代金決済、船積みから輸出代金の回収 おさらいとポイント				
13回	7回～12回までの復習	船積みから輸出代金の回収、船積通知の受領から貨物の引き取りまで、外国為替相場と為替変動リスクの回避のおさらいとポイント				
14回	過去問	貿易実務検定C級の過去問を解いてみる。答え合わせの中で理解を深める。				
15回	後期のまとめと期末試験	① 全体の振り返りとまとめ ② 期末試験				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	TOEIC(火曜1限)			クラス	Q	
担当講師(フルネーム)	日高 郁子			実務経験	有	
授業概要(内容)	TOEICに特化した文法を基礎から復習。語彙力を高め、音読、シャドウイングなどでリスニング力を強化してスコアアップにつなげる。 ※レベルに合わせるためシラバス通りに進まない場合があります。			授業形態	講義	
到達目標	各自の目標スコアを達成する。					
使用テキスト	TOEIC L&Rテスト 書き込みドリル スコア500 全パート入門編 / その他プリント等					
成績評価方法	期末試験60% 中間模擬テスト20% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の進め方について TOEICとは? TOEICミニテスト			
2回	Part5品詞問題&Part1		品詞(名詞、形容詞、副詞)の見分け方 品詞問題の解き方 Part5 (Day 1&7)			
3回	Part5時制、能動態、受動態 &Part2		時制の総復習 Part2解き方 Part5 (Day 2,3,8)			
4回	Part5代名詞・関係代名詞 &Part2		代名詞、関係代名詞(Part5) 依頼、提案、勧誘、申し出(Part2) (Day 4,9)			
5回	Part5接続詞・前置詞		接続詞、前置詞(Part5) Part1&2の復習 (Day 5, 10)			
6回	Part5復習&Part3		Part3の解き方 Part5のこれまでの復習 (Day11,12)			
7回	Part6&Part3		Part6 時制、代名詞、語彙問題 Part3(電話) (Day13,28)			
8回	Part4&Part7		Part4(アナウンス、ツアー) Part7(長文の解き方) (Day16,21)			
9回	Part3&Part7 中間模擬テスト		Part3(オフィスでの会話) Part7(広告) 中間模擬テスト (Day14,15,22)			
10回	Part4&Part6		Part4(ラジオ放送、宣伝) Part6(つなぎ言葉、文章の挿入問題) (Day17,29)			
11回	Part4&7		Part4(留守番電話) Part7(チャット) (Day18,23)			
12回	Part4&7		Part4(トーク、スピーチ、会議の一部) Part7(手紙、e-mail) (Day19,24)			
13回	Part3&4の復習 Part7		Part3&4の復習 Part7(ダブルパッセージ) (Day20,25)			
14回	Part7の復習		Part7(トリプルパッセージ) Part7復習 (Day26,27,Day30)			
15回	期末試験		期末試験			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	TOEIC(金曜4限)				クラス	Q
担当講師(フルネーム)	日高 郁子				実務経験	有
授業概要(内容)	語彙力を高め、音読、シャドウイングなどでリスニング力を強化してスコアアップにつなげる。問題を数多く解き、トレーニングする。 ※レベルに合わせるためシラバス通りに進まない場合があります。				授業形態	講義
到達目標	各自の目標スコアを達成する。					
使用テキスト	TOEIC L&R戦略的トレーニング:レベル600 / その他プリント等					
成績評価方法	期末試験50% 小テスト20% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	Part1&Part5		前期の復習 Part1 Part5			
2回	Part2&Part5&7		能動態、受動態 Part2 Part5,7 小テスト①			
3回	Part3&Part6		分詞 Part3 Part6 小テスト②			
4回	Part4&Part5		時制 Part4 Part5 小テスト③			
5回	Part3&Part7		前置詞、接続詞 Part3 Part7 小テスト④			
6回	Part5&6		代名詞、関係代名詞 Part5 Part6 (長文穴埋め問題の基本戦略) 小テスト⑤			
7回	Part7		Part7(長文の解き方) Part5 小テスト⑥			
8回	Part1,2&Part6		リスニング Part6 小テスト⑦			
9回	Part3,4&Part5		リスニング Part3,4&Part5 単語テスト			
10回	Part7		広告、チャット問題の攻略 Part7 小テスト⑧			
11回	模擬テスト (リスニング)		模擬テスト リスニング 解答			
12回	模擬テスト (リーディング)		模擬テストリーディング 解答			
13回	模擬テスト復習		模擬テスト復習 解説 小テスト⑨			
14回	文法総復習		これまでの文法の総復習 Part7 小テスト⑩			
15回	期末試験		期末試験			

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科	
科目名	危険物取扱者対策(選択)			クラス	Q	
担当講師(フルネーム)	池内 勝			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	国家試験 危険物取扱者乙種4類の免許取得及び危険物取扱全般			授業形態	講義	
到達目標	国家試験 危険物取扱者乙種4類の免許取得					
使用テキスト	危険物取扱必携法令編及び実務編					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	燃焼と消火		物理及び化学の基礎について			
2回	燃焼と消火		物理及び化学の基礎について			
3回	燃焼と消火		危険物の性質 消火方法、消火設備について			
4回	燃焼と消火		過去問題を解く 問題解説			
5回	燃焼と消火		過去問題を解く 問題解説			
6回	燃焼と消火		過去問題を解く 問題解説			
7回	国家試験対策		過去問題を解く 問題解説			
8回	国家試験対策		過去問題を解く 問題解説			
9回	国家試験対策		過去問題を解く 問題解説			
10回	国家試験対策		過去問題を解く 問題解説			
11回	国家試験対策		過去問題を解く 問題解説			
12回	国家試験対策		過去問題を解く 問題解説			
13回	国家試験対策		過去問題を解く 問題解説			
14回	期末試験対策		後期のまとめ 期末試験対策について			
15回	期末試験		期末試験対策の解説 後期の授業の進め方について			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	グランドハンドリング概論			クラス	Q選択	
担当講師(フルネーム)	吉原 正彦			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	グランドハンドリング業務(地上支援業務)に関わる概要を理解する 航空会社が求めるグランドハンドリングの業務内容について学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	グランドハンドリング業務(地上支援業務)に必要な関連知識の習得を目的とする					
使用テキスト	航空機のグランドハンドリング(日本航空技術協会)・必要に応じプリント配布					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の進め方・成績評価方法について説明する グランドハンドリングの歴史と意義について学ぶ グランドハンドリング作業の概念についてFLT例を用い具体的に説明する				
2回	ランプ・イン/アウト作業	誘導業務の内容、要領、訓練方法、資格取得など概略を説明する マーシャリング作業、マーシャラーの心得について学ぶ 航空機トーイング操作、プッシュ・バック要領について学ぶ				
3回	ランプ・イン/アウト作業	ブレーキマンの主要作業と作業上の注意について学ぶ ウォッチ作業(監視作業)、ウォッチマン(監視員)の心得について学ぶ 航空機移動中の安全確保について学ぶ				
4回	搭載・取り卸し関連業務	搭載計画(ロード・プラン)作成業務の概要について学ぶ ウエイト・アンド・バランス業務(航空機の重量・機体の重心位置、等)について学ぶ 手荷物・貨物および郵便物の集荷・分別・通関・引き渡し作業と運搬作業について学ぶ				
5回	搭載・取り卸し作業	搭載取り卸し作業の概要、基本的な考え方について学ぶ 搭載物件(特殊貨物)の取り扱い等について学ぶ 航空機貨物室内における作業上の注意点について学ぶ				
6回	搬出作業一般	機種、機番、スポット、出発時刻(運航スケジュール・モニタ)の確認について学ぶ 貨物・郵便物搬出回数、物量などの情報について学ぶ 手荷物搬出回数、物量等の情報および搬出時の連結台数について学ぶ				
7回	航空機への搭載・取り卸し	航空機へのULDの搭載、及びULDの種類とタイプについて学ぶ パレット・コンテナの搭載方法(ハイリフト・ローダ、航空機貨物室内)について学ぶ バルク貨物・郵便物・手荷物の搭載手順について学ぶ				
8回	搭載監督者業務	搭載監督者業務一般、搭載監督者1級・2級の違いについて学ぶ 出発便・到着便の搭載監督者業務(情報の収集、作業指示および確認)について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)				
9回	旅客乗降ドアの開閉操作	機種ごとの旅客乗降ドアの名称、数について学ぶ 機種ごとの旅客乗降ドアの内部構造、機構とモード機能について学ぶ 旅客乗降ドアの操作方法、機種ごとの違いについて学ぶ				
10回	カーゴドアの開閉作業	機種(旅客機)ごとの貨物室の位置とカーゴ・ドアの大きさ、機構について学ぶ 貨物専用機の貨物室の位置とカーゴ・ドアの大きさ、機構について学ぶ カーゴ・ドアの操作方法、機種ごとの違いについて学ぶ				
11回	機体・客室サービス業務	機体外部クリーニングの実施時期、種類と作業方法について学ぶ 機内空調サービス・機体電源供給作業について学ぶ 客室クリーニングの種類と客室用品の搭載取り卸し作業について学ぶ				
12回	航空機地上支援機材	航空機地上支援機材の概要およびランプ・イン/アウト作業用GSEについて学ぶ 搭載・取り卸し作業用GSE(ステップ車・PBB・カーゴローダ等)について学ぶ 搭載・取り卸し業務用GSE(ドーリ/カート牽引車・コンテナドーリ等)について学ぶ				
13回	安全・品質管理	安全管理一般(機体付近の安全・高所作業の安全、等)について学ぶ 品質管理一般(航空輸送の品質・サービス、等)について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)				
14回	空港規則・期末試験	空港規則(制限区域内の車両安全)について学ぶ 期末試験を実施				
15回	まとめ	期末試験用紙を返却(解答説明) 授業全体のまとめ、補足				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	空港実務			クラス	Q②	
担当講師(フルネーム)	渡辺咲紀			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	国内線・国際線におけるお客様の流れを学ぶ チェックイン業務、ゲート業務、アナウンス業務など実技を交えながら学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	GSの業務を理解し、CAやGHの業務と関連づける					
使用テキスト	JALグランドスタッフ入門					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の目的、進め方、成績評価方法について 航空業界について GSに求められる人材について考える			
2回	空港		世界の空港について学ぶ 各空港の特徴を学ぶ			
3回	航空会社とアライアンス		世界の航空会社について学ぶ 各社の特徴を学ぶ アライアンス加盟によるメリットを理解する			
4回	サービス		FSCとLCCについて学ぶ 良いサービスとは何か考える			
5回	GSの業務と役割①		旅客ハンドリング担当会社について学ぶ GSの業務形態を学ぶ			
6回	GSの業務と役割②		GSの業務内容を学ぶ チェックイン業務 アナウンス業務			
7回	GSの業務と役割③		GSの業務内容を学ぶ チェックイン業務 アナウンス業務			
8回	GSの業務と役割④		GSの業務内容を学ぶ ゲート業務 アナウンス業務			
9回	Webサイト運賃		各社Webサイトを比較する 空席照会 搭乗方法について学ぶ			
10回	出入国書類		パスポート、ビザについて学ぶ 出入国書類に関する航空会社の責任について学ぶ			
11回	CIQ		CIQの役割を理解する 国際線における手続きを学ぶ 国際線におけるお客様の流れを学ぶ			
12回	手荷物①		受託・持込み手荷物のルールを学ぶ 手荷物タグについて学ぶ 収納ケースについて学ぶ			
13回	手荷物②		危険物について学ぶ BAGトラブルについて学ぶ			
14回	期末試験		期末試験 復習			
15回	まとめ		テスト返却、フィードバック イレギュラー時のハンドリングについて学ぶ 就職活動について			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	航空機概論			クラス	0	
担当講師(フルネーム)	吉原 正彦			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	航空機の発達、技術の進歩について学ぶ 世界の空で活躍する旅客機のメーカー・機種・メカニズムについて学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	航空機の名称と各部の機能、役割、特性について理解する					
使用テキスト	航空知識のABC・必要に応じプリント配布					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の目的について具体的に説明する 授業の進め方・成績評価方法について説明する 航空機に対する思い、イメージ等について意見交換を行う			
2回	航空機製造メーカー		航空機製造メーカーについて学ぶ 航空機製造の流れについて学ぶ 航空機製造において、共同開発に参画している日本企業について学ぶ			
3回	飛行機の構造		飛行機の形、その理由について学ぶ 飛行機の各部の名称・機能について学ぶ 飛行機の構造と製造プロセスについて学ぶ			
4回	飛行の原理		飛行機と航空機の違いについて学ぶ 飛行機が飛ぶための原理(4つの力)について学ぶ 離陸・旋回・着陸のための仕組みについて学ぶ			
5回	旅客機のメカニズム		飛行機が軽くて丈夫なわけについて学ぶ 飛行機の胴体断面が円い理由について学ぶ 旅客機の主翼はなぜ細長いのか？主翼には何が入っているのか？について学ぶ			
6回	機体構造と役割		主翼・水平尾翼・垂直尾翼が飛行に果たす役割について学ぶ 動翼(スポイラー・フラップ・エルロン・エレベーター・ラダー)及び主輪・前輪の構造、役割について学ぶ			
7回	機体構造と役割		制動装置(ブレーキ・システム)の仕組みについて学ぶ 地表と航空機をつなぐ着陸装置(緩衝装置)について学ぶ 航空機用タイヤについて学ぶ			
8回	機体構造と役割		飛行機の発電システムと動力供給システムについて学ぶ 飛行機の与圧・空調装置の仕組みについて学ぶ 小テスト(採点と解答説明)			
9回	機体構造と役割		ジェット・エンジンのしくみ、働きと種類について学ぶ ターボジェット・エンジン、ターボプロップ・エンジン、ターボシャフト・エンジンの違いについて学ぶ ターボファン・エンジンの働きについて学ぶ			
10回	機体構造と役割		機体の内部構造、各種ドアについて学ぶ 客室(座席の種類・座席の配列・ギャレーの構造及び機能・収納庫、等)について学ぶ 貨物室(前方・後方・バルク)について学ぶ			
11回	飛行機の運航システム		旅客機のコクピットはどのような仕組みになっているか学ぶ 日本の航空会社で活躍中の最新旅客機のコクピットについて学ぶ 巡航高度はどのように保たれているかについて学ぶ			
12回	飛行機の運航システム		電波・目視・ボイスなど様々なアプローチ法について学ぶ 安全運航を脅かす気象現象について学ぶ 自動操縦装置機能が安全運航に果たす役割について学ぶ			
13回	飛行に関わる機体の要素		飛行機に装備されている灯火系統の種類と役割について学ぶ 飛行機に装備されている多種多様なアンテナについて学ぶ 小テスト(採点と解答説明)			
14回	期末試験		ハイテクを駆使して収益性や環境保護に配慮した最新鋭旅客機について学ぶ 期末試験を実施			
15回	まとめ		期末試験用紙を返却(解答説明) 授業全体のまとめ、補足			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	エアライン科
科目名	観光地理			クラス	○
担当講師(フルネーム)	友納真			実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	国内・海外の観光地理を学ぶ(空港から先の観光資源)。有名観光地の映像を見て学ぶ。			授業形態	講義
到達目標	日本・海外の地域の特性、主な都市・有名観光地を学ぶ。				
使用テキスト	講師作成プリント				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30%(授業態度・出席率・小テスト・提出物含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	国内観光地理①	・国内観光地理オリエンテーション(国内の地域区分・7つの新幹線) ※シラバスを持って来てください。			
2回	国内観光地理②	・九州(福岡県・佐賀県・長崎県) ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ			
3回	国内観光地理③	北海道・沖縄県 ・北海道・沖縄の地域・交通・気候 ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ			
4回	国内観光地理④	東京都 ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ			
5回	国内観光地理⑤	大阪府・京都府 ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ			
6回	国内観光地理⑥	北陸(富山県・石川県・福井県) ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ			
7回	海外観光地理①	・海外観光地理オリエンテーション(海外の地勢・海外旅行の基礎知識) ・時差・言語・宗教・文化の違い			
8回	海外観光地理②	韓国・東南アジアの国々(タイ・マレーシア・シンガポール) ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ			
9回	海外観光地理③	オセアニア(オーストラリア・ニュージーランド) ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ			
10回	海外観光地理④	英国(イギリス) ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ			
11回	海外観光地理⑤	フランス ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ			
12回	海外観光地理⑥	ドイツ・スイス・オーストリア ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ ・ロマンチック街道の観光ルート・スイス山岳鉄道・オーストリアの音楽			
13回	海外観光地理⑦	アメリカ・ハワイ ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ			
14回	まとめ	・授業の振り返り、まとめ			
15回	確認テスト(期末試験)	・確認テスト実施			

・講師作成プリントは講義時に配布します。
マーカーを用意してください。
 ・**小テスト**(数回実施)は
Google Formsを使用し、
スマートフォンで解いてもらいます。

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	エアライン科
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			クラス	0
担当講師(フルネーム)	Tim Orris			実務経験	無
授業概要(内容)	Doing self introductions. Making various presentations about oneself with a lot of partner work. A lot of vocabularies. Practicing role plays. Understanding various culture points.			授業形態	講義
到達目標	To improve students' fluency and ability to use simple English at work and socially. To raise their confidence levels using simple English by creating more opportunities for the students to speak.				
使用テキスト	チャレンジブック#4、各種プリント配布				
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション Warm Up: P7, Vocabulary: P1 チャレンジブック とにかくひとこと Dialog 1	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with A Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog			
2回	Warm Up: P7, Vocabulary: P1 チャレンジブック とにかくひとこと Dialog 1	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with A Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog			
3回	Warm Up: P7, Vocabulary: P2 チャレンジブック とにかくひとこと Dialog 2	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with B Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog			
4回	Warm Up: P10, Vocabulary: P2 チャレンジブック とにかくひとこと Dialog 2	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with B Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog			
5回	Warm Up: P10, Vocabulary: P3 チャレンジブック とにかくひとこと Dialog 3	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with C Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog			
6回	Warm Up: P10, Vocabulary: P3 チャレンジブック とにかくひとこと Dialog 3	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with C Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog			
7回	Warm Up: P13, Vocabulary: P4 チャレンジブック とにかくひとこと Dialog 4	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with D Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog			
8回	Warm Up: P13, Vocabulary: P4 チャレンジブック とにかくひとこと Dialog 5	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with D Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog			
9回	Warm Up: P13, Vocabulary: P5 チャレンジブック とにかくひとこと Dialog 5	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with E Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog			
10回	Warm Up: P16, Vocabulary: P5 チャレンジブック とにかくひとこと Dialog 6	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with E Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog			
11回	Warm Up: P16, Vocabulary: P6 チャレンジブック とにかくひとこと Dialog 6	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with F Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog			
12回	Warm Up: P16, Vocabulary: P6 チャレンジブック とにかくひとこと Dialog 7	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with F Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog			
13回	Warm Up: P19, Vocabulary: P7 チャレンジブック とにかくひとこと Dialog 7	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with G Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog			
14回	Warm Up: P19, Vocabulary: P7 チャレンジブック とにかくひとこと Dialog 8	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with G Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog			
15回	Warm Up: P19, Vocabulary: P8 チャレンジブック とにかくひとこと Dialog 8, test	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Sentences using nouns starting with H Challenge Book, Role play with とにかくひとこと Dialog			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	社会情勢研究			クラス	O・C	
担当講師(フルネーム)	久保田 博子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	インターネットを通じて、社会情勢を理解する			授業形態	講義&演習	
到達目標	・メディアリテラシーを身につける ・自分の意見をまとめ、表現する					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	提出物、授業内プレゼンテーション、授業態度等で評価する ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の進め方、評価方法について理解する メディアリテラシーとは何かを知る 新聞の文章の特徴をつかむ			
2回	新聞社デジタル版を読む ①		全国紙4紙+ブロック紙1紙の5紙新聞社デジタル版を比較する			
3回	新聞社デジタル版を読む ②		全国紙4紙新聞社デジタル版の社説を読み、特徴をつかむ			
4回	朝日新聞デジタル版を読む①		記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめ、発表する			
5回	朝日新聞デジタル版を読む②		記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめ、発表する			
6回	毎日新聞デジタル版を読む①		記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめ、発表する			
7回	毎日新聞デジタル版を読む②		記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめ、発表する			
8回	読売新聞デジタル版を読む①		記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめ、発表する			
9回	読売新聞デジタル版を読む②		記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめ、発表する			
10回	西日本新聞デジタル版を読む①		記事の中から興味がある記事について自分の意見をまとめ、発表する			
11回	西日本新聞デジタル版を読む②		記事の中から興味がある記事について自分の意見をまとめ、発表する			
12回	新聞社デジタル版のコラムを読む		コラムを読み、自分の意見をまとめ、発表する			
13回	新聞社デジタル版を読む ① 「私のトップニュース」		記事の中から興味がある記事について自分の意見をまとめ、発表する			
14回	新聞社デジタル版を読む ② 「私のトップニュース」		記事の中から興味がある記事について自分の意見をまとめ、発表する			
15回	まとめ		レポートを作成し、提出する			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	国際ビジネス科・エアライン科
科目名	フレッシュヤーズ教育			クラス	CO
担当講師(フルネーム)	原田歩			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	学生と社会人の違いを学び、働く上での心構えをする ビジネスマナー、ユニバーサルサービスを復習する			授業形態	講義
到達目標	社会人になる覚悟をする				
使用テキスト	プリント				
成績評価方法	課題、小テスト、グループワークで評価する ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	× 期末試験なし				
テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション 入社3か月の壁	授業の目的、進め方、成績評価方法について 社会人のイメージ、不安に感じていることなど共有する ミスをした時の行動、捉え方を学ぶ			
2回	働く環境①	給与、保険、福利厚生について理解を深める 様々な会社の福利厚生から職場環境について考える			
3回	働く環境②	就業規則について学ぶ 公金、貸与品の取り扱いについて学ぶ			
4回	働く環境③	組織で働くということを理解する 報告・連絡・相談の重要性について理解する 指示・命令の受け方を学ぶ			
5回	人間関係①	良好な人間関係を築くためのヒントを見つける グループワークを通してチームで働くということを理解する 報告・連絡・相談、指示・命令を実践を通して学ぶ			
6回	人間関係②	良好な人間関係を築くためのヒントを見つける グループワークを通してチームで働くということを理解する 報告・連絡・相談、指示・命令を実践を通して学ぶ			
7回	人間関係③	良好な人間関係を築くためのヒントを見つける グループワークを通してチームで働くということを理解する 報告・連絡・相談、指示・命令を実践を通して学ぶ			
8回	マナー①	電話応対について復習する 訪問時のマナー、来客応対について復習する アプローチ話法を用いて会話をする			
9回	マナー②	電話応対について復習する 訪問時のマナー、来客応対について復習する アプローチ話法を用いて会話をする			
10回	ユニバーサルサービス	障がいのあるお客様の対応を学ぶ			
11回	慶弔・贈答のマナー	慶弔時の適切な対応について学ぶ お見舞いの基本マナーについて学ぶ			
12回	コンプライアンス	コンプライアンスについて考える 様々なハラスメントについて考え、ディスカッションする			
13回	プライベート	休日の過ごし方を考える 心身ともに健康であるためのケア方法を発表する			
14回	転職	転職が訪れたら・・・			
15回	まとめ	入学時からを振り返る			

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	エアライン 科	
科目名	コンピュータ			クラス	0	
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美			実務経験	有(通信業界勤務歴)	
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 表計算の基礎を学び、活用できる力を習得する。			授業形態	講義&演習	
到達目標	表計算技能検定2級レベルの習得および資格取得。社会人として必要なパソコンスキルの活用力・応用力を習得する。					
使用テキスト	30時間でマスター Office2019					
成績評価方法	・期末試験40% パワーポイント提出課題40% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験						
	テーマ	授業内容				
1回	Office活用	Excelで名簿作成 WordでDM用チラシ作成				
2回	Office活用	Word差し込み印刷機能でDM作成 社会生活の中で必要な電子印鑑について				
3回	Word応用	名刺を作ろう①				
4回	Word応用	名刺を作ろう②				
5回	Excel応用	Excel復習 オートSUM活用、前年比・構成比の計算、その他ROUND関数・IF関数など				
6回	Excel応用	Excel復習 オートSUM活用、前年比・構成比の計算、その他ROUND関数・IF関数など				
7回	PowerPoint基礎	YouTubeで見られるようなテクニックをマスターしよう				
8回	PowerPoint基礎	課題スライド作成「世界の空港を紹介」① 発表する内容をWordでまとめる コンテンツの準備				
9回	PowerPoint基礎	課題スライド作成「世界の空港を紹介」② アニメーション・画面切り替え効果、効果音・サウンド・BGMの挿入				
10回	PowerPoint基礎	課題スライド作成「世界の空港を紹介」③ アニメーション・画面切り替え効果、効果音・サウンド・BGMの挿入				
11回	PowerPoint基礎	課題スライド作成「世界の空港を紹介」④ アニメーション・画面切り替え効果、効果音・サウンド・BGMの挿入				
12回	PowerPoint基礎	課題スライド作成「世界の空港を紹介」⑤ スライドの仕上げ・スライドショーの確認とリハーサル				
13回	PowerPoint基礎	プレゼンテーション 発表				
14回	Word・Excel総合	Word・Excelを活用した書類作成				
15回	後期期末試験	Word・Excelを活用した書類作成				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	アマデウスアルテア			クラス	0	
担当講師(フルネーム)	横瀬 敦子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	運賃計算を主に、運賃表からの運賃規則やルーティングを確認する。 また、PNR作成後の最安値運賃計算や発券操作も行う。			授業形態	実技	
到達目標	アマデウスシステム検定・中級を取得する(希望者のみ)。					
使用テキスト	amadeus ユーザーガイド予約 運賃・発券 早見表					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	予約全般(応用編)		後期授業の進め方について(検定受験について・学生便覧にて確認) PNR完了後のヒストリー確認(過去の操作データ)を行う			
2回	予約全般(応用編)Ⅱ		PNRの分割(復習)とコピー入力を行う アマデウス履歴画面の使用方法を学ぶ			
3回	予約全般(応用編)Ⅲ		SSR入力の応用を行う バシネット・車椅子の入力練習をする			
4回	旅客氏名アップデート		旅客氏名の入力や訂正についての注意事項を確認する その他、予約変更やデータ訂正の復習も行う その他、PNRへOSIとリマークスの追加入力を行う			
5回	運賃表復習		運賃表にて、各航空会社の最安値運賃を確認する(復習) 運賃表表示後の変更エントリー(ショートカットエントリー)を行う			
6回	運賃規則		運賃表からの、規則確認(手数料・予約や発券期限・ストップオーバーなど)をする 運賃表からの、通貨換算エントリーを学ぶ			
7回	ルーティング		運賃表からの、(各航空会社指定の)飛行ルートを確認する			
8回	中間試験		中間試験実施(※後期成績評価対象となる)			
9回	PNR作成後の運賃計算		PNR作成後、運賃計算を行う(FXP/FXX) 運賃計算後の画面確認を行う			
10回	PNR作成後の運賃計算Ⅱ		運賃計算オプション入力を学ぶ(旅客/セグメント/条件指定など) チケットイメージを確認する(EQQ)			
11回	BEST PRICER		PNR作成後、最安値運賃を表示させる(FXA) PNR作成後、最安値運賃で再予約する(FXB/FXR) 各エントリーの意味を理解する			
12回	PNR作成と発券		発券操作と画面確認 PNR作成後のTST作成 お客様控えの印刷			
13回	検定対策		中級試験の内容(選択問題とPNR作成について)を理解する 検定対策(過去問題と添削)			
14回	期末試験		期末試験実施			
15回	総復習		予約全般(便利入力を使用しPNR作成を行う、SSR/分割&コピーを含む) 運賃全般(作成したPNRからの最安値運賃を計算して発券操作からお客様控えを印刷する) 期末試験実施試験の返却と答え合わせ			

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	エアライン科	
科目名	アマデウスアルテア			クラス	O②	
担当講師(フルネーム)	原田歩			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	予約の基礎に加え、応用へと進む。座席指定や機内食・マイルージ登録など複雑なPNR作成を行う。			授業形態	実技	
到達目標	予約操作の応用をマスターする。アマデウスシステム検定「初級」全員合格を目指す					
使用テキスト	amadeusu ユーザーガイド予約 早見表					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	前期復習		後期授業の進め方について(実習者へ・検定受験について・学生便覧にて確認) 簡単なPNR作成を行う(直行・乗継ぎ・オプション指定含む) DNEエントリー入力(機材の大きさチェック)			
2回	前期復習Ⅱ		小児・幼児を含む、PNR作成を行う PNRの完了後の画面確認(ステイタスコードの確認)・抽出の復習を行う			
3回	予約変更と取消		予約便の変更(SB入力) 予約便の取り消し(XE・XI入力)			
4回	旅客データ訂正		旅客氏名の入力(ヘボン式確認)と氏名変更について 連絡先(TEL)・発券期限の訂正			
5回	ダイレクトアクセス		※確認テスト実施 ダイレクトアクセスとは何かを学ぶ ダイレクトアクセス空席照会とAN(空席照会)の違いは何かを理解す			
6回	その他・便利入力		便利入力(キーボード・画面履歴・スピードマスター)を使用して、PNR操作処理を高める オープンセグメント予約を行う			
7回	SSR入力		SSRとは何か(概要)を学ぶ 機内食入力について概要説明、メインの食事サービスコードを覚える 機内食入力を含む、PNR作成を行う			
8回	SSR入力Ⅱ		座席指定(座席番号指定)を含む、PNR作成を行う シートマップからの(グラフィックページにて)座席配列や有料・無料座席を確認する SSRにて携帯電話とメールアドレス入力を行う			
9回	中間試験		中間試験実施(※後期成績評価対象となる)			
10回	SSRの追加と取消		今まで学んだ様々なSSRをPNRに追加する SSRの取消も行う			
11回	その他・特別な入力		マイルージサービスとは何かを学び、FFP入力を含むPNR作成を行う 完成したPNR構成中のOSIやSSR表示の意味を理解する(何のために入力されているのか)			
12回	検定対策		初めての検定に向けての、心構えを学ぶ 検定対策(過去問題と添削)			
13回	検定対策Ⅱ		検定対策(クラスルーム使用・WEB試験にて検定対策を行う)			
14回	期末試験		後期・期末試験の実施			
15回	総復習		後期の総復習(検定初級問題の内容に準じて行う) 後期・期末試験返却と答え合わせ			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	CAゼミ			クラス	O③	
担当講師(フルネーム)	小俣 郁美			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	プレゼンテーション・ディスカッションを通して社会人としての心構えを体得する CA面接対策			授業形態	講義	
到達目標	CAになる自覚を持つ					
使用テキスト	適宜プリント配布					
成績評価方法	授業態度、提出物、身だしなみ、出席率により評価 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		オリエンテーション CA/新社会人に向けての意思表示			
2回	プレゼンテーション		プレゼンテーション・インプレッショントレーニング			
3回	面接対策		インプレッショントレーニング			
4回	面接対策		インプレッショントレーニング			
5回	プレゼンテーション		プレゼンテーション・インプレッショントレーニング			
6回	面接対策		インプレッショントレーニング			
7回	面接対策		インプレッショントレーニング			
8回	プレゼンテーション		プレゼンテーション・インプレッショントレーニング			
9回	新社会人講座 グループディスカッション		社会人に必要なマナーの体得			
10回	新社会人講座 グループディスカッション		社会人に必要なマナーの体得			
11回	プレゼンテーション		プレゼンテーション・インプレッショントレーニング			
12回	面接対策		インプレッショントレーニング			
13回	面接対策指導		面接対策指導法習得			
14回	面接対策まとめ		面接対策まとめ			
15回	プレゼンテーション		プレゼンテーション発表			

鉄道

学年	科目名
1	鉄道概論
1	鉄道基礎
1	鉄道係員
1	鉄道車両
1	交通論
1	鉄道旅行プランニング
1	鉄道業界研究
1	サービス介助士
1	就職活動講座
1	就職筆記試験対策Ⅰ
1	就職筆記試験対策Ⅱ
1	面接対策
1	ペン字
1	コミュニケーションイングリッシュ
2	鉄道概論
2	鉄道実務
2	鉄道旅行プランニング
2	フレッシュャーズ教育
2	手話
2	コンピュータ
2	コミュニケーション学

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道概論			クラス	Nクラス	
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	鉄道に関わる用語、合図、標識、車両を知る 運転理論の意義を学ぶ			授業形態	講義&演習	
到達目標	鉄道の安全に対する知識を学ぶ					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		1. カリキュラムの説明 2. 主な鉄道用語概要を行い授業が柔軟に進めるよう周知する 3. 用語の意義を説明することにより、より深みのある授業にす			
2回	鉄道の標識①		1. 標識の意義 ・鉄道標識の意義を知ることによって標識に対する意識を深める ・鉄道の安全を維持するための標識であることを意識付けする			
3回	鉄道の標識②		1. 標識の種類 ・標識の種類と役割を知り、標識の重要性を知る			
4回	鉄道の標識③		1. 鉄道車両概要 ・鉄道車両に対した省令を知ることにより、規定内容を同時に知る ・標識に対する習熟度確認により授業内容の把握を確認する			
5回	鉄道の標識④		1. 鉄道車両概要 ・鉄道車両に対した省令を知ることにより、規定内容を同時に知る ・標識に対する習熟度確認により授業内容の把握を確認する			
6回	鉄道の標識⑤		1. 鉄道車両概要 ・鉄道車両に対した省令を知ることにより、規定内容を同時に知る ・標識に対する習熟度確認により授業内容の把握を確認する			
7回	鉄道車両紹介①		1. 鉄道車両概要 ・鉄道車両に対した省令を知ることにより、規定内容を同時に知る ・鉄道車両に対する各鉄道会社の着目点を知る			
8回	鉄道車両紹介②		1. 九州の鉄道会社 ・車両の特徴を知る ・各車両の営業目的に合った特徴を知る			
9回	鉄道車両紹介③		1. 九州の鉄道会社-2 ・車両の特徴を知る ・各車両の営業目的に合った特徴を知る			
10回	鉄道車両紹介④		1. ワンマン列車の特徴を知る ・ワンマン車両の基本 ・ワンマン列車の規定を学ぶ			
11回	運転理論①		1. 運転速度の定義を学ぶ ・均衡速度・表定速度・平均速度・計画速度・進入速度・進出速度・通過速度・実測速度 ・観測速度・推定速度・許容速度を学ぶ			
12回	運転理論②		1. けん引き定数を知り、列車運転に対する定義を学ぶ 2. 車種別によるけん引き定数の表し方を知る 3. けん引き定数の表記方に対する注意点を学ぶ			
13回	期末試験対策		1. 知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る			
14回	期末試験		1. 期末試験 ・理解度の確認及び全体評価			
15回	まとめ		1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験に対するフィードバック			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道基礎			クラス	N	
担当講師(フルネーム)	井上 真輝			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	鉄道の総合的な専門知識の習得と、安全に対する意識を向上させる。 鉄道従事員の業務及び、就活に向けての心構え			授業形態	講義	
到達目標	事故の種類や運転方法の変更、鉄道従事員のヒューマンエラー防止について学ぶ。					
使用テキスト	PP作成資料・分かりやすい鉄道技術「土木編・電気編・運転編」					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	前期授業の振り返り 後期授業の内容と進め方を説明する。				
2回	電車のメカニズム	電車の走る原理(発電所から走行まで)を知る。 電車が止まる原理を理解する。 集電装置・主電動機・主制御機について学ぶ。				
3回	鉄道車両(西鉄)	西鉄電車の車両について知る。 出庫点検の重要性と行程を学ぶ。 出庫点検のDVDを参照する。				
4回	鉄道信号の役割	鉄道信号の前期復習 役割について解説を行う。 手信号の種類と代用手信号について学ぶ。				
5回	閉そく方式	通常時の閉そく方式を知る。 列車間の安全を確保する方法・閉そく区間と役割について理解する。 異常時の列車運行の手段・方法について知る。				
6回	伝令法	駅伝令法と指令伝令法の違いについて学ぶ。 伝令法の施行時と運転範囲について学ぶ。 DVDを活用し説明を行い理解する。				
7回	列車の運転	原則的な鉄道運転ルールを知る。 飲酒運転撲滅を理解する。 推進運転・退行運転を知る。				
8回	鉄道の設備	電気の設備について知る。 車両機器について知る。 線路の設備について知る。				
9回	鉄道運転事故	事故の分類を知る。 事故の種類と内容について理解する。 インシデントについて学ぶ。				
10回	異常時の対策	気象予報警報・注意報の発令基準を知る。 気象観測システム発令に伴う運行規制を知る。 事故災害等が発生した時の処置及び行動を考える。				
11回	気付き・ヒヤリハット・事故	ヒューマンエラーについて学ぶ。 言葉の意義を知る。 事故防止策について協議する。				
12回	運転保安装置	保安装置の種類を知る。信号・踏切保安装置について学ぶ。 ATSの設備目的と運転士の注意について(ATS故障時の取扱いと注意点) 列車無線・列車防護無線の機能及び取扱いを理解する。				
13回	乗務員の資質管理 期末試験対策	西鉄の乗務員の資質管理 乗務員のあり方、苦楽について 後期授業の復習				
14回	期末試験	期末試験				
15回	後期まとめ	期末試験の解説 後期の授業を振り返り、全体の質疑を行う。				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道係員			クラス	Nクラス	
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	鉄道運行に携わる各係員の概要と鉄道運行の仕組みについて学ぶ 鉄道係員の役割と責任、心構えについて学ぶ			授業形態	講義&演習	
到達目標	各鉄道係員の仕事内容を身に付け、目標とする職種の重要性を身に付ける					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		1.カリキュラムの説明 2.前期の復習 3.鉄道係員の役割及び仕事内容の復習を行い、各係員の作業把握を行う			
2回	鉄道乗務員①		1.乗務員の放送一般 2.乗務員のお客さまに対する案内放送の意義と相対的な放送内容の習得を行い実施する 3.各場面でのお客さま対応能力を身に付け、基本的な放送を身に付ける			
3回	鉄道乗務員②		1乗務員の基本動作を学ぶ ・到着から発車までの基本動作の実施 ・車掌と運転士のやり取りを実戦形式で学ぶ			
4回	鉄道乗務員③		1乗務員の基本動作を学ぶ ・到着から発車までの基本動作の実施 ・車掌と運転士のやり取りを実戦形式で学ぶ			
5回	鉄道運行に関わる係員		1司令について学ぶ ・各指令の種類と役割を学び、指令の重要性を知る ・鉄道運行の安全確保に対しいかに指令の役割が生かされているかを学ぶ			
6回	鉄道ダイヤに関わる係員①		1ダイヤグラム作成に関わる係員を学ぶ ・鉄道ダイヤ作成時の注意点(お客さまの利用しやすいダイヤ)とダイヤグラムの関係を学び、時刻表がどのような工程で出来上がるかを学ぶ			
7回	鉄道ダイヤに関わる係員②		1ダイヤグラム作成に関わる係員を学ぶ ・ダイヤグラムの見方を学び、実際にダイヤグラムの作成を行い、ダイヤの知識を深める ・各駅のダイヤがどのように構成れるかを学び、駅作業の重要性を学ぶ			
8回	事故事例研究①		1コンプライアンスに関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故内容と乗務員の取り扱いを把握する(世間に与えた影響等を学ぶ) ・省令変更はこうして行われた意味を把握する(規定改正及び事故対策等を学ぶ)			
9回	事故事例研究②		1信号に関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故内容と乗務員の取り扱いを把握する(世間に与えた影響等を学ぶ) ・省令変更はこうして行われた意味を把握する(規定改正及び事故対策等を学ぶ)			
10回	事故事例研究③		1ATSに関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故内容と乗務員の取り扱いを把握する(世間に与えた影響等を学ぶ) ・省令変更はこうして行われた意味を把握する(規定改正及び事故対策等を学ぶ)			
11回	事故事例研究④		1停車に関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故内容と乗務員の取り扱いを把握する(世間に与えた影響等を学ぶ) ・省令変更はこうして行われた意味を把握する(規定改正及び事故対策等を学ぶ)			
12回	鉄道運行に関わる係員		1.司令について学ぶ ・各指令の種類と役割を学び、指令の重要性を知る ・鉄道運行の安全確保に対しいかに指令の役割が生かされているかを学ぶ			
13回	期末試験対策		1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る			
14回	期末試験		1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価			
15回	まとめ		1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験に対するフィードバック			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道車両			クラス	Nクラス	
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	鉄道車両の種類について学ぶ 電車と気動車の仕組みと違いを学ぶ			授業形態	講義&演習	
到達目標	各鉄道係員の仕事内容を身に付け、目標とする職種の重要性を身に付ける					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.鉄道車両の歴史説明				
2回	電車と気動車の相違点①	1.電車と気動車の利点と欠点 2.鉄道業界における車両普及内容 3.運転内容説明				
3回	電車と気動車の相違点②	1.国家試験の相違点 ・学習内容の違い ・車両形式の確認方を学ぶ				
4回	電車の運行条件	1.電車線路について ・起電方式の種類と条件について学ぶ ・直流起電と交流起電の違いと内容について学び、車両の条件を知る				
5回	気動車の運行条件	1.気動車の運行条件を学ぶ ・エンジンのストローク ・線区別車両について学ぶ				
6回	電車の機器一覧	1.集電装置について学ぶ ・起電方式の違いによる集電装置の役割を学ぶ ・集電装置の種類について学び、鉄道会社の車両を学ぶ				
7回	気動車の機器一覧	1.車両形式について ・地域別形式についての機器配置を学ぶ ・エンジンを正常に起動させる重要機器について学ぶ				
8回	電車の機器一覧	1.集電システムを学ぶ ・架線集電システムの各機器配置 ・架線集電システムの各機器の役割を学ぶ				
9回	気動車の機器一覧	1.床下機器配置 ・形式別機器配置と役割を学ぶ				
10回	電車の列車記号	1.電車の列車記号を知る ・記号の選別による運転取扱いを学ぶ ・換算係数を学び車両の種別を知る				
11回	気動車の列車記号	1.電車の列車記号を知る ・記号の選別による運転取扱いを学ぶ ・換算係数を学び車両の種別を知る				
12回	電車・気動車の台車について	1.電車の台車概要を学ぶ ・モーターと台車の因果関係を学び、安全を守る条件を知る ・台車の種類を学び、車両形式に合った台車の役割を学ぶ				
13回	期末試験対策	1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る				
14回	期末試験	1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価				
15回	まとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験に対するフィードバック				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科
科目名	交通論			クラス	N
担当講師(フルネーム)	西 政明(マック24)			実務経験	有
授業概要(内容)	交通に関する基礎知識を習得するとともに、特に鉄道事業を中心に、業界の運営状況、経営課題等を学ぶ。			授業形態	講義
到達目標	鉄道及びその付帯事業等の従事員となるための基本的資質の養成・向上を図る。				
使用テキスト	なし				
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション	シラバス、講義の進め方等の説明 交通論を学ぶ、意義・目的、基礎用語 交通関連トピックスの解説			
2回	交通の基礎理論	交通の定義とは 交通関連トピックスの解説			
3回	〃	交通の意義とは 交通関連トピックスの解説			
4回		交通と経済 業界別ビジネスモデル(鉄道) 交通関連トピックスの解説			
5回	〃	業界別ビジネスモデル(航空機) 交通関連トピックスの解説			
6回	〃	業界別ビジネスモデル(バス、船舶、その他) 交通関連トピックスの解説			
7回	交通政策史	鉄道の政策史 交通関連トピックスの解説			
8回	〃	鉄道及び陸運事業の政策史 交通関連トピックスの解説			
9回	〃	航空事業の政策史 交通関連トピックスの解説			
10回	〃	海運事業の政策史 交通関連トピックスの解説			
11回	鉄道概論	日本の鉄道史 都市鉄道の現状と経営戦略 交通関連トピックスの解説			
12回	〃	地方鉄道の現状と経営戦略 交通関連トピックスの解説			
13回	〃	都市型交通システム 交通関連トピックスの解説			
14回	〃	九州の鉄道の現状と経営戦略 期末試験			
15回	まとめ	まとめ・振り返りと要点整理 期末試験解説			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道旅行プランニング			クラス	Nクラス	
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	時刻表を用いてのプランニング作業 運賃料金及び宿泊先を考えたプラン作成			授業形態	講義&演習	
到達目標	時刻表の確実な活用方を身に付ける					
使用テキスト	時刻表、講師作成資料					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.今後のプラン内容を説明				
2回	旅行プランニング①	1.JR時刻表を使った鉄道旅行作成 ・お客さまの意向にあったプランニング作業を行う(窓口練習) ・見積書作成時に必要な事項を学び、実施作業を行う				
3回	旅行プランニング②	1.JR時刻表を使った鉄道旅行作成 ・お客さまの意向にあったプランニング作業を行う(窓口練習) ・お客さまの予算に合ったプランニング作業を行う				
4回	旅行プランニング③	1.JR時刻表を使った定期観光バス旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
5回	旅行プランニング④	1.JR時刻表を使った定期観光バス旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
6回	旅行プランニング⑤	1.JR時刻表を使った船舶旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
7回	旅行プランニング⑥	1.JR時刻表を使った船舶旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
8回	旅行プランニング⑦	1.JR時刻表を使った航空旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
9回	旅行プランニング⑧	1.JR時刻表を使った航空旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
10回	旅行プランニング⑨	1.JR時刻表を使った総合的な旅行プラン作成 ・各班ごとに、行先行程を作成し、計画表を作成する ・宿泊所に対する考え方の練習を行う				
11回	旅行プランニング⑩	1.JR時刻表を使った総合的な旅行プラン作成 ・各班ごとに、行先行程を作成し、計画表を作成する ・宿泊所に対する考え方の練習を行う				
12回	時刻表の活用	1.時刻表の活用術を発表する ・各自、時刻表に対する確認方を発表し、実力不足を解消する 2.習熟度調査を行う				
13回	期末試験対策	1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る				
14回	期末試験	1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価				
15回	まとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験に対するフィードバック				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科	
科目名	鉄道業界研究			クラス	N	
担当講師(フルネーム)	三石 佳代子			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	鉄道業界への就職を目標とし、JR・大手私鉄を中心とした業界研究を行う。			授業形態	講義	
到達目標	各鉄道会社の実態と経営戦略、企業理念を学び、志望動機に活かす。					
使用テキスト	鉄道業界大研究					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点+小テストで50%、期末テストで50%				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション 企業研究のやり方		企業研究のやり方が深いほど志望動機に具体性が出る 企業研究シートと使用した方法を学ぶ			
2回	西鉄について		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
3回	JR九州グループ について		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
4回	JR四国について		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
5回	JR東海・JR北海道 について		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
6回	JR西日本		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
7回	JR東日本		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
8回	東京メトロについて		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える 小テスト1			
9回	東急、東武、西武		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
10回	京急、京王、京成		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
11回	小田急、相鉄、名鉄		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
12回	阪急(阪神)について		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える 小テスト2			
13回	近鉄、京阪、南海		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
14回	第三セクター、 地下鉄、その他鉄道		第3セクターや地方鉄道、公営鉄道など、JR・大手私鉄以外にIBCに過去求人を出した実績のある会社を 求人が来たら応募できる準備をする			
15回	一年間のまとめ 期末テスト対策		一年間の鉄道業界研究の復習 これまでの鉄道業界研究を総復習し、期末テスト対策、及び就職試験に活かす			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科
科目名	サービス介助士			クラス	N
担当講師(フルネーム)	吉田紀子、大隈多恵、城下博美、守田久実子			実務経験	無
授業概要(内容)	おもてなしの心と正しい介助技術を学び、障害の社会モデルの考えを理解し、心のバリアフリーについての理解を深める			授業形態	講義
到達目標	おもてなしの心と正しい介助技術を学び、授業後のサービス介助士資格取得を目指す				
使用テキスト	サービス介助士・准サービス介助士資格取得講座テキスト				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回 9/11	・オリエンテーション ・多様な社会を考える ・共生社会の実現をめざして ・SDGsを考える	・教材受け渡し 受講票確認 自己紹介 ・「サービス介助士」を学ぶ意義 これからの社会を考える 多様性(ダイバーシティ)を受け入れる必要性 ・企業が取り組むSDGsについて サービス介助士との繋がりは			
2回 9/25	・基本理念 ・接遇の捉え方 ・ホスピタリティ	・サービス介助士の基本理念 サービス介助士の接遇の概念 ・ホスピタリティとは			
3回 10/2	・ノーマライゼーション	・ノーマライゼーションの基本的な考え方			
4回 10/16	・障害者差別解消法 ・障害の捉え方(社会モデル)	・障害者差別解消法を理解する ・社会モデルの捉え方を理解、合理的配慮につなげる			
5回 10/23	・高齢社会の理解	・高齢者社会の現状を知る			
6回 10/30	・高齢者への理解と接遇	・加齢による身体変化を知り、合理的配慮を考える			
7回 11/6	・ジェロントロジー	・「創齡学」自分の人生を考える			
8回 11/13	・車いす使用者への接遇	・車いす使用者の障壁を考える ・車いすの種類、部分の名称、操作の注意点			
9回 11/20	・聴覚障害者への接遇	・聴覚障害について ・聴覚障害者の困りごと、原因を考える			
10回 11/27	・視覚障害者への接遇	・視覚障害について ・視覚障害者の困りごと、原因を考える			
11回 12/4	・円滑なコミュニケーション(接遇)	・言語による接遇 ・外見や行動による接遇			
12回 12/11	・知的・発達・精神障害者への接遇	・知的障害、発達障害、精神障害の概要 ・困りごとを考える ・皆さんにできることは？			
13回 12/18	・身体障害者補助犬	・身体障害者補助犬法を知る			
14回 1/15	・ユニバーサルデザイン ・いろいろなマーク ・バリアフリー設備の理解	・身近なユニバーサルデザインを知ろう ・日常よく見かけるマークや気をつけて見ていただきたいマーク ・必要性を理解する(オストメイト用設備、カムダウンルーム、バギー型小児用車いす)			
15回 1/22	期末試験	授業内での期末試験 範囲:今まで学んだ部分 ・実技教習について説明			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科	
科目名	就職活動講座			クラス	N	
担当講師(フルネーム)	三石 佳代子			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	専門学校に在学し、鉄道を学んでいるという特異性を理解し、鉄道業界に特化した就職活動を行える力を養成する。			授業形態	講義&演習	
到達目標	一学年終了時には自信をもって自分の強みを相手に伝えることができるような人物となることを目指す。					
使用テキスト	就職ノート・専門学校生のための就職内定基本テキスト					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・忘れ物・授業態度・就職活動に対する熱意・小テストにより総合的に評価を行う				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション	夏休みの振り返り 後期説明 夏休みの活動から自分の成長を振り返る				
2回	ナビサイト登録	リクナビ・マイナビに登録する インターネットでの企業の検索法 ナビサイトの便利ツールを就活に活かす				
3回	求人情報の収集方法	情報の収集方法と活用 求人票の見方 就職室の利用方法、IBC就活ルールの再確認				
4回	履歴書作成	就職活動に活用するIBCの履歴書を作成する				
5回	模擬面接用 エントリーシート	模擬面接用エントリーシートの書き方を説明し作成する				
6回	履歴書・模擬面接用 エントリーシートのまとめ	履歴書・模擬面接用エントリーシートの指導				
7回	自己PR作成①	IBCに入学して学んだこと、できるようになったこと、成長したと感ずることを分析する				
8回	自己PR作成②	IBCに入学して成長したことを認識し、前期作成した自己PRからレベルアップして完成させる				
9回	志望動機作成 (志望企業編)	前期作成した鉄道業界に対する志望動機に、志望企業の要素をプラスして完成させる				
10回	志望動機作成 (実習編)	第9回で作成した志望企業や鉄道業界に対する志望動機に、実習に対する心構え、学びたいことなどをプラスして完成させる				
11回	学生時代に頑張ったこと のエピソード作成	夏休みの宿題「学生時代に頑張ったこと」のエピソードを手直しし、また後期に入って取り組んだことをまとめて、IBCに入学後の学生時代頑張ったことを完成させる				
12回	面接応答内容を考える①	過去に試験で出た質問に対してどう答えるか考える				
13回	面接応答内容を考える②	過去に試験で出た質問に対してどう答えるか考える				
14回	エントリーシート作成	志望企業の過去のエントリーシートを参考にして、エントリーシートの作成手順を確認する そして、実際のエントリーが始まったら、すぐにエントリーシートを作成できる力を養う				
15回	後期の振り返り	一年間の就職活動講座の振り返りとまとめ 実習の注意点 春休みの就職活動について				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科
科目名	就職筆記対策 I			クラス	N
担当講師(フルネーム)	北村正雄			実務経験	無
授業概要(内容)	新型コロナ禍後の形式はWeb試験がメイン。WebとPaperは内容がかなり異なります。鉄道各社の過去問を中心にできるだけわかりやすく講義します。この科目は復習に力を入れてください。SPIなどの試験に合格しないと面接に進めません。能力検査試験の合格に向けて一緒に頑張ります。			授業形態	講義
到達目標	JR各社 西日本鉄道 民鉄 第三セクター 地下鉄の就職試験に合格するのに必要な非言語分野の学力の修得				
使用テキスト	なし				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	損益算の復習	損益算の基本公式の確認 原価 定価 売価 を求める公式 原価も定価も売価も不明の時 総原価 総利益 総定価 を求める問題 各コースの企業の過去問を中心に応用問題にチャレンジ			
2回	順列	数学Bプリント全体の数nの中からr個を取り出して並べるときの並べ方 nPr 順列公式 $P =$ Permutation 重複順列 nr 乗 円順列 $(n-1)!$ 数珠順列 $(n-1)! \div 2$			
3回	組み合わせ	全体の数nの中からr個を選ぶ時の選び方 nCr $C = nPr \div r!$ (階乗) 重複組み合わせの公式 $hCr = n+r-1Cr$			
4回	集合	集合分野はSPIでは極めて重要な分野です。ほとんどの企業で出題が予想されます。 集合はカブリのことで。ベン図 オイラー図 の理解がポイントです。 集合では独特の日本語の理解が必要です。少なくともの意味			
5回	集合	集合分野はSPIでは極めて重要な分野です。ほとんどの企業で出題が予想されます。 集合はカブリのことで。ベン図 オイラー図 の理解がポイントです。 集合では独特の日本語の理解が必要です。少なくともの意味			
6回	推論	数学Bプリント p194~p222 推論 順位 平均点 フローチャート			
7回	位置 順列	数学Cプリント p172~194 位置の問題 順列 重複順列 問題文の条件を推理して各店の位置を特定する。			
8回	勝敗	数学Cプリント p172~p194 勝敗 リーグ形式とトーナメント形式			
9回	確率	数学Dプリント p172~p194 サイコロ コインを使った確率問題 $p(\text{probability}) = N(\text{全体的場合の数}) \div a(\text{求める場合の数})$			
10回	SPIテストセンター過去問	推論 集合 順列 組み合わせの過去問 問1~問12 推論 6個の玉を箱PQIに分けて入れた PはQの2倍 Qの玉は何個か 9人にイヌ ネコ 小鳥どれを飼いたいかわからない 多い順にイヌ ネコ 小鳥 無回答無し 小鳥の回答人数は			
11回	SPIテストセンター過去問	推論 集合 順列 組み合わせの過去問 問13~問25 集合 クラスの30人のうち、運動部の生徒16人 運動部と文化部の両方2人 どちらにも入っていない生徒は4人 文化部に入っている生徒は何人?			
12回	SPIテストセンター過去問	推論 集合 順列 組み合わせの過去問 問26~問38 組み合わせ PQRSTUVの7人を3人部屋と4人部屋に振り分けたい 分け方は何通り? 確率PQR3人がサイコロを振った Pが最大の目 QとRが同じ目となる組み合わせは何通り?			
13回	SPIテストセンターAプリント 2年次前倒し	推論 問1~問8 RSTU 4人の交通費の問題 4店舗の位置の問題 LMNOPQ 6人の待ち合わせ場所の到着の前後関係 嘘・本当の発言問題 トーナメント方式の勝敗の結果 トーナメント表の作成			
14回	立方体の軌跡展開図 関数の公式	サイコロや立方体を左右・前後に何回か回転させたのち、Aの面の回転の軌跡、 立方体の性質が分かればすぐに解けるので、絶対に落とせない分野 $Y = ax$ $Y = ax + b$ $Y = ax^2$ 乗 + b 一次関数 二次関数 傾き 切片 比例定数 条件と領域			
15回	構造的把握力検査	この分野は、SPI・3になって初めて導入された分野です。 1問5択の選択肢が用意されています。問題処理の考え方の構造が似ているものを二つ選ぶ問題。 慣れないと問題の意味を理解するのが難しい。問題を解いても正解に到達できるわけではありません。			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	就職筆記試験対策Ⅱ			クラス	N	
担当講師(フルネーム)	前田 恭子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職試験における筆記試験の言語系分野の対策授業			授業形態	講義	
到達目標	就職筆記試験の点数を確実に取るために基礎学力の向上を目指す					
使用テキスト	内定ナビ! 時事&一般常識(高橋書店)					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	なぜSPIをするのか		SPI検査とは SPI言語: 同意語(意味や内容が近い語)			
2回	日本の特産物(1)		四字熟語テスト① 夏休み課題を6回に分けて小テストを行なう 日本地理① 日本各地の産物を学び、産地との組み合わせを覚える SPI言語: 反意語(意味や内容が反対の語)			
3回	日本の特産物(2)		四字熟語テスト② 日本地理② 産地・産物の練習問題を解き、理解を深める SPI言語: ことばの意味①(語句の意味が正しいもの)			
4回	世界の特産物(1)		四字熟語テスト③ 世界地理① 世界各地の産物を学び、産地との組み合わせを覚える SPI言語: ことばの意味②(意味に適合する語句)			
5回	世界の特産物(2)		四字熟語テスト④ 世界地理② 産地・産物の練習問題を解き、理解を深める SPI言語: 複数の意味(意味や用法が近いもの)			
6回	日本史(1)		四字熟語テスト⑤ 日本史① 人物に焦点をあてて歴史上の出来事を整理する SPI言語: 原料(加工物とその原料)			
7回	日本史(2)		四字熟語テスト⑥ 日本史② 人物に焦点をあてて歴史上の出来事を理解する SPI言語: 包含・用途・機能関係			
8回	世界史		世界史: 人物に焦点をあてて歴史上の出来事を理解する SPI言語: 行為関係			
9回	日本文化史		時代ごとの文化・芸術を整理し、理解する SPI言語: ことわざ・慣用句			
10回	名言・名句		思想史: 思想家の名言・名句・著書を学ぶ SPI言語: 文章問題①			
11回	発明・発見		世界の発明・発見家を学ぶ SPI言語: 文章問題② 適性検査			
12回	文学史		主な文学作品とその著者を学ぶ SPI言語: 文章問題③ 適性検査			
13回	労働・社会保障		日本の労働・社会保障のしくみについて学ぶ SPI言語: 文章問題④ 適性検査			
14回	社会常識		法規・マーク・名数など社会常識を学ぶ SPI言語: 文章問題⑤ 適性検査			
15回	後期のまとめ		後期の授業内容の復習			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	面接対策			クラス	N	
担当講師(フルネーム)	橋本美智子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	「好印象」を勝ち取るための表現(振る舞い・話し方)を実技にて体得する			授業形態	実技	
到達目標	就職面接に合格することを目標にし、社会人としての相応しいマナーを身に付ける					
使用テキスト	配布プリント 制服着用					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	就職試験にむけて		授業の進め方についての説明 受講の心構え(身だしなみ、お辞儀) 面接意義、その種類と特質について理解する			
2回	求められる人材とは		企業に「求められる人材」についてワークを通じて理解する ビジネスマンとして求められる能力の説明			
3回	面接		面接での表現とは 正しい姿勢、歩き方、椅子の座り方、発声、相手に届く声① 自己紹介			
4回	集団面接1		入退室 正しい姿勢、歩き方、椅子の座り方、発声、相手に届く声② 実技4～5名			
5回	集団面接2		入退室 話す、聞く、答える③ 実技4～5名			
6回	集団面接3		入退室 話す、聞く、答える④ 実技4～5名			
7回	集団面接4		好印象の質疑応答 実技4～5名			
8回	集団面接5		好印象の質疑応答 実技4～5名			
9回	集団討議1		討議の進め方の説明			
10回	集団討議2		身近な問題をテーマに討議の実践①			
11回	集団討議3		日本の掲げる問題をテーマに討議の実践②			
12回	集団討議4		SDGSに関するテーマを選び討議の実践③			
13回	期中試験		集団面接形式			
14回	期中試験		集団討議形式			
15回	まとめ		第1回～12回の振り返り 自分の課題を明確にし後期の目標にする			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科
科目名	ペン字			クラス	N
担当講師(フルネーム)	小金丸 恭子			実務経験	無
授業概要(内容)	文字の基本を学び、様々な用途に合わせた書式とバランスを学ぶ			授業形態	講義&演習
到達目標	実用ペン字・筆ペンの指導を通じて社会人としての教養を身につける。				
使用テキスト	オリジナルテキスト・下書き・ペン2種類・筆ペン				
成績評価方法	提出物70%、小テスト、授業態度30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	× 期末試験なし				
	テーマ	授業内容			
1回	履歴書の書き方①	文字を書くための基本～姿勢・ペンの持ち方・種類 読みやすい履歴書を書くためのバランスと書式を学ぶ～横書きの書式 履歴書に出てくる漢字の書き取り練習と名前の練習～下書きを作る			
2回	履歴書の書き方②	履歴書まとめ①			
3回	履歴書の書き方③	履歴書まとめ② ～提出			
4回	美文字になるためのポイント①	文字の基本を学ぶ① 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ①			
5回	美文字になるためのポイント②	文字の基本を学ぶ② 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ②			
6回	美文字になるためのポイント③	文字の基本を学ぶ③ 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ③			
7回	美文字になるためのポイント④	文字の基本を学ぶ④ 文字(片仮名・平仮名)のバランスの取り方を学ぶ			
8回	実用書を学ぶ①	はがきの表書き～配字(書式)とバランスの取り方を学ぶ 封筒(縦長 長形4号)の書き方—個人・企業宛の書き分け①			
9回	実用書を学ぶ②	封筒(縦長 長形4号)の書き方—個人・企業宛の書き分け② 封筒(A4が入る封筒 角形2号)の書き方—個人・企業宛の書き分け①			
10回	実用書を学ぶ③	封筒(A4が入る封筒 角形2号)の書き方—個人・企業宛の書き分け② まとめ			
11回	実用書を学ぶ④	手紙の書き方 内定後のお礼状の書き方—縦書きの書式			
12回	筆ペンで実用書を学ぶ①	筆ペンの特徴と書き方 筆ペンで自分の名前の練習(楷書・行書) 芳名帳の書き方～書式とバランス			
13回	筆ペンで実用書を学ぶ②	慶弔の表書き① 「御祝」「寿」の練習と熨斗封筒の書き方			
14回	筆ペンで実用書を学ぶ③	慶弔の表書き② 「御仏前」「御霊前」の練習と不祝儀袋の書き方			
15回	筆ペンで実用書を学ぶ④	慶弔の表書き③ まとめ 色々な実用書を学ぶ 理論問題(プリント)			

対象学年	1年	学期	通年	学科	鉄道科
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			クラス	N
担当講師(フルネーム)	ニコラ ドゥ メニス			実務経験	有
授業概要(内容)	学生のレベルに合わせて、外国人と話す時に ①困らない、 ②言われている内容を理解する、③伝えたい事を言える。			授業形態	講義
到達目標	主に、リスニングとスピーキングがメインで英語のコミュニケーションが上手になる。				
使用テキスト	English for daily conversation				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	Summer holidays	Talk about summer holidays Decide the dialogs order for the second semester			
2回	Dialog 7	Warm-up and simple conversation Dialog 7 Remarks			
3回	Dialog 8	Warm-up and simple conversation Dialog 8 Remarks			
4回	Presentation 4	3mn presentation Native English			
5回	Q & A	Warm-up and simple conversation Questions about the previous week presentations and comments Remarks			
6回	Dialog 9	Warm-up and simple conversation Dialog 9 Remarks			
7回	Dialog 10	Warm-up and simple conversation Dialog 10 Remarks			
8回	Presentation 5	3mn presentation Native English			
9回	Q & A	Warm-up and simple conversation Questions about the previous week presentations and comments Remarks			
10回	Dialog 11	Warm-up and simple conversation Dialog 11 Remarks			
11回	Dialog 12	Warm-up and simple conversation Dialog 12 Remarks			
12回	Presentation 6	3mn presentation Native English			
13回	Q&A	Warm-up and simple conversation Questions about the previous week presentations and comments Remarks			
14回	Dialog Test	Oral test on various topics			
15回	English Games	Enjoy games in English			

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道概論			クラス	Mクラス	
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	ダイヤ改正に伴う注意点 乗務員勤務作成時の注意点を学び、乗務行路を作成する			授業形態	講義&演習	
到達目標	ダイヤ改正とそれに伴う乗務員の配置方を学ぶ					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明を行う 2.ダイヤ改正の意義と作業内容を学ぶ				
2回	駅構内ダイヤの解説	1.ダイヤ改正に伴う注意点 ・駅構内の運行内容の解説を行い、それに伴うダイヤグラムとの繋がりを知る ・車両の入換(分割、併合、入換)作業を学ぶ				
3回	ダイヤグラム作成作業①	1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う 2.ダイヤグラムと乗務員時刻表及び行路表の照合を行い、よりダイヤに詳しく説明を行う 3.乗務員の作業を把握することにより知識を深める				
4回	ダイヤグラム作成作業②	1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う 2.ダイヤグラムと乗務員時刻表及び行路表の照合を行い、よりダイヤに詳しく説明を行う 3.乗務員の作業を把握することにより知識を深める				
5回	乗務員行路表作成作業①	1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成する ・乗務員の作業を書き込み、1日の動きを把握することにより乗務員の仕事を把握できる ・行路作成時の注意点を周知する				
6回	乗務員行路表作成作業②	1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成する ・乗務員の作業を書き込み、1日の動きを把握することにより乗務員の仕事を把握できる ・行路作成時の注意点を周知する				
7回	乗務員行路表作成作業③	1.各自作成した乗務員行路を発表する 2.グループ割を行い、作成した行路表と乗務員時刻表を照合して間違いを正す ・注意点の確認を班ごとに行い発表準備を行う				
8回	乗務員勤務①	1.各班ごと乗務員行路表の発表を行う ・班ごとの解説を行うことで乗務員の勤務に対する知識が認識できる ・行路作成上の注意点を学ぶことによりより深い知識を得られる				
9回	乗務員勤務②	1.各班ごと行路内容計算を行い乗務員勤務を把握する ・行路内容により、班ごとに振分を行い全員が力を合わせ勤務形態を決める ・乗務員職場の雰囲気を経験し、乗務員に対する意識を実感させる				
10回	運用手配実践①	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を学ぶ ・気象異常時に対する乗務員手配を各班ごとに考え発表を行うことにより、各作業内容を把握する				
11回	運用手配実践②	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を学ぶ ・列車遅延に対する乗務員手配と車両手配を考え発表を行う				
12回	運用手配実践③	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を行う ・車両故障に対する乗務員手配と車両手配を考え発表を行う				
13回	期末試験対策	1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る				
14回	期末試験	1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価				
15回	まとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験に対するフィードバック				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道実務			クラス	Mクラス	
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	鉄道運行に伴う、各職種別の異常時取扱いを学びます 異常時対応能力及びお客さま対応能力向上を目指します			授業形態	講義&演習	
到達目標	鉄道員が持つべき知識を習得し、実際に近い行動力を身に付ける					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	1.鉄道人身傷害事故・踏切障害事故対応 ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う 2. 人身事故発生時のモックアップを使用した取扱いの実施				
2回	踏切及び人身事故①	1.鉄道人身傷害事故・踏切障害事故対応 ・各職別対応の復習とまとめを行い注意すべき点を把握させる 2. 人身事故発生時のモックアップを使用した取扱いの実施				
3回	踏切及び人身事故②	1.列車の所定停止位置に停止できない場合の取り扱い説明 ・運転士、車掌、指令員、駅員の対応を学ぶ ・お客様から見た処置内容について考える				
4回	停車に関わる取扱い	1.列車の所定停止位置に停止できない場合の取り扱い実践 ・モックアップを使用した運転士、車掌、指令員、駅員の対応を実践 ・各係員の対応について意見を深める				
5回	運転審査を学ぶ	1.運転士の国家試験を学ぶ ・試験内容を把握する ・運転審査の状況をモックアップを使用して再現する				
6回	異常事対応能力実践①	1.鉄道係員の対応について学ぶ ・想定を各班で考え、交換する ・想定に対する取扱いを各班毎発表する				
7回	異常事対応能力実践②	1.駅及び構内作業ダイヤを学ぶ ・駅作業に対する内容説明 ・構内作業に対する内容説明				
8回	駅作業ダイヤ①	1.駅及び構内作業ダイヤを学ぶ ・駅作業に対する駅員及び乗務員の運用を考える ・構内作業に対する車両社員及び乗務員運用を考える				
9回	駅作業ダイヤ②	1.駅及び構内作業ダイヤを学ぶ ・構内作業に対する車両社員及び乗務員運用を考える 2.車両周期に対する関係社員の取扱いを学ぶ				
10回	駅作業ダイヤ③	1.鉄道営業法に対する各鉄道企業の取り組み ・鉄道係員に対する勤務体制を知る				
11回	法定労働に関する取扱い	1.乗務員の勤務と他の係員の勤務の違い ・乗務員の勤務作成時の注意点を学ぶ				
12回	休日勤務に対する取扱い	1.鉄道会社における休日の取扱いを学ぶ 2.休日労働に対する考え方 3.年次有給休暇の取扱い				
13回	期末試験対策	1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る				
14回	期末試験	1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価				
15回	まとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験に対するフィードバック				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道旅行プランニング			クラス	Mクラス	
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	時刻表を用いたのプランニング作業 青春18切符の乗車行路と旅行ポスターの作成			授業形態	講義&演習	
到達目標	プランニング作業の充実、旅行窓口作業の充実					
使用テキスト	時刻表、講師作成資料					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.発表内容に説明				
2回	鉄道の旅①	1.JR時刻表を使った鉄道旅行作成 ・お客さまの意向にあったプランニング作業を行う(窓口練習) ・見積書作成時に必要な事項を学び、実施作業を行う				
3回	鉄道の旅②	1.JR時刻表を使った鉄道旅行作成 ・お客さまの意向にあったプランニング作業を行う(窓口練習) ・お客さまの予算に合ったプランニング作業を行う				
4回	定期観光バスの旅①	1.JR時刻表を使った定期観光バス旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
5回	定期観光バスの旅②	1.JR時刻表を使った定期観光バス旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
6回	船舶の旅①	1.JR時刻表を使った船舶旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
7回	船舶の旅②	1.JR時刻表を使った船舶旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
8回	航空の旅①	1.JR時刻表を使った航空旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
9回	航空の旅②	1.JR時刻表を使った航空旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
10回	各種切符の旅①	1.青春18きっぷで行く旅行作成 ・各班ごとに、行先行程を作成し、計画表を作成する ・乗車証明可能駅数をよく考えて作成する作業				
11回	各種切符の旅②	1.青春18きっぷで行く旅行作成 ・各班ごとに、行先行程を作成し、計画表を作成する ・乗車証明可能駅数をよく考えて作成する作業				
12回	ポスター作成①	1.旅行会社と位置付けしたポスター作成 ・日本の名所を宣伝したポスター作成				
13回	ポスター作成②	1.旅行会社と位置付けしたポスター作成 ・日本の名所を宣伝したポスター作成				
14回	発表用プログラム作成②	1.青春18切符乗車体験の報告資料のまとめ 2.発表用ポスターのまとめ 3.発表プログラムの決定				
15回	まとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 青春18切符乗車体験及びポスターの発表				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	鉄道科	
科目名	フレッシュエース教育			クラス	M	
担当講師(フルネーム)	三石 佳代子			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	社会人になった際に学生と違う部分は何であるのかを、鉄道業界での事例を踏まえ学習する。			授業形態	講義	
到達目標	働く上で必要なことを知り、鉄道業界で働く心構えをし、早期離職を防ぐ					
使用テキスト	・講師作成プリント					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業態度・授業に対する熱意・出席率・小テストなどにより総合的に評価を行う				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	鉄道会社の組織図、鉄道業界でのキャリアパス、福利厚生・休日などについて				
2回	社会人の基礎について学ぼう	基本的な労働条件、労働・社会保険などを学ぶ。				
3回	会社の法律 ＝就業規則とは？	鉄道業界の就業規則の記載事項について学ぶ 社会人として必ず守らなといけなルールを知る				
4回	給料の内訳を知る	社会保険・労働保険・税金の意味を知り、 使えるお金の範囲で生活をシミュレーションする				
5回	QC活動	仕事に取り組む際には自ら目的意識を持ち、改善することが大切 鉄道業界におけるQC活動を学ぶ				
6回	ビジネス自己分析	これまでの振り返り、就職活動進捗状況報告 自分の行動パターン知ったうえで、上司・同僚・友人の行動パターンを学び どのように接したら円滑に仕事が進むかを考える				
7回	できる新入社員と言われ る ためには	報連相の基本 スケジュールリングの大切さ これだけは押さえないビジネスマナー				
8回	アフター5の過ごし方	懇親会のマナー 残業・休日出勤				
9回	マイクロリズム プランニング	近場の魅力を再発見するため、日帰り、または一泊二日の一人旅を企画				
10回	マイクロリズム プランニング 発表会	前週に作成したプランを各自で発表する				
11回	アンガーマネジメント	怒りのしくみを知り、コントロールする術を学び、円滑な社会人生活を送ることを目指す				
12回	メンタルヘルス	社会人に多いメンタル不調について学ぶ ストレスや悩みを抱え込まないためにはどうすればよいか検討する				
13回	ストレスタイプを知る	自分自身のストレスの受け方、傾向を知り、 ストレスに強いメンタルを養う				
14回	セルフケア	自分自身で心や身体についてケアするためストレス対処法や 心の健康において良くない状態であればそれを改善し、 良い状態であればそれを保ちながら、さらに良くするためにケアする方法を学ぶ				
15回	2年間のまとめ	働くことに関する総合的なテスト 2年間のまとめ これから社会に出る皆さんへメッセージ				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	手話			クラス	Mクラス	
担当講師(フルネーム)	江口由香			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	聴覚障害について理解を深め、聴覚障害者のお客様とコミュニケーションのあり方を学ぶ 接客手話と聴覚障がい者のお客様対応について学ぶ			授業形態	講義&演習	
到達目標	聴覚障害への理解と手話や筆談での対応法を把握して仕事で活かせるように学ぶ					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	一年のことを話しましょう	時の表し方				
2回	パーティのことを話しましょう	日常生活のいろいろ 疑問詞をつかう				
3回	旅行のことを話しましょう	旅行に関する手話				
4回	病院のことを話しましょう	病気に関する手話 トラブル時の対応				
5回	学校のことを話しましょう	手話を読み取り				
6回	職場のことを話しましょう	職場に関する手話と必要性				
7回	接客手話	聴覚障がいのあるお客様に対してのサービスの在り方				
8回	聴覚障害者の暮らし	聴覚に障害がある人、デフファミリーの生活				
9回	卒業制作への取り組み	学んだ手話を応用しての発表のための活動				
10回	卒業制作への取り組み	学んだ手話を応用しての発表のための活動				
11回	卒業制作への取り組み	学んだ手話を応用しての発表のための活動				
12回	卒業制作への取り組み	学んだ手話を応用しての発表のための活動				
13回	卒業制作への取り組み	学んだ手話を応用しての発表のための活動				
14回	実技テスト兼発表	学んだ手話で実技テスト 1年間の集大成としての発表会				
15回	まとめ	手話学習まとめ				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	鉄道科
科目名	コミュニケーション学			クラス	M
担当講師(フルネーム)	吉良牧子			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	明日から使える「コミュニケーション」を考え 様々な環境下の中、自らが主体的に発信していくノウハウを学ぶ			授業形態	講義
到達目標	社会で活躍できる人材になる				
使用テキスト	なし				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	自己紹介	これまでの自己紹介とこれからの自己紹介 話を聴いてもらうコツ 感じの良い印象を残すために			
2回	笑顔・挨拶	世界の挨拶 何のため、誰のため、することでどうなるの 第一印象を良くするためのトレーニング			
3回	チェック	日頃のコミュニケーション能力チェック コミュニケーションゲーム・ワーク			
4回	スピーチ	就職問題を使用してのスピーチ作成 勝ち取るためのスピーチとは			
5回	エゴグラム	性格を分析し自分を知る 自分の機嫌をとる			
6回	アンガーマネジメント	怒るの感情をコントロールし職場でいかす 怒りのポイントは人それぞれ タイプ別のコントロール			
7回	お礼状	暑中見舞い、年賀状の由来 お礼状で良い印象を残す 周りがしないことをすることの価値			
8回	男女別世代別	職場で人間関係に困らないために 男女別、世代別のコミュニケーションの回り方			
9回	絵本コミュニケーション	相手へのメッセージはシンプルな方が伝わる ワーク・提出課題あり			
10回	ブログコミュニケーション	印象を残す文章とは そこに集客力があるか おススメを欲しいと思えるか			
11回	就職問題	ネタ作り ワーク・提出課題あり			
12回	チェック	コミュニケーションゲーム・ワーク			
13回	スピーチ1分	課題			
14回	スピーチ3分	課題			
15回	マインドマップ	頭の中を整理する ストレスケア 目標立てと言葉のご褒美			

国際ホテルマネジメント

学年	科目名
1	ホテル総論
1	フロントサービス
1	バンケットオペレーション
1	現代国語
1	日本語ビジネス会話
1	日本地理
1	コンピュータ
1	ビジネスマナー
1・2	日本語能力試験対策Ⅰ（語彙）
1・2	日本語能力試験対策Ⅱ（聴解・漢字）
1・2	日本語能力試験対策Ⅲ（文法）
1・2	日本語能力試験対策Ⅳ（読解）
2	ソムリエ&バーテンダー
2	ホテル実務技能認定試験
2	日本語ビジネス会話
2	TOEIC
2	ペン字
2	SPI対策
2	就職活動講座
2	面接対策
2	コンピュータ
3	会計学
3	セールス
3	マネジメント
3	接客日本語
3	コンピュータ
3	コミュニケーションイングリッシュ
3	日本語能力試験対策Ⅰ
3	日本語能力試験対策Ⅱ

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科・夜間総合観光科	
科目名	ホテル総論			クラス	S・Y	
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	国内外のホテル産業の歴史と変遷 ホテル各部門の業務内容			授業形態	講義	
到達目標	ホテル総論ビジネスの基本構造を理解する					
使用テキスト	ホテルテキスト 基礎から学ぶホテルの概論					
成績評価方法	・試験50% 提出物、平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	第4章ホテル産業の特徴	ホテル商品の特殊性 ホテルの社会的役割				
2回	第5章ホテル内での様々な職種	宿泊・料飲・宴会部門 管理・営業・調理部門				
3回	第6章宿泊部門の基礎知識	客室タイプ 客室料金				
4回	第6章宿泊部門の基礎知識	宿泊業務の流れ				
5回	第6章宿泊部門の基礎知識	イールドマネジメント				
6回	第7章料飲部門の基礎知識	料飲施設の種類 各国料理について				
7回	第8章宴会部門の基礎知識	婚礼・一般宴会				
8回	第9章ホテルスタッフに求められる能力	基本的な知識 求められる資質・能力				
9回	第10章ホテルを取り巻く環境	旅行会社とのかかわり インターネット予約				
10回	第10章ホテルを取り巻く環境	高級化と低価格化				
11回	第11章ホテルの社会的責任	個人情報やプライバシーを守るための取り組み				
12回	第11章ホテルの社会的責任	防災・食中毒への対応				
13回	第12章これからのホテル	環境への配慮				
14回	第12章これからのホテル	これから求められるサービス 新しいコンセプト				
15回	まとめ	後期まとめ ホテル用語復習				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	フロントサービス			クラス	S	
担当講師(フルネーム)	小西 翼			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	宿泊部門(クローク係、客室係、コンシェルジュ)業務の習得。			授業形態	講義	
到達目標	宿泊部門(ベルマン、客室係、コンシェルジュ)と関連部署についての業務内容の理解と技術の習得。					
使用テキスト	ホテルテキスト 宿泊Ⅱ フロント・サービス編					
成績評価方法	・期末試験50% 実技試験20% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	成績評価と授業スケジュールの説明 前期期末試験の解説				
2回	クローク係の業務	クローク係とは クロークルームの整理と準備 クローク業務の作業手順				
3回	クローク係の業務	クローク業務の作業手順 クローク業務(実践)				
4回	客室部門の業務	客室部門の業務の概要 客室についての基礎知識				
5回	客室部門の業務	客室についての基礎知識 客室内の設備・備品				
6回	客室部門の業務	客室整備の手順 ベッドルームの清掃(OUT清掃)				
7回	客室部門の業務	ベッドルームの清掃(OUT清掃) ベッドルームの清掃(STAY清掃) ルームインスペクション				
8回	客室部門の業務	ランドリーサービス ターンダウンサービス デリバリーサービス その他のサービス				
9回	客室部門の業務	客室清掃(実践) ベッドメイキング				
10回	客室部門の業務	ベッドメイキングの練習				
11回	実技試験	ベッドメイキングの実技試験				
12回	コンシェルジュの業務	コンシェルジュとは コンシェルジュの業務				
13回	後期授業のまとめ	後期授業の復習を行う				
14回	後期授業のまとめ	後期授業の復習を行う				
15回	期末試験	後期期末試験を実施				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科
科目名	バンケットオペレーション			クラス	S
担当講師(フルネーム)	小西 翼			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	バンケット業務とブライダルについての基礎知識を身につける。			授業形態	講義&演習
到達目標	ホテルの料飲・宴会部で即戦力となれるよう、基礎知識やスキルを身につける。				
使用テキスト	なし				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション 宴会の種類	後期の授業の進め方、評価方法の説明 ホテルで行われる『宴会』とは(催し物の種類) 皿持ちの練習			
2回	宴会形式	宴会のスタイル(料理の提供方法) スープサービスの練習(トレーでのサービス・チューリンでのサービス)			
3回	宴会サービスの基本	宴会部の組織 ホテルでの宴会にいらっしゃるVIP サーバーの練習			
4回	宴会サービスの基本 会場設営	宴会部で使用する備品 催し物に合わせた会場を設営する テーブルセッティング			
5回	宴会サービスの基本	宴会部で使用する資料 どんでん テーブルセッティングの練習			
6回	MICE 実技試験に向けて	MICEとは 実技試験課題発表⇒反復練習を行う			
7回	実技試験	実技試験を行う			
8回	ブライダルの基礎知識 婚約について	ブライダルの定義 お見合い 婚約			
9回	婚約について	結納			
10回	結婚式の準備	ブライダルフェア 招待状が届いたら…			
11回	挙式について	挙式の種類			
12回	挙式について	挙式の流れと演出について			
13回	披露宴について	披露宴の流れと演出について			
14回	披露宴について 後期授業のまとめ	披露宴の流れと演出について 後期授業の復習を行う			
15回	期末試験	後期期末試験を実施□			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	現代国語			クラス	S	
担当講師(フルネーム)	前田 恭子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	日本語の文学作品や時事ニュースを読みます 文をたくさん読んで、日本語の表現を学びます			授業形態	講義	
到達目標	就職試験の基礎学力をつけます。					
使用テキスト	講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	後期授業方針の説明 課題テスト 作文:表記の仕方				
2回	日本文学(1)	日本文学の名作を読み、言葉や表現を理解します。 内容を理解し、簡単な問いに答えます。 作文:文体と書きことば				
3回	日本文学(2)	日本文学の名作を読み、言葉や表現を理解します。 内容を理解し、簡単な問いに答えます。 作文:段落に分ける				
4回	日本文学(3)	日本文学の名作を読み、言葉や表現を理解します。 内容を理解し、簡単な問いに答えます。 作文:「は」と「が」				
5回	時事ニュース(1)	時事に関する記事を読み、時事用語を理解します。 時事ニュースを読んで、自分の意見を伝えられるようにします。 作文:テーマを述べる				
6回	時事ニュース(2)	時事に関する記事を読み、時事用語を理解します。 時事ニュースを読んで、自分の意見を伝えられるようにします。 作文:理由・経過を述べる				
7回	日本文学(4)	日本文学の名作を読み、言葉や表現を理解します。 内容を理解し、簡単な問いに答えます。 作文:定義をする				
8回	日本文学(5)	日本文学の名作を読み、言葉や表現を理解します。 内容を理解し、簡単な問いに答えます。 作文:判明していることを述べる				
9回	日本文学(6)	日本文学の名作を読み、言葉や表現を理解します。 内容を理解し、簡単な問いに答えます。 作文:問題点を述べる				
10回	時事ニュース(3)	時事に関する記事を読み、時事用語を理解します。 時事ニュースを読んで、自分の意見を伝えられるようにします。 作文:引用する				
11回	時事ニュース(4)	時事に関する記事を読み、時事用語を理解します。 時事ニュースを読んで、自分の意見を伝えられるようにします。 作文:解決策を述べる				
12回	時事ニュース(5)	時事に関する記事を読み、時事用語を理解します。 時事ニュースを読んで、自分の意見を伝えられるようにします。 作文:手順を述べる				
13回	後期のまとめ	後期に学習した内容を復習します。				
14回	後期期末試験	後期期末試験を実施します。				
15回	進級の準備	期末試験のフィードバックをします。 作文:指示語を使う				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント 科
科目名	日本語ビジネス会話			クラス	S
担当講師(フルネーム)	入江 千治			実務経験	無
授業概要(内容)	・ビジネス会話を練習しながら、日本事情を学ぶ。 ・日本語能力試験(JLPT)でも必要になる敬語表現を練習する。			授業形態	講義
到達目標	仕事で使う日本語表現を学び、状況に応じて自然な対応ができる。				
使用テキスト	『初中級レベル ロールプレイで学ぶビジネス日本語―場面に合わせて適切に話そう―』(スリーエーネットワーク)				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	総合タスク2/8課	※敬語表現の練習 総合タスク・ロールプレイ ・8課聞くタスク/モデル会話/練習問題			
2回	8課	・復習/※敬語表現の練習 ・練習問題 ・ロールプレイ1, 2, 3			
3回	8課/9課	※敬語表現の練習 ・8課応用タスク/8課小テスト(語彙、表現) ・9課聞くタスク/モデル会話/練習問題			
4回	9課	・復習/※敬語表現の練習 ・ロールプレイ1, 2, 3 ・応用タスク/「自分のおすすめ」を紹介する①			
5回	9課/10課	・9課小テスト(語彙、表現)/※敬語表現の練習 ・「自分のおすすめ」を紹介する②(会話) ・10課聞くタスク/モデル会話			
6回	10課	・復習/※敬語表現の練習 ・練習問題 ・ロールプレイ1, 2, 3			
7回	10課/11課	・復習/※敬語表現の練習 ・応用タスク/10課小テスト(語彙、表現) ・11課聞くタスク/モデル会話/練習問題			
8回	11課	・復習/※敬語表現の練習 ・練習問題/ロールプレイ1, 2, 3			
9回	11課/12課	・復習/※敬語表現の練習 ・応用タスク/11課小テスト(語彙・表現) ・12課聞くタスク/モデル会話/練習問題			
10回	12課	・復習/※敬語表現の練習 ・ロールプレイ1, 2, 3 ・応用タスク			
11回	13課	・12課小テスト(語彙、表現)/※敬語表現の練習 ・13課聞くタスク/モデル会話/練習問題 ・ロールプレイ1			
12回	13課/14課	・復習/※敬語表現の練習/ ・ロールプレイ2, 3 ・応用タスク/13課小テスト(語彙・表現)/14課聞くタスク/モデル会話			
13回	14課	・復習/※敬語表現の練習/「自分のおすすめ」を紹介する③(スピーチ準備) ・練習問題 ・ロールプレイ1, 2, 3			
14回	14課/復習	・復習/※敬語表現のテスト/「自分のおすすめ」を紹介する③(スピーチ準備) ・応用タスク ・復習			
15回	期末試験	・会話/筆記(会話表現、敬語表現)、どちらも行う			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本地理			クラス	S	
担当講師(フルネーム)	牟田口真理子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	日本のホテル業界を目指すにあたって知っておくべき日本地理を学び 自分が旅をする時や、旅行者に案内するために必要な知識を学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	都道府県の名前を正しく覚える。代表的な観光資源は正しく読む。どのような観光地か知る。					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・期末試験50% 提出物50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	日本の全体像		日本の四季について 日本の歴史について 山			
2回	日本の全体像		日本の歴史について 川 城			
3回	日本の全体像		日本の歴史について 名数 温泉			
4回	日本の全体像		日本の伝統工芸 寺神社 和食			
5回	日本の全体像		日本の伝統工芸 鉄道 文化			
6回	日本の全体像		日本庭園 航空 ホテル			
7回	日本の全体像		世界遺産 国立公園 観光地			
8回	日本の全体像		小テスト			
9回	中部地方		P5 中部地方 P28 愛知県			
10回	中部地方		P31 石川県			
11回	関東地方		P4 関東地方 地図 P23 神奈川県			
12回	関東地方		P22 東京都			
13回	北海道地方		P10 東京都			
14回	予備日					
15回	期末試験		期末試験			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント 科	
科目名	コンピュータ			クラス	S	
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美			実務経験	有(通信業界勤務歴)	
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 ビジネス文書のルール、ファイル管理を練習する。			授業形態	講義&演習	
到達目標	PowerPoint機能のマスター。誤字脱字なく、形式にのった日本のビジネスレターができるようになる。					
使用テキスト	実教出版 30時間でマスターOffice2019					
成績評価方法	・期末試験40% プレゼンテーション40% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	Word基礎	タイピングレッスン(通常変換と予測候補を使い分け、キーボードになれる) 短文入力、表作成・文書入力 キーボードの各キーの意味と使い分けの再確認				
2回	Word基礎	タイピングレッスン(通常変換と予測候補を使い分け、キーボードになれる) 日本のビジネス文書のルールを理解する 表を含むビジネス文書の作成				
3回	Word基礎	タイピングレッスン(通常変換と予測候補を使い分け、キーボードになれる) 画像を含む文書作成 テキストとコンテンツのレイアウトを考える				
4回	PowerPoint基礎	サンプルスライド「就職活動について」① スライド作成と編集 文字入力と装飾、図形・画像・動画などコンテンツの挿入と編集				
5回	PowerPoint基礎	サンプルスライド「就職活動について」② スライドの編集 アニメーション・画面切り替え効果、効果音・サウンド・BGMの挿入 仕上げ				
6回	PowerPoint基礎	動画作成① HappyHalloween メッセージスライドを作成しよう スライドの背景、キャラクターなどのコンテンツの挿入、アニメーション効果、画面切り替え効果				
7回	PowerPoint基礎	動画作成② HappyHalloween メッセージスライドを動画にしてメールやLINEで送ろう 効果音・サウンド・BGMの挿入、動画ファイルに変換、スマホに保存				
8回	PowerPoint基礎	課題スライド作成① 発表する内容をWordでまとめる コンテンツの準備				
9回	PowerPoint基礎	課題スライド作成② アニメーション・画面切り替え効果、効果音・サウンド・BGMの挿入				
10回	PowerPoint基礎	課題スライド作成③ アニメーション・画面切り替え効果、効果音・サウンド・BGMの挿入				
11回	PowerPoint基礎	課題スライド作成④ アニメーション・画面切り替え効果、効果音・サウンド・BGMの挿入				
12回	PowerPoint基礎	課題スライド作成⑤ スライドの仕上げ・スライドショーの確認とリハーサル				
13回	PowerPoint基礎	プレゼンテーション 発表				
14回	Word基礎	タイピングレッスン(通常変換と予測候補を使い分け、キーボードになれる) ビジネス文書作成(社外文書) ※ビジネス文書の基本、箇条書きなどの復習				
15回	後期始末試験	Word タイピング・ビジネス文書				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	ビジネスマナー			クラス	Sクラス	
担当講師(フルネーム)	池田 香織			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	ビジネスマナー、コミュニケーションについて学び社会人になるための準備をする。			授業形態	講義&演習	
到達目標	日本社会で仕事をする上で必要な態度や行動を学ぶ。					
使用テキスト	ビジネスマナーワークブック(西文社)・プリント					
成績評価方法	・小テスト・提出物50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	電話応対		ビジネスの場での電話を受け方の基本を身につける。			
2回	電話応対		ビジネスの場での電話をかけ方の基本を身につける。			
3回	電話応対		電話のロールプレイングをしよう。			
4回	来客応対		ビジネス社会のルールやビジネスマナーの場での来客応対の基本を身につける			
5回	来客応対		ビジネス社会のルールやビジネスマナーの場での来客応対の基本を身につける			
6回	来客応対		ビジネス社会のルールやビジネスマナーの場での来客応対の基本を身につける			
7回	訪問		ビジネスの場での訪問の基本を身につける。			
8回	訪問		ビジネスの場での訪問の基本を身につける。			
9回	訪問		ビジネスの場での訪問の基本を身につける。			
10回	接客		接客の基本を身につける。			
11回	接客		接客の基本を身につける。			
12回	接客		接客の基本を身につける。			
13回	ビジネス文書		基本的なビジネス文書作成のポイントを理解する。			
14回	ビジネスマナーを発揮する		面接試験に生かそう。 インターンシップに生かそう。 ボランティアに生かそう。			
15回	グループワーク		チームで働くということを学ぶ。 グループワークをして役割を考える			

対象学年	1・2年共通	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策 I (語彙)			クラス	SU①	
担当講師(フルネーム)	上中真由美			実務経験	無	
授業概要(内容)	日本語能力試験N1語彙対策			授業形態	講義	
到達目標	日本語能力試験N1合格					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	N1文字・語彙		授業の進め方・評価について 第6回			
2回	N1文字・語彙		宿題FB 第6回			
3回	N1文字・語彙		宿題FB 第7回			
4回	N1文字・語彙		宿題FB 第7回			
5回	N1文字・語彙		宿題FB 第8回			
6回	N1文字・語彙		宿題FB 第8回			
7回	N1文字・語彙		宿題FB 第9回			
8回	N1文字・語彙		宿題FB 第9回			
9回	N1文字・語彙		クラス内模擬テスト+FB			
10回	N1文字・語彙		模擬テスト・FB			
11回	N1文字・語彙		宿題FB 第10回			
12回	N1文字・語彙		宿題FB 第10回			
13回	N1文字・語彙		宿題FB 復習			
14回	N1文字・語彙		期末テスト			
15回	N1文字・語彙		期末テストFB			

対象学年	1・2年共通	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント
科目名	日本語能力試験対策 I N2			クラス	S U ② 留
担当講師(フルネーム)	永吉美知子			実務経験	無
授業概要(内容)	テキストの内容理解と毎回の復習テストで 語彙の理解と定着をはかる。 自宅学習を必ずやるように指導			授業形態	講義
到達目標	N2 合格				
使用テキスト	完全マスターN2 模擬テスト N2				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	7章 2課 事件 模擬テストN3	語彙の意味の確認と実践問題 模擬テスト N3			
2回	7章 3課 経済 模擬テストN3	語彙の意味の確認と実践問題 模擬テスト N3 前回の復習テスト			
3回	7章 4課 政治 模擬テストN3	語彙の意味の確認と実践問題 模擬テスト N3 前回の復習テスト			
4回	8章 1課 自然 模擬テストN3	語彙の意味の確認と実践問題 模擬テスト N3 前回の復習テスト			
5回	8章 2課 科学 模擬テストN3	語彙の意味の確認と実践問題 模擬テスト N3 前回の復習テスト			
6回	9章 1課 数量 模擬テストN3	語彙の意味の確認と実践問題 模擬テスト N3 前回の復習テスト			
7回	9章 2課 時間 模擬テストN3	語彙の意味の確認と実践問題 模擬テスト N3 前回の復習テスト			
8回	1章 復習	1章 総復習と FB			
9回	2章 1課 動詞 基本	動詞の応用を広げる			
10回	模擬試験FB	模擬テスト間違いが多い問題をFB			
11回	2章 1課 実践 2模擬テスト	N	基礎の応用としての実践問題 N2の総復習問題		
12回	2章 2課 動詞		基礎の応用問題 N2の総復習問題		
13回	2章 2課 動詞		基礎の応用としての実践問題 N2の総復習問題		
14回	総復習問題		評価テスト対策問題		
15回	評価テスト				

対象学年	1・2年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科
科目名	日本語能力試験対策Ⅱ(聴解・漢字)			クラス	SU②
担当講師(フルネーム)	上中真由美			実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験N2聴解・漢字対策			授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N2 合格				
使用テキスト	プリント				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	N2聴解・漢字	授業の進め方・評価方法について 聴解			
2回	N2聴解・漢字	漢字ユニット1 聴解			
3回	N2聴解・漢字	漢字 ユニット1 聴解			
4回	N2聴解・漢字	漢字ユニット1 聴解			
5回	N2聴解・漢字	漢字ユニット2 聴解			
6回	N2聴解・漢字	漢字ユニット2 聴解			
7回	N2聴解・漢字	漢字ユニット2 聴解			
8回	N2聴解・漢字	漢字ユニット3 聴解			
9回	N2聴解・漢字	漢字ユニット3 聴解			
10回	N2聴解・漢字	模擬テスト+FB(全体)			
11回	N2聴解・漢字	模擬テスト+FB(クラス)			
12回	N2聴解・漢字	漢字ユニット3 聴解			
13回	N2聴解・漢字	復習 聴解			
14回	N2聴解・漢字	期末テスト			
15回	N2聴解・漢字	期末テストFB			

対象学年	1・2年共通	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント	
科目名	日本語能力試験対策 II			クラス	S・U留①	
担当講師(フルネーム)	永吉美知子			実務経験	無	
授業概要(内容)	語彙力の定着のため スクリプトで確認 漢字学習は自宅学習の徹底			授業形態	講義	
到達目標	N1 合格					
使用テキスト	ベスト問題集 N1 日本語能力試験問題集					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	第9週 1日目 1-6 文字語彙練習 1 前	スクリプトによる語彙・文法の確認 語彙練習 漢字の読みと意味				
2回	第9週1日目 1-7 文字語彙練習 1 後半	スクリプトによる語彙・文法の確認 語彙練習 漢字の読みと意味				
3回	第9週 2日目 1-6 文字語彙練習 2 前	スクリプトによる語彙・文法の確認 語彙練習 漢字の読みと意味				
4回	第9週 2日目 1-6 文字語彙練習 2 後	スクリプトによる語彙・文法の確認 語彙練習 漢字の読みと意味				
5回	第9週 4日目 1-6 文字語彙練習 3 後	スクリプトによる語彙・文法の確認 語彙練習 漢字の読みと意味				
6回	第9週 4日目 1-6 文字語彙練習 3 後	スクリプトによる語彙・文法の確認 語彙練習 漢字の読みと意味				
7回	第10週 1日目 1-6 文字語彙練習 4 前	スクリプトによる語彙・文法の確認 語彙練習 漢字の読みと意味				
8回	第11週 1日目 1-14 文字語彙練習 4 後	スクリプトによる語彙・文法の確認 語彙練習 漢字の読みと意味				
9回	第12週 1日目 1-14 文字語彙練習 5 前	スクリプトによる語彙・文法の確認 語彙練習 漢字の読みと意味				
10回	第12週 1日目 1-3 文字語彙練習 5 後	スクリプトによる語彙・文法の確認 語彙練習 漢字の読みと意味				
11回	模擬試験FB					
12回	第11週 1日目 1-14 文字語彙練習 6 前	スクリプトによる語彙・文法の確認 語彙練習 漢字の読みと意味				
13回	第11週 5日目 文字語彙6 後	スクリプトによる語彙・文法の確認 語彙練習 漢字の読みと意味				
14回	評価テスト対策 主に漢字の読みに関して 復習する					
15回	評価テスト・解説					

対象学年	1・2年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科
科目名	日本語能力試験対策Ⅲ(文法)			クラス	SU②
担当講師(フルネーム)	上中真由美			実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験N2対策 N2文法の使い方を確認し、問題を解く			授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N2 合格				
使用テキスト	プリント				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	N2文法	授業の進め方・評価方法について テキスト9(2)			
2回	N2文法	テキスト9(2) パワードリル9			
3回	N2文法	テキスト10(1) パワードリル10			
4回	N2文法	テキスト10(2) パワードリル11			
5回	N2文法	テキスト11 パワードリル12			
6回	N2文法	テキスト11 パワードリル13			
7回	N2文法	テキスト12(1) パワードリル14			
8回	N2文法	テキスト12(1)			
9回	N2文法	テキスト12(2) パワードリル15			
10回	N2文法	模擬テスト + FB			
11回	N2文法	テキスト12(2) パワードリル16			
12回	N2文法	テキスト712(2)			
13回	N2文法	復習			
14回	N2文法	期末テスト			
15回	N2文法	期末テストFB			

対象学年	1・2年共通	学期	通年(前期)	学科	国際ホテルマネジメント科
科目名	日本語能力試験対策 III N1			クラス	S U ①
担当講師(フルネーム)	永吉美知子			実務経験	無
授業概要(内容)	教材に即して 文法の構成・意味の理解と応用 自宅学習を定着させる			授業形態	講義
到達目標	N1 合格				
使用テキスト	耳から覚える文法 パワードリル N1				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ				
1回	Unit 1 パワードリル12日	Unit1の概要とポイント理解 パワードリル12復習 ディクテーション 問題			
2回	Unit 2 パワードリル13日	Unit1の概要とポイント理解 パワードリル13復習 ディクテーション 問題			
3回	Unit 1・2復習 パワードリル14日	1・2回の復習 パワードリル Unit3の説明			
4回	Unit 3 パワードリル15日	Unit 3 ディクテーション 問題 パワードリル15日目			
5回	Unit 4 パワードリルN1	Unit4の概要とポイント理解 パワードリルN1 ディクテーション 問題			
6回	Unit 3・4 復習 パワードリルN1	3. 4の復習問題 パワードリル			
7回	Unit 5 パワードリルN1	Unit5の概要とポイント理解 パワードリルN1 ディクテーション 問題			
8回	Unit 6 パワードリルN1	Unit6の概要とポイント理解 パワードリルN1 ディクテーション 問題			
9回	Unit 7 パワードリルN1	文章の文法 復習テスト			
10回	Unit 5. 6. 7復習	Unit 7までの復習 パワードリルN1			
11回	模擬試験	誤答の多かった問題を中心にFB			
12回	N1 敬語の問題 Unit 8	敬語の問題 Unit 8 文法の説明			
13回	Unit 8 パワードリルN1	ディクテーション 問題 パワードリル問題			
14回	Unit 9 試験対策	Unit 9の文法の説明 試験対策			
15回	評価テスト・解説				

対象学年	1・2年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅳ〈読解〉			クラス	SUT②	
担当講師(フルネーム)	上中真由美			実務経験	無	
授業概要(内容)	日本語能力試験N2読解対策 できるだけ多くの読解問題を解き、解き方を身に付ける			授業形態	講義	
到達目標	日本語能力試験N2合格					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	N2読解	授業の進め方・評価方法について 読解問題を解くポイント				
2回	N2読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
3回	N2読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
4回	N2読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
5回	N2読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
6回	N2読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
7回	N2読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
8回	N2読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
9回	N2読解	過去問を解く				
10回	N2読解	模擬テスト+FB				
11回	N2読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
12回	N2読解	新聞を読む				
13回	N2読解	新聞を読む				
14回	N2読解	期末テスト				
15回	N2読解	期末テストFB				

対象学年	1・2年共通	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅳ			クラス	SU①クラス	
担当講師(フルネーム)	小川 剛			実務経験	無	
授業概要(内容)	日本語能力試験読解対策・ピアラーニングで様々な解き方を見る。 問題の型を意識して読む練習をする。			授業形態	講義	
到達目標	日本語能力試験N1合格・語彙、文法知識の再確認					
使用テキスト	日本語能力試験ベスト問題集N1・読解攻略!日本語能力試験N1レベル などコピー対応					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	模擬試験(実力チェック)				
2回	模擬FB					
3回	第5週1日目	短文				
4回	第5週2日目	短文				
5回	第5週3日目	短文				
6回	第5週4日目	短文				
7回	第5週5日目	短文				
8回	第6週1日目	中文				
9回	第6週2日目	中文				
10回	第6週3日目	中文				
11回	模擬試験	模擬試験				
12回	第7週1日目	長文				
13回	第7週2日目	長文				
14回	第7週3日目	長文				
15回	期末試験					

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント
科目名	ソムリエ&バーテンダー			クラス	U
担当講師(フルネーム)	水田 勇太			実務経験	有
授業概要(内容)	酒類に興味を持ってもらい、レストラン・バー業務に活かすこと。現場での業務が円滑に行える、お客様との会話のツールにする。			授業形態	講義&演習
到達目標	バー・ラウンジにおける接客、お酒の基礎知識また、基本習得				
使用テキスト	ホテルテキスト料飲Ⅱ バー・ラウンジ編				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	シラバス説明	前期講義概要、バー・ラウンジについて、ホスピタリティーとは			
2回	酒類の定義と分類	酒類の詳細			
3回	ワインの基礎知識	ワインの歴史、酒類			
4回	ワイン用ブドウについて	ワイン用ブドウ栽培、栽培地域、土壌について			
5回	カクテルの基礎	カクテル概要			
6回	カクテル基礎知識	器具、カクテル作成について			
7回	カクテル実技	カクテル作成			
8回	フランスワインについて	フランスワイン概要、主要産地の特徴			
9回	イタリア、ドイツワイン	イタリア、ドイツワインの特徴			
10回	その他ワイン産地	アメリカ、ニュージーランドなどのワインの特徴			
11回	ワインと料理の相性	ソムリエの役割、マリアージュ、ペアリングについて			
12回	ワインサービス実技	プレゼン、抜栓の練習			
13回	ワインサービス実技	スパークリング、白、赤ワインのサーブ。ソー、パニエ、デカンタージュ、エアレーションについて 期末試験について			
14回	ワインサービス実技	ワインの表現、売上を上げるソムリエについて。 期末試験			
15回	前期まとめ	解答、復習			

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	ホテル実務技能認定試験対策			クラス	U	
担当講師(フルネーム)	小西 翼			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	部署を問わず、ホテルで即戦力として働くために必要な基礎知識を身に着ける。			授業形態	講義	
到達目標	ホテル実務技能認定試験初級の資格を取得する。					
使用テキスト	ホテル実務技能認定試験 初級 問題集					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション テキスト解説		後期の授業の進め方、評価方法の説明 接客分野の解答、解説			
2回	テキスト解説		接客分野の解答、解説			
3回	テキスト解説		接客分野の解答、解説			
4回	テキスト解説		料飲分野の解答、解説			
5回	テキスト解説		料飲分野の解答、解説			
6回	テキスト解説		料飲分野の解答、解説			
7回	テキスト解説		宿泊分野の解答、解説			
8回	テキスト解説		宿泊分野の解答、解説			
9回	テキスト解説		宿泊分野の解答、解説			
10回	テキスト解説		語学分野の解答、解説			
11回	テキスト解説		語学分野の解答、解説			
12回	テキスト解説		その他のホテル関連分野の解答、解説			
13回	テキスト解説		その他のホテル関連分野の解答、解説			
14回	テキスト解説		その他のホテル関連分野の解答、解説			
15回	期末試験		後期期末試験を実施			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント 科
科目名	日本語ビジネス会話			クラス	U
担当講師(フルネーム)	入江 千治			実務経験	無
授業概要(内容)	・ビジネスで想定されるさまざまな場面での会話練習する。 ・日本語能力試験(JLPT)でもよく出る敬語表現を練習する。			授業形態	講義
到達目標	ビジネスの場面で必要になる知識を理解し、丁寧な会話ができるようになる。				
使用テキスト	『中級レベルロールプレイで学ぶビジネス日本語—就活から入社まで—』(スリーエーネットワーク)				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ		授業内容		
1回	復習/7課 報告書を書く	※敬語表現の練習 ・復習/お礼のメール 7課・モデル会話/文型・表現/タスク①(会話)			
2回	7課 報告書を書く	※敬語表現の練習 ・タスク②(会話) ・タスク③(報告書の書き方)			
3回	8課 データをまとめる	※敬語表現の練習/7課復習・小テスト ・モデル会話/文型・表現/タスク①(会話)			
4回	8課 データをまとめる	※敬語表現の練習 ・タスク②(会話)、タスク③(上司にメール文を書く)			
5回	9課 電話を取り次ぐ	※敬語表現の練習/8課復習・小テスト ・モデル会話/文型・表現/タスク①(会話)			
6回	9課 電話を取り次ぐ	※敬語表現の練習 ・タスク②、③(電話対応)			
7回	10課 伝言を受ける	※敬語表現の練習/9課復習・小テスト ・モデル会話/文型・表現/タスク①(会話)			
8回	10課 伝言を受ける	※敬語表現の練習 ・タスク②、③(電話対応)			
9回	7~10課 復習	※敬語表現の練習 ・会話/文型・表現/メール文の書き方復習			
10回	11課 アポを取る	※敬語表現の練習/10課復習・小テスト ・モデル会話/文型・表現/タスク①(アポを取る)			
11回	11課 アポを取る	※敬語表現の練習 ・タスク②、③(アポを取る、変更する)			
12回	12課 謝罪する	※敬語表現の練習/11課復習・小テスト ・モデル会話/文型・表現/タスク①(ミスの対応)			
13回	12課 謝罪する	※敬語表現の練習 タスク②(謝罪する)/タスク③(謝罪メール)			
14回	11~12課 復習	※敬語表現の練習/復習 ・会話/文型・表現/メール文の書き方復習			
15回	期末試験	・会話/筆記(会話表現、敬語表現)両方を行う			

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	TOEIC			クラス	U	
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	TOEICに特化した文法を基礎から復習。語彙力を高める。 リスニング力を強化する。TOEICの試験形式に慣れる。			授業形態	講義	
到達目標	TOEIC試験で目標スコアを獲得する。					
使用テキスト	KEY STRATEGIES FOR SUCCESS ON THE TOEIC L&R TEST Level 600					
成績評価方法	試験70% 平常点30%				単位数	2
	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Unit L-7	Part3の練習問題 会話問題のパターンを確認 頻出の「目的」「懸念」「次の行動」を問う質問に慣れる				
2回	Unit L-8	Part3の練習問題 詳細問題の設問パターン 言及、問題点、提案、助言の設問を確認				
3回	Unit L-10	Part4の練習問題 頻出の設問パターン 先読みの時に目を置く語句を確認				
4回	Unit L-11	Part4の練習問題 設問の先読み 展開パターンの予測				
5回	Unit L-12	Part3 & 4 図表問題の解法 練習問題				
6回	リスニングテスト	Part3 Part4				
7回	Unit R-7	Part7 広告・チャットの問題 練習問題				
8回	Unit R-8	Part7 Eメール、手紙の問題 差出人や受取人の職業、目的、受取人への依頼、指示内容を見つける				
9回	Unit R-9	Part7 告知、社内回覧 お知らせや社内回覧が書かれた目的、特定の情報の読み取り、読み手への指示				
10回	Unit R-11	Part7 ダブルパッセージ 両方の文書を読む必要がある問題： 足りない情報を探す				
11回	模擬試験	リスニングテスト Part1 Part2 Part3 Part4				
12回	模擬試験	リーディングテスト Part5 Part6 Part7				
13回	リーディングテスト	Part7 重要表現・読解問題				
14回	期末試験	Unit L7/L8/L10/L11/L12 Unit R7/R8/R9/R11				
15回	総復習	期末試験のフィードバック まとめ				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント
科目名	ペン字			クラス	U
担当講師(フルネーム)	白石真紀			実務経験	無
授業概要(内容)	文字の基本を学び、様々な用途に合わせた書式とバランスを学ぶ			授業形態	講義&演習
到達目標	実用ペン字・筆ペンの指導を通じて社会人としての教養を身につける。				
使用テキスト	オリジナルテキスト・下敷き・ペン2種類・筆ペン				
成績評価方法	提出物70%、小テスト、授業態度30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	× 期末試験なし				
	テーマ	授業内容			
1回	履歴書の書き方①	文字を書くための基本～姿勢・ペンの持ち方・種類 読みやすい履歴書を書くためのバランスと書式を学ぶ～横書きの書式 履歴書に出てくる漢字の書き取り練習と名前の練習～下書きを作る			
2回	履歴書の書き方②	履歴書まとめ①			
3回	履歴書の書き方③	履歴書まとめ② ～提出			
4回	美文字になるためのポイント①	文字の基本を学ぶ① 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ①			
5回	美文字になるためのポイント②	文字の基本を学ぶ② 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ②			
6回	美文字になるためのポイント③	文字の基本を学ぶ③ 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ③			
7回	美文字になるためのポイント④	文字の基本を学ぶ④ 文字(片仮名・平仮名)のバランスの取り方を学ぶ			
8回	実用書を学ぶ①	はがきの表書き～配字(書式)とバランスの取り方を学ぶ 封筒(縦長 長形4号)の書き方一人・企業宛の書き分け①			
9回	実用書を学ぶ②	封筒(縦長 長形4号)の書き方一人・企業宛の書き分け② 封筒(A4が入る封筒 角形2号)の書き方一人・企業宛の書き分け①			
10回	実用書を学ぶ③	封筒(A4が入る封筒 角形2号)の書き方一人・企業宛の書き分け② まとめ			
11回	実用書を学ぶ④	手紙の書き方 内定後のお礼状の書き方—縦書きの書式			
12回	筆ペンで実用書を学ぶ①	筆ペンの特徴と書き方 筆ペンで自分の名前の練習(楷書・行書) 芳名帳の書き方～書式とバランス			
13回	筆ペンで実用書を学ぶ②	慶弔の表書き① 「御祝」「寿」の練習と熨斗封筒の書き方			
14回	筆ペンで実用書を学ぶ③	慶弔の表書き② 「御仏前」「御霊前」の練習と不祝儀袋の書き方			
15回	筆ペンで実用書を学ぶ④	慶弔の表書き③ まとめ 色々な実用書を学ぶ 理論問題(プリント)			

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	国際語ホテルマネジメント科	
科目名	SPI対策			クラス	U	
担当講師(フルネーム)	山本真美・榎木田裕夫			実務経験	無	
授業概要(内容)	就職試験対策 授業は言語・非言語を隔週で実施			授業形態	講義	
到達目標	SPI(一般常識・時事問題を含む)、玉手箱などの採用試験が解ける学力の向上をめざします。					
使用テキスト	SPI基本問題集(大和書房)一般常識&SPI					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	非言語①		金銭の問題2(p.70~71)を解く			
2回	言語①		四字熟語 夏休み課題解説 SPI言語 ことばの意味①語句の意味が正しいもの			
3回	非言語②		金銭の問題3(p.72~75)を解く			
4回	言語②		四字熟語テスト① SPI言語 ことばの意味②意味に適合するもの 政治 日本の政治システム①国会			
5回	非言語③		団体割引、分割払いの問題(p.76~85)を解く			
6回	言語③		四字熟語テスト② SPI言語 原料(加工物とその原料) 政治 日本の政治システム②地方公共団体			
7回	非言語④		速度の問題(p.86~91)を解く			
8回	言語④		四字熟語テスト③ SPI言語 包含・用途・機能 日本史 人物から歴史をみる			
9回	非言語⑤		食塩水の問題(p.110)を解く			
10回	言語⑤		四字熟語テスト④ SPI言語 行為の関係 世界史 人物から歴史をみる			
11回	非言語⑥		食塩水の問題(p.114~117)を解く			
12回	言語⑥		四字熟語テスト⑤ SPI言語 ことわざ・慣用句 経済用語			
13回	非言語⑦		順列の問題1(p.136~138)を解く			
14回	言語⑦		四字熟語テスト⑥ SPI言語 文章問題 労働・社会保障 労働者は守られているか?			
15回	非言語⑧		組み合わせの問題1(p.146~150)を解く			

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	就職活動講座			クラス	U	
担当講師(フルネーム)	安部紀美江			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・企業研究、志望動機、自己PRの完成品作成 ・質疑応答の答え方の内容を理解し答えを導き出せるようにする。 			授業形態	講義	
到達目標	・志望する企業への内定を勝ち取る。					
使用テキスト	・「専門学校生のための就職内定基本テキスト」 ・就職ノート ・オリジナルレジュメ					
成績評価方法	・課題プリント50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・後期授業内容の説明 ・自己PRのレベルアップを図り個性を出させる。 				
2回	求人票の読み取り方	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の求人票を使い、書かれている内容の意味を理解させる。 				
3回	志望動機の作り方	<ul style="list-style-type: none"> ・モデルケースの志望動機を作ってみる。 				
4回	志望動機の作り方	<ul style="list-style-type: none"> ・モデルケースの志望動機を作ってみる。 				
5回	志望動機の作り方	<ul style="list-style-type: none"> ・志望動機作成に必要な文言や自己PRとの関連性について考えていく。 				
6回	企業研究	<ul style="list-style-type: none"> ・エントリーシートとは何かを理解し、就活にとっての第一歩であることを認識できるようになる。 				
7回	企業研究	<ul style="list-style-type: none"> ・エントリーシートの効果的な作成方法を学び、どう活用するかを考える。 				
8回	企業研究	<ul style="list-style-type: none"> ・過去のエントリーシートを使って、実際にエントリーシートを書いてみる。 				
9回	企業研究	<ul style="list-style-type: none"> ・企業研究の重要性と企業研究シートの作成方法を学ぶ。 ・情報収集の必要性とその収集方法ができるようになる。 				
10回	企業研究	<ul style="list-style-type: none"> ・企業開催セミナー・説明会に参加する意味と就活への活用方法をわかるようになる。 ・志望する企業の研究と自己PR、志望動機の作成 				
11回	企業研究	<ul style="list-style-type: none"> ・志望する企業の研究と自己PR、志望動機の作成 				
12回	面接対策	<ul style="list-style-type: none"> ・面接の形式 ・面接の受け答えチェックポイント 				
13回	面接対策	<ul style="list-style-type: none"> ・よく出る質問の答え方を指導し、個々人の答えを考え的確に受け答えができるようになる。 				
14回	面接対策	<ul style="list-style-type: none"> ・よく出る質問の答え方を指導し、個々人の答えを考え的確に受け答えができるようになる。 				
15回	完成品のチェック	<ul style="list-style-type: none"> ・後期提出物のチェック 				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	面接対策			クラス	U	
担当講師(フルネーム)	田中友加利/甲斐奈奈			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職内定に向けて模擬面接を中心に面接対策を実施			授業形態	講義	
到達目標	深堀にも対応できる面接レベルを目標とする					
使用テキスト	「専門学校生のための就職内定基本テキスト」「就職ノート」または適宜プリント配布					
成績評価方法	授業態度、提出物、身だしなみ、出席率により評価 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	業界求人動向 1年次前期の面接対策の振り返り 企業説明会参加時の心構え				
2回	模擬面接	グループ面接(基本パターンの再確認) フィードバック				
3回	模擬面接	グループ面接(基本パターンの再確認) フィードバック				
4回	模擬面接	グループ面接(基本パターンの再確認) フィードバック				
5回	模擬面接	グループ面接(基本パターンの再確認) フィードバック				
6回	模擬面接	グループ面接(応用) フィードバック				
7回	模擬面接	グループ面接(応用) フィードバック				
8回	模擬面接	グループ面接(応用) フィードバック				
9回	模擬面接	WEB面接・動画作成について 志望動機、自己PR、ガクチカ確認				
10回	模擬面接	WEB面接・動画作成について 志望動機、自己PR、ガクチカ確認				
11回	模擬面接	グループ面接 フィードバック				
12回	模擬面接	グループ面接 フィードバック				
13回	後期試験	グループ面接 フィードバック				
14回	模擬面接	グループ面接 フィードバック				
15回	就職活動に向けて	自身の将来の夢(理想の社会人像、キャリアプラン)について発表 就職活動全般の質疑応答				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント 科	
科目名	コンピュータ			クラス	T	
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美			実務経験	有(通信業界勤務歴)	
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 表計算の基礎を学び、活用できる力を習得する。			授業形態	講義&演習	
到達目標	キーボード操作のマスター。日本のExcel検定3級相当のスキルを身に着ける。					
使用テキスト	実教出版 30時間でマスターOffice2019					
成績評価方法	・期末試験60% 課題20% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験						
	テーマ	授業内容				
1回	Excel基礎	タイピングレッスン 四則計算式、関数(SUM・AVERAGE・COUNT・MAX・MINなど)				
2回	Excel基礎	タイピングレッスン オートSUM活用				
3回	Excel基礎	タイピングレッスン 相対参照と絶対参照、比率・割合を求める				
4回	Excel基礎	タイピングレッスン グラフ作成(基本的な縦棒・横棒・折れ線・円グラフ)				
5回	Excel基礎	タイピングレッスン 関数(IF関数・ROUND関数)				
6回	Excel基礎	タイピングレッスン Excel基礎の復習 オートSUM活用、前年比・構成比の計算、その他ROUND関数・IF関数など				
7回	Excel基礎	タイピングレッスン Excel基礎の復習 オートSUM活用、前年比・構成比の計算、その他ROUND関数・IF関数など				
8回	Excel基礎	検定過去問題の練習① 検定問題3級相当を繰り返し行うことで、日本語でのExcelスキルを身に着ける				
9回	Excel基礎	検定過去問題の練習② 検定問題3級相当を繰り返し行うことで、日本語でのExcelスキルを身に着ける				
10回	Excel基礎	検定過去問題の練習③ 検定問題3級相当を繰り返し行うことで、日本語でのExcelスキルを身に着ける				
11回	Word応用	ポストカード作成① MerryXmas カードを作成しよう カードの背景、キャラクターなどのコンテンツの挿入				
12回	Word応用	ポストカード作成② MerryXmas カードをPDFにしてメールやLINEで送ろう 仕上げ、PDFファイルに変換、スマホに保存後、メール添付・LINEやSNS				
13回	Excel基礎	検定過去問題の練習④ 検定問題3級相当を繰り返し行うことで、日本語でのExcelスキルを身に着ける				
14回	Excel基礎	検定過去問題の練習⑤ 検定問題3級相当を繰り返し行うことで、日本語でのExcelスキルを身に着ける				
15回	後期期末試験	Excel表作成				

対象学年	3年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	会計学			クラス	T	
担当講師(フルネーム)	安部紀美江			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	・ホテルマネジメントにおける企業会計と管理会計について学ぶ。			授業形態	講義	
到達目標	・中堅社員になるための経営的視点を身につけさせる。					
使用テキスト	・ホテル管理会計論 ・オリジナルワークシート					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	科学的ホテル経営	・科学的ホテル経営に必要な知識の習得をめざす				
2回	ホテルの経営形態	ホテルの経営形態とメリットデメリットを理解させる				
3回	ホテルの経営形態	ステークホルダーの意味と目的を理解させる				
4回	ホテルの収益構造	国内ホテルと外資系ホテルの収益構造の違いや収益構造による組織構造の差異を理解させる				
5回	客室部門のKPI (業績評価指標)	客室ビジネスの目標と制約を理解させる				
6回	客室部門のKPI (業績評価指標)	客室ビジネスの競争力分析手法を身に付けさせる				
7回	レベニューマネジメント	レビューマネジメントの目的と手法を理解させる				
8回	料飲部門のKPI (業績評価指標)	料飲部門のKPIを理解させレビューマネジメントを考えさせる				
9回	料飲部門のKPI (業績評価指標)	レストランの戦略的メニュー価格の設定方法を理解させる				
10回	料飲原価管理	FBコントローラーの業務を理解させコストセービングについて考えさせる				
11回	人件費管理	人件費の構成要素を理解し管理手法について考えさせる				
12回	損益分岐点分析	ホテルにおける変動費と固定費を理解させ損益分岐点の計算方法を習得させる				
13回	予算管理	予算、フォーキャストの作成手順を理解し活用方法を考えさせる				
14回	ホテル企業の経営分析	経営分析のためのデータ収集方法と実施方法を理解させる				
15回	期末試験・答え合わせ	期末試験の実施と解説				

対象学年	3年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	セールス			クラス	T	
担当講師(フルネーム)	松岡 尚美			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	ホテルと利用客とのご縁を作るホテルセールスの仕事内容を理解する。ワークやディスカッションにて理解を浸透させる。			授業形態	講義	
到達目標	ホテルセールスの基礎的な知識とホスピタリティ・マインドを理解し、即戦力として現場で活躍できるようになる。					
使用テキスト	最新 ホテルマーケティング論 / 適宜にプリント、情報誌、動画等活用					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	セールスの基本	ホテルセールスの仕事内容と求められるスキル セールスプロモーションの種類と概要				
2回	セールスの基本	異文化コミュニケーションと多様な文化への理解と準備				
3回	セールスの基本	ホテルにおける人的販売の意味・業務分類 利用見込み客に対するダイレクトメール				
4回	セールスの基本	企業・旅行会社へのセールス活動のポイント				
5回	セールスの基本	インターネットによる客室販売の方法 レベニュー・マネジメントがホテル業界に広まった背景と考え方				
6回	セールスの基本	企業訪問のマナー(ロールプレイング)				
7回	ライフイベント商品	日本の慶事の概要と種類				
8回	ライフイベント商品	日本の弔事の概要と種類				
9回	ホスピタリティ・ビジネス	ホテル業界におけるCSの重要性 コンプレイン対応を考える				
10回	ホスピタリティ・ビジネス	顧客ロイヤリティとホスピタリティ 顧客目線の風土づくり				
11回	覚えておきたいセールス関連知識	広報・広告宣伝・イベント・キャンペーン 個人情報の取り扱いについて				
12回	覚えておきたいセールス関連知識	ホテル法務知識				
13回	ふりかえり	講義のふりかえり				
14回	ふりかえり	講義のふりかえり				
15回	期末テスト	期末テスト				

対象学年	3年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント	
科目名	マネジメント			クラス	T	
担当講師(フルネーム)	中牟田 登喜枝			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	ホテルマネジメントの基礎的な知識を学習する			授業形態	講義	
到達目標	マネジメントの基礎的な仕組みを学び、活用できるようになる					
使用テキスト	ホテルマネジメント					
成績評価方法	・期末試験50% レポート・平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ					
1回	前期復習 4章 ヒューマン・リソース・マネジメント	前期復習				
2回	4章 ヒューマン・リソース・マネジメント	星野リゾートマネージメント				
3回	5章 ヒューマン・リソース・マネジメント	シャングリ・ラ・グループのマネージメント				
4回	5章 カスタマー・リレーションシップ・マネジメント	リッツカールトンホテルのCRG				
5回	5章 カスタマー・リレーションシップ・マネジメント	サービスの定義				
6回	6章 リスク・マネジメント	リスクマネジメントとは				
7回	6章 リスク・マネジメント	ホテルビジネスを取り巻く危険要因				
8回	6章 リスク・マネジメント	ホテルビジネスにおけるリスクカテゴリー				
9回	6章 リスク・マネジメント	防災事故管理				
10回	6章 リスク・マネジメント	防犯管理				
11回	6章 リスク・マネジメント	BCR とBCM				
12回	7章 今後の日本ホテルマネジメント戦略	ホテルマネジメントにおける日本の課題 ・観光立国 ・国際旅行者				
13回	7章 今後の日本ホテルマネジメント戦略	インターネット等のマーケティング MICE IR				
14回	7章 今後の日本ホテルマネジメント戦略	日本のホテルビジネス、その他の宿泊ビジネスの今後				
15回	まとめ	後期範囲、ホテル用語の復習				

対象学年	3年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	接客日本語			クラス	T	
担当講師(フルネーム)	中牟田 哲也			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	和のおもてなし・トラブル・バリアフリーの状況を想定しロールプレイやペアワークでスムーズな会話を身につける。随時短作文も。			授業形態	講義	
到達目標	職場での接客や社内会話がスムーズにできるようになる。接客に役立つ言葉・会話を身につける。					
使用テキスト	なし(参考)「接客日本語会話」「感じがいい日本語」「日本語プロジェクトワーク」					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	ガイダンス	講義内容説明 アンケート 四字熟語・慣用句				
2回	敬語(1)	敬語 「～と申します」「～に住んでおります」 「日本の伝統文化」(ことば)				
3回	敬語(2)	敬語 「～ができます」(可能) 「日本の伝統文化」(理解)				
4回	敬語(3)	敬語 「～が～います」「～はどちらに～」 「日本の伝統文化」(準備)				
5回	お客さまの出迎え	お客さまの出迎え 「いい天気ですね」「急に～になりましたね」 「日本の伝統文化」(発表)				
6回	よく聞き取れない時	よく聞き取れない時 「それは大変でしたね」「やってみたいです」 「食事・会食」(ことば)				
7回	よく使うひとこと表現	よく使うひとこと表現 「私も～です」「初めて～なんですけど」 「食事・会食」(理解)				
8回	会計	会計 「なんですか」「～でしたっけ」 「食事・会食」(準備)				
9回	宿泊予約	宿泊予約 「～に行きます」「～できます」 「食事・会食」(発表)				
10回	ホテルのフロント	ホテルのフロント 「～と言っていました」「～でもいいですか」 「リサイクル」(ことば)				
11回	お客さまの要望	N1・N2問題 お客さまの要望 「～てもらえませんか」「～していただけませんか」 「リサイクル」(理解)				
12回	急病人	N1・N2問題 急病人 台風・地震 「リサイクル」(準備)				
13回	落とし物・忘れ物	落とし物・忘れ物 「何やってるんだ」「食ったか」 プレゼンテーション準備				
14回	期末試験	まとめ 期末試験				
15回	期末試験のFB	期末試験のフィードバック プレゼンテーション				

対象学年	3年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント 科	
科目名	コンピュータ			クラス	T	
担当講師(フルネーム)	乙咩 清美			実務経験	有(通信業界勤務歴)	
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 表計算の基礎を復習し、活用できる力を習得する。			授業形態	講義&演習	
到達目標	今まで学んだことを見直し、新規の表作成のデザインやフォームが作成できるようになる。					
使用テキスト	実教出版 30時間でマスターOffice2019					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験						
	テーマ	授業内容				
1回	Excel基礎	タイピングレッスン 今まで学んできた内容の復習 四則計算式、関数(SUM・AVERAGE・COUNT・MAX・MIN・IFなど)				
2回	Excel基礎	タイピングレッスン 表作成①				
3回	Excel基礎	タイピングレッスン 表作成②				
4回	Excel基礎	タイピングレッスン 表作成③				
5回	Office活用	Excelで集計した結果を、Wordで報告書作成①				
6回	Office活用	Excelで集計した結果を、Wordで報告書作成②				
7回	Office活用	フォーム作成① Wordを使用してフォームを作ろう				
8回	Office活用	フォーム作成② Excelを使用してフォームを作ろう				
9回	Excel応用	表作成① メモをもとに、在庫管理表を作成しよう				
10回	Excel応用	表作成② メモをもとに、現金出納帳を作成しよう				
11回	Excel応用	Excelで文書作成				
12回	Office活用	チラシ作成 生徒募集のチラシを作ろう				
13回	Office活用	チラシ作成 生徒募集のチラシを作ろう				
14回	総合演習	後期学んだことの復習				
15回	後期期末試験					

対象学年	3年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			クラス	T	
担当講師(フルネーム)	Geoffrey Wolfson, Tim Orris			実務経験	無	
授業概要(内容)	Doing self introductions. Making various presentations about oneself with a lot of partner work. A lot of vocabularies. Practicing role plays. Understanding various culture points.			授業形態	講義	
到達目標	To improve students' fluency and ability to use simple English at work and socially. To raise their confidence levels using simple English by creating more opportunities for the students to speak.					
使用テキスト	Challenge book #4、Takeoff!、Warm-up Booklet 2、Vocabulary Book (Noun)					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	Warm Up: P16, Vocabulary: P8 Challenge Book: P13 Takeoff! Dialog: 8	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Sports Interview Nouns starting with H, Role play with Take off!				
2回	Warm Up: P17, Vocabulary: P8 Challenge Book: P13 Takeoff! Dialog: 8	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Sports Interview Sentences using nouns starting with H, Role play with Take off!				
3回	Warm Up: P18, Vocabulary: P9 Challenge Book: P14 Takeoff! Dialog: 9	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Sport Nouns starting with I, Role play with Take off!				
4回	Warm Up: P19, Vocabulary: P9 Challenge Book: P14 Takeoff! Dialog: 9	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Sport Sentences using nouns starting with I, Role play with Take off!				
5回	Warm Up: P20, Vocabulary: P10 Challenge Book: P15 Takeoff! Dialog: 10	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Cuisine Interview Nouns starting with J, Role play with Take off!				
6回	Warm Up: P21, Vocabulary: P10 Challenge Book: P15 Takeoff! Dialog: 10	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Cuisine Interview Sentences using nouns starting with J, Role play with Take off!				
7回	Warm Up: P22, Vocabulary: P11 Challenge Book: P16 Takeoff! Dialog: 11	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Restaurant Nouns starting with K, Role play with Take off!				
8回	Warm Up: P23, Vocabulary: P11 Challenge Book: P16 Takeoff! Dialog: 11	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Restaurant Sentences using nouns starting with K, Role play with Take off!				
9回	Warm Up: P24, Vocabulary: P12 Challenge Book: P21 Takeoff! Dialog: 12	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: School Memory Lane Nouns starting with L, Role play with Take off!				
10回	Warm Up: P25, Vocabulary: P12 Challenge Book: P21 Takeoff! Dialog: 12	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: School Memory Lane Sentences using nouns starting with L, Role play with Take off!				
11回	Warm Up: P26, Vocabulary: P13 Challenge Book: P22 Takeoff! Dialog: 13	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Best School Trip Nouns starting with M, Role play with Take off!				
12回	Warm Up: P27, Vocabulary: P13 Challenge Book: P22 Takeoff! Dialog: 13	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Best School Trip Sentences using nouns starting with M, Role play with Take off!				
13回	Warm Up: P28, Vocabulary: P14 Challenge Book: P23 Takeoff! Dialog: 14	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My School Club Nouns starting with N, Role play with Take off!				
14回	Warm Up: P29, Vocabulary: P14 Challenge Book: P23 Takeoff! Dialog: 14	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My School Club Sentences using nouns starting with N, Role play with Take off!				
15回	Warm Up: P30, Vocabulary: P15 Challenge Book: P24 Takeoff! Dialog: 15, test	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Music Interview Nouns starting with O, Role play with Take off!				

対象学年	3年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント	
科目名	日本語能力試験対策 I			クラス	T① 留	
担当講師(フルネーム)	永吉美知子			実務経験	無	
授業概要(内容)	読解・聴解の基礎となる語彙の理解・習得が日本語能力の向上に繋がるための 積み上げ・繰り返す内容の授業をすすめる			授業形態	講義	
到達目標	N2・N1合格					
使用テキスト	20日で合格 パワードリル ニュース検定					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	13日目 パワードリルN1	語彙の意味の確認と実践問題 パワードリル				
2回	13日目 パワードリルN1	語彙の意味の確認と実践問題 パワードリル 前回の復習テスト				
3回	14日目 パワードリルN1	語彙の意味の確認と実践問題 パワードリル ニュース検定				
4回	14日目 パワードリルN1	語彙の意味の確認と実践問題 パワードリル 前回の復習テスト				
5回	15日目 パワードリルN1	語彙の意味の確認と実践問題 パワードリル ニュース検定				
6回	15日目 パワードリルN1	語彙の意味の確認と実践問題 パワードリル 前回の復習テスト				
7回	16日目 パワードリル	語彙の意味の確認と実践問題 パワードリル ニュース検定				
8回	16日目 パワードリルN1	語彙の意味の確認と実践問題 パワードリル 前回の復習テスト				
9回	17日目 パワードリルN1	語彙の意味の確認と実践問題 パワードリル ニュース検定				
10回	17日目 パワードリルN1	語彙の意味の確認と実践問題 パワードリル 前回の復習テスト				
11回	模擬テスト					
12回	模擬テストFB パワードリルN1	模試のFB パワードリル				
13回	18日 パワードリルN1	基礎の応用としての実践問題 パワードリル ニュース検定				
14回	18日 問題7 評価対策テスト	評価テスト対策問題 問題7				
15回	評価テスト					

対象学年	3年	学期	通年(後期)	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅱ(聴解)			クラス	T①② N1クラス	
担当講師(フルネーム)	小川 剛			実務経験	無	
授業概要(内容)	日本語能力試験N1聴解対策 ・ 問題を聞き、傾向をつかむとともに、実施後、ポイント部分を傾聴、文字化し、語彙、文法、内容を再確認する。			授業形態	講義	
到達目標	日本語能力試験N1合格 聴解問題を聞き、文末表現、接続詞などの語彙の知識も再確認する。					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	ベスト問題集 第9週1日目		課題理解1～3			
2回	第9週1日目		課題理解1～4			
3回	第9週1日目		ポイント理解1～3			
4回	第9週1日目		ポイント理解4～7			
5回	第10週1日目		概要理解1～3			
6回	第10週1日目		概要理解4～6			
7回	第12週1日目		統合理解1～3			
8回	模擬試験		実施			
9回	模擬試験		フィードバック			
10回	第9週2日目		課題理解1～3			
11回	第9週2日目		ポイント理解1～3			
12回	第10週2日目		概要理解1～3			
13回	第10週2日目		概要理解4～6			
14回	第12週2日目		統合理解1～3			
15回	期末試験					

対象学年	3年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅱ(聴解・漢字)			クラス	T③	
担当講師(フルネーム)	上中真由美			実務経験	無	
授業概要(内容)	日本語能力試験N2聴解・漢字対策			授業形態	講義	
到達目標	日本語能力試験N2 合格					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	N2聴解・漢字		授業の進め方・評価方法について 漢字の読み方を推測する			
2回	N2聴解・漢字		漢字の意味を推測する 漢字導入・読み練習			
3回	N2聴解・漢字		漢字導入・読み練習 小テスト 聴解			
4回	N2聴解・漢字		漢字導入・読み練習 小テスト 聴解			
5回	N2聴解・漢字		漢字導入・読み練習 小テスト 聴解			
6回	N2聴解・漢字		漢字導入・読み練習 小テスト 聴解			
7回	N2聴解・漢字		漢字導入・読み練習 小テスト 聴解			
8回	N2聴解・漢字		漢字導入・読み練習 小テスト 聴解			
9回	N2聴解・漢字		漢字導入・読み練習 小テスト 聴解			
10回	N2聴解・漢字		模擬テスト + FB			
11回	N2聴解・漢字		クラス内模擬テスト+FB			
12回	N2聴解・漢字		漢字復習			
13回	N2聴解・漢字		漢字復習			
14回	N2聴解・漢字		期末テスト			
15回	N2聴解・漢字		期末テストFB			

国際ビジネス

学年	科目名
1	Grammar/英作文基礎
1	TOEIC I II (小俣)
1	TOEIC I II (脇谷)
1	オンライン英会話
1	英会話 (TGG)
1	コンピュータMOS
1	海外観光地理
1	就職活動講座
1	TOPIK対策 I II
1	韓国語文法
1	英語で観光地紹介
1	韓国語会話
2	英作文演習
2	TOEIC
2	オンライン英会話
2	英会話
2	コンピュータMOS
2	選択TOEIC
2	TOPIK
2	英語プレゼンテーション
2	韓国語プレゼンテーション
2	英語ディベート
2	ビジネス韓国語

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	国際ビジネス科
科目名	英作文基礎			クラス	D
担当講師(フルネーム)	クスターズ 妙子			実務経験	無
授業概要(内容)	英語の基礎文法の学び直しをし、基礎的な文法知識を定着させる。 英作文のトレーニングを行い、文法の定着を図る。			授業形態	講義
到達目標	英語の基礎文法を理解し、英作文ができるようになる。				
使用テキスト	高校英文法をひとつひとつわかりやすく、どんどん話すための瞬間英作文トレーニング				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション	授業の目的と進め方、評価方法について説明する。 自分の考えや意見を英語で表現できることの重要性を認識する。 自分のレベルを知るために英作文を書いてみる。			
2回	現在完了形(継続用法)を理解する	現在完了形(継続用法)の基本を理解し、問題を解く。 現在完了形(継続用法)を用いた英作文トレーニングを行う。			
3回	過去形と現在完了形の違いを理解する	過去形と現在完了形の基本を理解し、問題を解く。 現在完了形を用いた英作文トレーニングを行う。			
4回	過去完了形を理解する	過去完了形の基本を理解し、問題を解く。 過去完了形を用いた英作文トレーニングを行う。			
5回	未来完了形を理解する	未来完了形の基本を理解し、問題を解く。 未来完了形を用いた英作文トレーニングを行う。			
6回	現在進行形、過去進行形、未来進行形を理解する	現在進行形、過去進行形、未来進行形の基本を理解し、問題を解く。 現在進行形、過去進行形、未来進行形を用いた英作文トレーニングを行う。			
7回	現在完了進行形を理解する	現在完了進行形の基本を理解し、問題を解く。 現在完了進行形を用いた英作文トレーニングを行う。			
8回	過去完了進行形・未来完了進行形を理解する	過去完了進行形・未来完了進行形の基本やいろいろな意味を理解し、問題を解く。 過去完了進行形・未来完了進行形を用いた英作文トレーニングを行う。			
9回	復習テスト	これまでの英文法の復習を行う。			
10回	受動態を理解する	受動態の基本を理解し、問題を解く。 受動態を用いた英作文トレーニングを行う。			
11回	SV00の受動態を理解する	SV00の受動態の基本を理解し、問題を解く。 SV00の受動態を用いた英作文トレーニングを行う。			
12回	SVOCの受動態を理解する	SVOCの受動態の基本を理解し、問題を解く。 SVOCの受動態を用いた英作文トレーニングを行う。			
13回	進行形と完了形の受動態を理解する	進行形と完了形の受動態の基本を理解し、問題を解く。 進行形と完了形の受動態を用いた英作文トレーニングを行う。			
14回	総復習	これまでの英文法の復習を行う。 理解度の確認をする。 英作文を書く。			
15回	期末試験	期末試験を実施する。 理解度の確認をする。			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	TOEIC 1& 2			クラス	D	
担当講師(フルネーム)	小俣 郁美			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	TOEICに特化した文法を基礎から復習。語彙力強化。 シャドウイングなどでリスニング力を強化してスコアアップにつなげる。 ※レベルに合わせるためシラバス通りに進まない場合があります。			授業形態	講義	
到達目標	各自の目標スコアを達成する。					
使用テキスト	TOEIC L&R戦略的トレーニング:レベル500 / TOEIC L&R TEST 出る単特急 銀のフレーズ					
成績評価方法	・期末試験50% 単語熟語テスト30% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	4
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	前期の総復習 part1.2(L1-6)	リスニング復習 単語テスト説明				
2回	Part7(R-7)part3(L7)	Part7(長文の解き方) リスニング解き方・シャドーイング 単語テスト				
3回	Part7(R-8)part3(L8)	Part7(長文の解き方) リスニング解き方・シャドーイング 単語テスト				
4回	part7(R-9) part3(L8)	Part7(長文の解き方) リスニング解き方・シャドーイング 単語テスト				
5回	part7(R-9) Part3(L9)	Part7(長文の解き方) リスニング解き方・シャドーイング 単語テスト				
6回	part7(R-10) Part4(L10)	Part7(長文の解き方) リスニング解き方・シャドーイング 単語テスト				
7回	part7(R-10) Part4(L11)	Part7(長文の解き方) リスニング解き方・シャドーイング 単語テスト				
8回	part7(R-11)Part4(L12)	Part7(長文の解き方) リスニング解き方・シャドーイング 単語テスト				
9回	part7(R-11) リスニング総復習	Part7(長文の解き方) リスニング解き方・シャドーイング 単語テスト				
10回	part7(R-11)リスニング総復習	Part7(長文の解き方) リスニング解き方・シャドーイング				
11回	part7(R-12)review(part1&3)	Part7(長文の解き方) リスニング総復習 単語テスト				
12回	part7(R-12)review(part2&4)	Part7(長文の解き方) リスニング総復習 単語テスト				
13回	part5復習	文法復習 単語テスト				
14回	review(part5.6.7)	これまでの総復習 単語テスト				
15回	期末テスト	期末対策&期末テスト				

対象学年	1年	学期	通年	学科	国際ビジネス科	
科目名	TOEIC 1& 2			クラス	D	
担当講師(フルネーム)	脇谷 奈々			実務経験	有	
授業概要(内容)	TOEICに特化した文法を基礎から復習。語彙力を高め、音読、シャドウイングなどでリスニング力を強化してスコアアップにつなげる。 ※レベルに合わせるためシラバス通りに進まない場合があります。			授業形態	講義	
到達目標	各自の目標スコアを達成する。					
使用テキスト	TOEIC L&R戦略的トレーニング:レベル500 / TOEIC L&R TEST 出る単特急 銀のフレーズ					
成績評価方法	・期末試験50% 単語熟語テスト30% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	4
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	前期の総復習 Part5		品詞(名詞、形容詞、副詞)の見分け方 品詞問題の解き方 Part5 品詞以外にも前期に学んだことを生かしてPart5を解く方法を復習する			
2回	分詞の形容詞的用法 &分詞構文 Part4		分詞の形容詞的用法、分詞構文 Part4 Part5 単語テスト			
3回	Part7		Part7(長文の解き方) Part5 単語テスト			
4回	動詞の形 名詞・冠詞 part6		動詞の形 名詞・冠詞 Part6 Part5 単語テスト			
5回	関係代名詞 Part3		関係代名詞 Part3 Part5 単語テスト			
6回	関係副詞 Part4		関係副詞、関係代名詞と関係副詞の置き換え Part4 単語テスト			
7回	仮定法 Part1&2		仮定法 Part1 Part2 Part5 Part6 単語テスト			
8回	比較級		比較級 Part7 Part5 単語テスト			
9回	模擬テスト (リスニング)		模擬テストリスニング 解答 単語テスト			
10回	模擬テスト (筆記)		模擬テスト筆記 解答 単語テスト			
11回	that節		様々なthatの用法 単語テスト			
12回	リスニング全般		Part1~4 単語テスト			
13回	リーディング全般		Part5~7 単語テスト			
14回	文法総復習		Part5 これまでの文法の総復習 単語テスト			
15回	期末テスト		期末対策&期末テスト			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	オンライン英会話			クラス	Dクラス	
担当講師(フルネーム)	小俣 郁美			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	「やりとり」に特化したレッスンを行う。自分の話したい内容を英語で考える。また実際の会話のように「即興性」を学ぶ。			授業形態	講義&演習	
到達目標	質問に対して付加情報を加えて話せるようになる					
使用テキスト	プリント対応					
成績評価方法	授業・レッスン評価65% アセスメント20% 平常点 15%				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	Popular Things (TOPIC2)		旅行・場所・読書・スポーツ			
2回	Events (TOPIC3)		クリスマス・バレンタイン・ハロウィン・誕生日			
3回	Lifestyle (TOPIC4)		朝・週末・休暇・悩み			
4回	Young Culture (TOPIC5)		音楽・トレンド・コミュニケーション・ファッション			
5回	Food (TOPIC6)		食時間・食文化・健康・特別な日			
6回	Learning (TOPIC7)		言語・海外留学・習い事・テクノロジー			
7回	Entertainment (TOPIC8)		テレビ・映画・コンサート・ステージパフォーマンス			
8回	Health (TOPIC9)		睡眠・病気・リラクゼーション・食生活			
9回	Country (TOPIC10)		気候・観光・人々・伝統文化			
10回	Tourism (TOPIC12)		文化の違い・ユニークな施設・観光・お土産			
11回	First Meetings (TOPIC13)		よくある話題・タブーな話題・自己紹介・挨拶			
12回	Future (TOPIC15)		大学・ライフイベント・仕事・未来の問題			
13回	The Internet (TOPIC16)		コミュニケーション・SNS・情報検索・買い物			
14回	Nature (TOPIC17)		山・海・季節・問題			
15回	Manners (TOPIC19)		テーブルマナー・公共の場・インターネット・正式な場			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	英会話			クラス	D	
担当講師(フルネーム)	Pat Brown, Yoko Akimitsu			実務経験	無	
授業概要(内容)	We will research and learn about different places in Japan and Japanese etiquette. Students will be tested by their group and pair presentations.			授業形態	講義	
到達目標	This course's focus is to give students the language,					
使用テキスト	No official textbook is needed for this course.					
成績評価方法	個人発表50%グループの発表 20% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	Attractions of Fukuoka		Introduction and explanation of this semester's goals Teaching useful phrases to be used when explaining factual information. Introduction of the concept of a Storyboard.			
2回	Attractions of Fukuoka		Continue working on storyboard; Students research respective chosen locations Explanation of how to give a presentation in English. Presentation practice in groups			
3回	Attractions of Fukuoka		More group presentation practice Final presentations by groups in front of the class.			
4回	Omotenashi		Introduction and explanation of Ometenashi The history of Furoshiki Demonstration and practice of wrapping various-shaped objects			
5回	Omotenashi		Introduction of focus: Japanese etiquette / Useful Group work: Research and make a presentation (Examples of Japanese etiquette: Introducing yourself formally and casually, using chopsticks etc.)			
6回	Omotenashi		Students make a PowerPoint presentation of their chosen etiquette Practice in their group. Final presentation by groups in front of the class.			
7回	Tourguiding		Introduction of focus: Tourguiding. Explanation of the three stages of tourguiding: Start, During and End Useful Phraes and Vocab – Introduction and Practice			
8回	Tourguiding		Group work: Students choose one area in Japan for their tour Students create a PowerPoint presentation explaining to tourists about the tour itinerary and rules. Students create a PowerPoint presentation explaining to tourists about the tour itinerary and rules.			
9回	Tourguiding		Explanation of giving details about places during the tour and including handling questions. Useful Phraes and Vocab – Introduction and Practice Group work: Students research and start planning the route of their tour.			
10回	Tourguiding		Group work: Students continue planning the route of their tour. Group work: Students use their PowerPoint presentation to take the class on a virtual tour. Group work: Students answer questions from the resst of the class.			
11回	Tourguiding		Explanation of ending the tour. Useful Phraes and Vocab – Introduction and Practice Group work: Students use the language learned to end their tour.			
12回	Tourguiding		Pairwork: Students reseach and plan a tour from beginning to the end including pictures.			
13回	Tourguiding		Pairwork: Students continue to reseach and plan a tour from beginning to the end including pictures. Pairwork: Students practice their tours			
14回	Tourguiding		Pairwork: Simulated Tour Around the School. Students take their classmates around the school			
15回	Tourguiding		Pairwork: Simulated Tour Around the School. Students take their classmate			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	コンピュータMOS			クラス	D	
担当講師(フルネーム)	坂井 隆仁			実務経験	有(ブライダル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	MOS Excel検定合格に向け、対策テキスト&問題集を操作しながらパソコンスキルを身につける			授業形態	実技	
到達目標	MOS Excel 365&2019検定合格					
使用テキスト	よくわかるマスターMOS Excel 365&2019 対策テキスト&問題集 (FOM出版)					
成績評価方法	・期末試験70%(実技試験) 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション (MOS検定)	・学習スケジュールの説明 ・Excelの基本操作の説明(四則演算・オートフィル・日付の入力など) ・テキスト: 出題範囲2 2-1シートのデータを操作する				
2回	セルやセル範囲の データの管理①	・テキスト: 出題範囲2 2-2セルやセル範囲の書式の設定 2-3名前付き範囲を定義する				
3回	ワークシートや ブックの管理①	・テキスト: 出題範囲2 2-4データを視覚的にまとめる ・テキスト: 出題範囲1 1-1ブック内の移動				
4回	ワークシートや ブックの管理②	・テキスト: 出題範囲1 1-2ワークシートやブックの書式設定 1-3オプションと表示のカスタマイズ				
5回	ワークシートや ブックの管理③	・テキスト: 出題範囲1 1-4共同作業のためのコンテンツ設定 1-5ブックにデータをインポートする				
6回	テーブルとテーブル データの管理①	・テキスト: 出題範囲3 3-1テーブルを作成・書式設定する				
7回	テーブルとテーブル データの管理②	・テキスト: 出題範囲3 3-2テーブルを変更 3-3テーブルデータのフィルター・並び替え ・テキスト: 出題範囲1~3の模擬試験にチャレンジ(30分)				
8回	出題範囲1~3 確認テスト	・出題範囲1~3確認テスト ※模擬試験チャレンジ・個別フォロー				
9回	数式や関数を使用した 演算の実行①	・テキスト: 出題範囲4 4-1参照を追加する 4-2データを計算・加工する				
10回	数式や関数を使用した 演算の実行②	・テキスト: 出題範囲4 4-3文字列関数				
11回	数式や関数を使用した 演算の実行③	・テキスト: 出題範囲4 確認テスト ・テキスト: 出題範囲1~4の模擬試験にチャレンジ(30分)				
12回	グラフの管理①	・テキスト: 出題範囲5 5-1グラフを作成する 5-2グラフを変更する				
13回	グラフの管理②	・テキスト: 出題範囲5 5-3グラフの書式設定 ・模擬試験にチャレンジ(30分)				
14回	模擬試験①	・テキスト: 出題範囲5 確認テスト ・模擬試験にチャレンジ(30分)				
15回	期末試験	MOS Excel模擬試験(50分) ※本試験と同様に実施する				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	国際ビジネス科	
科目名	海外観光地理			クラス	D	
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	世界の観光地、自然、祭り、史跡、世界遺産などを学ぶ。 多角的な視点で旅行地理の知識を習得する。			授業形態	講義	
到達目標	観光ポイントの名前と位置、特徴について詳しく述べるができる。(世界遺産検定合格)					
使用テキスト	旅行業務取扱管理者試験テキスト1 観光地理(国内・海外)					
成績評価方法	・期末試験60% 平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	ヨーロッパ1		フランス 観光都市・観光地 その他の観光資源			
2回	ヨーロッパ2		イタリア 観光都市・観光地 その他の観光資源			
3回	ヨーロッパ3		スペイン 観光都市・観光地 その他の観光資源			
4回	ヨーロッパ4		その他ヨーロッパ 観光都市・観光地 その他の観光資源			
5回	発表の準備		グループワーク 世界遺産について調べて資料を作る プレゼンテーションのリハーサルをする			
6回	発表		プレゼンテーション 他のグループのプレゼンテーションを講評する			
7回	アジア1		中国 観光都市・観光地 その他の観光資源			
8回	アジア2		東南アジア 観光都市・観光地 その他の観光資源			
9回	アメリカ1		北アメリカ 観光都市・観光地 その他の観光資源			
10回	アメリカ2		ハワイ・南アメリカ 観光都市・観光地 その他の観光資源			
11回	オセアニア		オーストラリア 観光都市・観光地 その他の観光資源			
12回	発表の準備		グループワーク 観光ポイントを調べる・ツアーを作る プレゼンテーションのリハーサルをする			
13回	発表		プレゼンテーション 他のグループのプレゼンテーションを講評する			
14回	期末試験		ヨーロッパ・アジア・アメリカ・オセアニア 観光ポイントの名称・位置・特徴			
15回	まとめと復習		前期のまとめ 期末試験のフィードバック			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	国際ビジネス科	
科目名	就職活動講座			クラス	D	
担当講師(フルネーム)	小俣 郁美・伊藤 潤			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	・しっかりした自己分析を行い、自身のアピールポイントを明確にする ・就職希望先を明確にし、面接での対応力を身に付ける			授業形態	講義	
到達目標	就職面接において的確な受け答えができるようになる					
使用テキスト	専門学校生のための就職内定 基本テキスト/EMPLOYMENT NOTE 2023					
成績評価方法	・提出物、課題70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回 9/12	オリエンテーション 就職活動の心構えと準備	・就職活動へのアプローチ ・就職活動の流れ				
2回 9/19	自分自身を知る	・ライフスタイルを考える ・将来の夢や目標				
3回 9/26	自己分析	・自己分析の意義 ・自分自身の棚卸し ・自分史の作成				
4回 10/3	自己PR 面接練習	・自己PRの作成 ・面接練習				
5回 10/10	自己PR 面接練習	・自己PRの作成 ・面接練習				
6回 10/17	企業研究 面接練習	・気になる企業を見つける ・気になる企業の研究 ・面接練習				
7回 10/24	企業研究 面接練習	・気になる企業を見つける ・気になる企業の研究 ・面接練習				
8回 10/31	エントリーシート	・就職セミナーのエントリーシート作成				
9回 11/7	エントリーシート	・就職セミナーのエントリーシート作成				
10回 11/14	エントリーシート	・就職セミナーのエントリーシート作成				
11回 11/28	面接対策	・面接の種類と心構え ・模擬面接				
12回 12/5	面接対策	・模擬面接				
13回 12/12	面接対策	・模擬面接				
14回 1/16	面接対策	・就職セミナーの振返り ・模擬面接				
15回 1/23	まとめ	・内定から入社まで				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	TOPIK 1			クラス	D	
担当講師(フルネーム)	李尚恩/朴潤姫			実務経験	無	
授業概要(内容)	TOPIKの過去問、解き方を工夫して聞き取りや読解練習			授業形態	講義	
到達目標	TOPIK2で中級に合格					
使用テキスト	今知りたい韓国を読む(朝日出版社)					
成績評価方法	期末試験50% 平常点50%(小テスト含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
2回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
3回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
4回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
5回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
6回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
7回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
8回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
9回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
10回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
11回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
12回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
13回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
14回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
15回	期末試験		復習・期末試験			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	韓国語文法			クラス	D2	
担当講師(フルネーム)	権京愛			実務経験	無	
授業概要(内容)	韓国語の体系的な文法の基礎を理解させ、「語彙と表現」及び「文型」練習を通して文章の読み書き能力を養うように務める。			授業形態	講義	
到達目標	さまざまな文法や表現を学んで韓国語の文法を確実に身につける。					
使用テキスト	いよいよ韓国語(朝日出版社)					
成績評価方法	・期末テスト50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	6課		「～ましょうか」「～したい」			
2回	6課		漢数詞・形容詞①			
3回	6課		読み書き練習、聞き取り練習			
4回	7課		形容詞②・안 否定文			
5回	7課		「形容詞＋名詞」・「부＋名詞」			
6回	7課		読み書き練習、聞き取り練習			
7回	8課		「～から～まで」・「～ましたか」			
8回	8課		「～て／～で」・「～しない、～くない、ではない」			
9回	8課		読み書き練習、聞き取り練習			
10回	9課		「～で」・「～てください」			
11回	9課		「～しなければなりません(か)」・「～したらいいですか」			
12回	10課		聞き取り練習・「～するつもりですか」・「～しにいきます(か)」			
13回	10課		「～してみてください」・「～することができます(か)」			
14回	「期末テスト」		聞き取り練習・「期末テスト」			
15回	まとめ		テストのフィードバックと韓国文化体験			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	英語で観光地紹介			クラス	D-1	
担当講師(フルネーム)	Pat Brown			実務経験	無	
授業概要(内容)	This course is designed to introduce sightseeing spots around the world to students. They will also learn about traveller profiles and tour itineraries.			授業形態	講義	
到達目標	This course's goal is to give students the language, practice & confidence to describe a tour itinerary in E					
使用テキスト	No textbook; Handouts will be given to the students..					
成績評価方法	5回のツアーの発表 70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	Orientation Syllabus Explanation Travel Expert Phrases		Introduction and explanation of this semester's goals Explain the lesson flow / Talk about the topic – places they have been and want to go Introduce and practice phrases used by travel agents			
2回	Traveller's Profiles Destination #1 (Asia)		How to plan a tour – step-by-step guide Choose a traveller profile and a country in Asia Start planning your tour / Reseach the location and find activities that m			
3回	Destination #1 (Asia)		Continiue planning the tour / Prepare PowerPoint presentation Present your tour (Evaluated activity) Answer a question about your tour / Feedback			
4回	Review Tour Planning Guide Destination #2 (North & Central America)		Go over the planning guide and remind students to use Choose a traveller profile Start planning your two-day tour			
5回	Destination #2 (North & Central America)		Continiue planning the tour Prepare PowerPoint presentation			
6回	Destination #2 (North & Central America) Destination #3 (South America)		Present tour (Evaluated activity) / Answer a question Discuss Destination #3 (South America) / Choose a traveller profile Start planning your three-day tour / Research the			
7回	Destination #3 (South America)		Continue preparing your tour.			
8回	Destination #3 (South America) Destination #4 (Africa)		Present tour (Evaluated activity) / Answer a question about tour / Feedback Discuss Destination #4 (Africa) Choose a traveller profile / Start planning your four-day			
9回	Destination #4 (Africa)		Continiue planning the tour Prepare PowerPoint presentation			
10回	Destination #4 (Africa)		Continue preparing your tour.			
11回	Destination #4 (Africa) Destination #5 (Europe)		Present tour (Evaluated activity) / Answer a question Discuss Destination #5 (Europe) Choose a traveller profile / Start planning your five-day			
12回	Destination #5 (Europe)		Continiue preparing your tour. Prepare PowerPoint presentation			
13回	Destination #5 (Europe)		Continue preparing your tour.			
14回	Destination #5 (Europe)		Continue preparing your tour.			
15回	Destination #5 (Europe)		Finish preparing for your five-day tour Present tour (Evaluated activity) / Answer a question about tour / Feedback			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	韓国語会話			クラス	D2	
担当講師(フルネーム)	権京愛			実務経験	無	
授業概要(内容)	韓国語の自然な発音とアクセントを習得させ、毎回の授業には必ず演習を取り入れ、韓国語の日常会話を学ばせる。			授業形態	講義	
到達目標	日常会話や簡単な接客ができる会話力を身につける。言いたいことがある程度言える。					
使用テキスト	「韓国語の世界へ」初中級編(朝日出版社)					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	経験表現	「～したことがある / ない」				
2回	継続、進行表現	「～している」・ 変則用言の活用(2)				
3回	理由を表す表現	「～ので」「～だから」				
4回	ステップアップ文法2	「語尾・接続」				
5回	状況の説明・婉曲表現	「～けど」「～が」				
6回	許可を表す表現	「～てもいい」 変則用言(3)				
7回	意志と推量を表す表現	「～するんですよ / ～ ですから」				
8回	義務や必要の意味の表現	「～しなければならない」				
9回	同意や勧誘表現	聞き取り練習 ・ 「～でしょうか」「～ましょうか？」				
10回	可能・不可能の表現	「～できる」「～できない」				
11回	推測表現	「～するようだ」「～したようだ」「～しそうだ」				
12回	禁止表現	「～してはいけない」				
13回	ステップアップ文法3	「連体形」				
14回	期末テスト	期末テスト				
15回	まとめ	韓国文化体験				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	国際ビジネス科	
科目名	英作文演習			クラス	C	
担当講師(フルネーム)	クスターズ 妙子			実務経験	無	
授業概要(内容)	英語の基礎文法の学び直しをし、基礎的な文法知識を習得する。 英作文のトレーニングを併せて行うことで、文法の定着を図る。			授業形態	講義	
到達目標	英語の基礎文法をしっかりと理解し、簡単な英文をスピーディーに作成できるようになる。					
使用テキスト	どンドン話すための瞬間英作文トレーニング、高校英文法をひとつひとつわかりやすく					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の目的と進め方、評価方法について説明する。 自分のレベルを知るために英作文を書いてみる。			
2回	複合関係詞		複合関係詞を復習し、問題を解く。 複合関係詞を用いた英作文トレーニングを行う。			
3回	名詞節の接続詞を使った表現		名詞節の接続詞の表現を理解し、問題を解く。 接続詞を用いた英作文トレーニングを行う。			
4回	副詞節の接続詞を使った表現		副詞節の接続詞の表現を理解し、問題を解く。 接続詞を用いた英作文トレーニングを行う。			
5回	強調構文		強調構文の表現を理解し、問題を解く。 強調構文の表現を用いた英作文トレーニングを行う。			
6回	形式主語・目的語		形式主語・目的語の基本を理解し、問題を解く。 形式主語・目的語を用いた英作文トレーニングを行う。			
7回	時制の一致と話法		時制の一致と話法の基本を理解し、問題を解く。 時制の一致と話法を用いた英作文トレーニングを行う。			
8回	疑問詞を用いた表現		疑問詞の基本を理解し、問題を解く。 疑問詞を用いた英作文トレーニングを行う。			
9回	復習テスト		重要文法の復習を行う。 数の読み方			
10回	英文レポートの書き方		これまでの英文法を用いてレポートの書き方を学ぶ。 テーマの選定を行う。			
11回	英文レポートの作成		テーマに沿ったレポート作成を行う。			
12回	英文レポートの作成		テーマに沿ったレポート作成を行う。			
13回	英文レポートの発表		作成した英文レポートの発表を行う。			
14回	総復習		これまでの英文法の復習を行う。 理解度の確認			
15回	期末試験		期末試験の実施 理解度の確認			

対象学年	2年	学期	通年	学科	国際ビジネス科	
科目名	TOEIC			クラス	C	
担当講師(フルネーム)	日高 郁子			実務経験	有	
授業概要(内容)	TOEICに特化した文法を基礎から復習。語彙力を高め、音読、シャドウイングなどでリスニング力を強化してスコアアップにつなげる。 ※レベルに合わせるためシラバス通りに進まない場合があります。			授業形態	講義	
到達目標	各自の目標スコアを達成する。					
使用テキスト	TOEIC L&R戦略的トレーニング:レベル600 / TOEIC L&R TEST 出る単特急 銀のフレーズ					
成績評価方法	・期末試験50% 単語熟語テスト30% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	前期の総復習 Part5	品詞(名詞、形容詞、副詞)の見分け方 品詞問題の解き方 Part5 品詞以外にも前期に学んだことを生かしてPart5を解く方法を復習する 単語テスト				
2回	分詞の形容詞的用法 &分詞構文 Part4	分詞の形容詞的用法、分詞構文 Part4 Part5 単語テスト				
3回	Part7	Part7(長文の解き方) Part5 単語テスト				
4回	動詞の形 名詞・冠詞 part6	動詞の形 名詞・冠詞 Part6 Part5 単語テスト				
5回	関係代名詞 Part3	関係代名詞 Part3 Part5 単語テスト				
6回	関係副詞 Part4	関係副詞、関係代名詞と関係副詞の置き換え Part4 単語テスト				
7回	仮定法 Part1&2	仮定法 Part1 Part2 Part5 Part6 単語テスト				
8回	比較級	比較級 Part7 Part5 単語テスト				
9回	模擬テスト (リスニング)	模擬テストリスニング 解答 単語テスト				
10回	模擬テスト (筆記)	模擬テスト筆記 解答				
11回	that節	様々なthatの用法 単語テスト				
12回	リスニング全般	Part1~4 単語テスト				
13回	リーディング全般	Part5~7 単語テスト				
14回	文法総復習	Part5 これまでの文法の総復習 単語テスト 期末テスト対策				
15回	期末テスト	期末テスト				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	オンライン英会話			クラス	Cクラス	
担当講師(フルネーム)	久保田 博子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	「型の定着」に加え、SDGsに密接に関連した社会課題について知識を深め、どう解決すべきか思考し、自分の意見を述べる			授業形態	講義&演習	
到達目標	リーディング力、図表や他者意見を読み解く力を身につける					
使用テキスト	Logical Speaking Social Issues Standard (ロジカルスピーキング 社会課題編) WORKBOOK					
成績評価方法	・オンラインレッスン評価60% アセスメント20% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	ロジカルスピーキング 社会課題編 スタンダード	Lesson1 ごみ問題を解決しよう				
2回	ロジカルスピーキング 社会課題編 スタンダード	Lesson2 インターネット犯罪(トラブル)から身を守ろう				
3回	ロジカルスピーキング 社会課題編 スタンダード	Lesson3 地域の活性化を促す為にできることを考えよう				
4回	ロジカルスピーキング 社会課題編 スタンダード	Lesson4 自然災害に備えよう				
5回	ロジカルスピーキング 社会課題編 スタンダード	Lesson5 海洋プラスチックごみを減らそう				
6回	ロジカルスピーキング 社会課題編 スタンダード	Lesson6 生物の絶滅を防ごう				
7回	ロジカルスピーキング 社会課題編 スタンダード	Lesson7 大量余剰・生産過多をなくそう				
8回	英検2次試験対策 トレーニング	準1級～準2級の2次試験を想定した模擬試験				
9回	英検2次試験対策 トレーニング	準1級～準2級の2次試験を想定した模擬試験				
10回	ロジカルスピーキング 社会課題編 スタンダード	Lesson8 男女平等社会の実現を目指そう				
11回	ロジカルスピーキング 社会課題編 スタンダード	Lesson9 食品ロスをなくそう				
12回	ロジカルスピーキング 社会課題編 スタンダード	Lesson10 森林を守ろう				
13回	ロジカルスピーキング 社会課題編 スタンダード	Lesson11 水不足を解消しよう				
14回	スピーキングアセスメント	スピーキングアセスメント				
15回	ロジカルスピーキング 社会課題編 スタンダード	Lesson12 あらゆる不平等(差別意識)をなくそう				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	国債ビジネス科
科目名	英会話			クラス	
担当講師(フルネーム)	Pat Brown			実務経験	
授業概要(内容)	We will practice using everyday English to make conversation and talk a different topics. We will also practice asking questions to make long conv			授業形態	講義
到達目標	This course's goal is to give students the language, practice and confidence to start and Side by Side, Book 2, Third Edition by Steven J. Molinsky and Bill Bliss				
使用テキスト	Side by Side, Book 2, Third Edition by Steven J. Molinsky and Bill Bliss				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ		授業内容		
1回	Syllabus Explanation Review		Introduction and explanation of this semester's goals Talk about the results from last semester and how to improve grades Start Unit 7		
2回	Unit 7		Asking For and Giving Directions / Learning about Places in Town Roleplays / Conversation Journal (write 50 words on a topic related to the lesson)		
3回	Unit 8		Describing People's Actions / Adverbs / Using "If" Roleplays / Conversation Journal (write 50 words on a topic related to the lesson) Describing People's Actions / Adverbs / Using "If" Roleplays / Conversation Journal (write 50 words on a topic related to the lesson)		
4回	Unit 8		Describing People's Actions / Adverbs / Using "If" Roleplays / Conversation Journal (write 50 words on a topic related to the lesson) Describing People's Actions / Adverbs / Using "If" Roleplays / Conversation Journal (write 51 words on a topic related to the lesson)		
5回	Unit 9		Telling Stories / Talking about actions in the Past / Using "While" Roleplays / Conversation Journal (write 50 words on a topic related to the lesson)		
6回	Unit 9		Telling Stories / Talking about actions in the Past / Using "While" Roleplays / Conversation Journal (write 50 words on a topic related to the lesson)		
7回	Unit 9 Units7-9for Mid-Term test		Telling Stories / Talking about actions in the Past / Using "While" Roleplays / Conversation Journal (write 50 words on a topic related to the lesson)		
8回	中期テスト		Units 7-9 Wrting and Speaking		
9回	Unit 10		Talking About Things YOu Can or Could Do / Giving Excuses Roleplays / Conversation Journal (write 50 words on a topic related to the lesson)		
10回	Unit 10 Start Unit 11		Talking About Things You Can / Could Do, Giving Excuses / Review Past Tense, Count & NonCount Roleplays / Conversation Journal (write 50 words on a topic related to the lesson)		
11回	Finish Unit 11 Start Unit 12		Giving Excuses / Review Past Tense, Count & NonCount / Future Actions & Review Time Phrases Roleplays / Conversation Journal (write 50 words on a topic related to the lesson) Future Actions & Review		
12回	Finish Unit 12		Future Actions & Review Time Phrases Roleplays / Conversation Journal (write 50 words on a topic related to the lesson)		
13回	Unit 13		Using "Some" and "Any" / Pronouns and Verb Tenses Review Roleplays / Conversation Journal (write 50 words on a topic related to the lesson)		
14回	Unit 13		Using "Some" and "Any" / Pronouns and Verb Tenses Review Roleplays / Conversation Journal (write 50 words on a topic related to the lesson)		
15回	期末試験		Units 10-13 Wrting and Speaking		

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	コンピュータMOS			クラス	C	
担当講師(フルネーム)	坂井 隆仁			実務経験	有(プライダル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	MOS Excel 365&2019 Expert試験合格に向け、 対策テキスト&問題集を操作しながら、パソコンスキルを身につける			授業形態	実技	
到達目標	MOS Excel 365&2019 Expert試験					
使用テキスト	よくわかるマスターMOS Excel 365&2019Expert 対策テキスト&問題集 (FOM出版)					
成績評価方法	・期末試験70%(実技試験) 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション (MOS検定)	・学習スケジュールの説明 ・MOS Excel 365&2019 Expertに求められるスキルについて、一般の復習テスト、予習について ・テキスト: 出題範囲1 ブックのオプションと設定の管理				
2回	データの管理と書式設定	・テキスト: 出題範囲2 2-1~2-3 既存のデータを使用してセルに入力する。 条件付き書式、入力規則、フィルター				
3回	高度な機能を使用した数式およびマクロの作成①	・テキスト: 出題範囲3 3-1~3-3 関数で論理演算、関数を使用してデータ検索、高度な日付と時間の関数 確認問題				
4回	高度な機能を使用した数式およびマクロの作成②	・テキスト: 出題範囲3 3-4~3-6 データ分析、マクロの作成 確認問題				
5回	実力テスト	出題範囲1~3の実力テストを実施 自分の弱点を再学習する為に実力テストを実施します。				
6回	高度な機能を使用したグラフやテーブルの管理	・テキスト: 出題範囲4 4-1~4-3 高度なグラフ作成、ピボットテーブル、ピボットグラフ作成 復習問題				
7回	実力テスト	出題範囲4の実力テストを実施 自分の弱点を再学習する為に実力テストを実施します。				
8回	復習学習	出題範囲1~4で苦手な所を復習 各自どこができないかをリスト化し、重点的に学習				
9回	模擬試験①	実際に時間を計って実施 各自解答確認後、できなかった所をリスト化し復習学習				
10回	模擬試験②	実際に時間を計って実施 各自解答確認後、できなかった所をリスト化し復習学習				
11回	模擬試験③	実際に時間を計って実施 各自解答確認後、できなかった所をリスト化し復習学習				
12回	模擬試験④	実際に時間を計って実施 各自解答確認後、できなかった所をリスト化し復習学習				
13回	模擬試験⑤	実際に時間を計って実施 各自解答確認後、できなかった所をリスト化し復習学習				
14回	期末試験	成績評価として使用します。				
15回	試験当日の心構え	申し込み用紙記入、日程確認、試験注意点確認				

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	選択TOEIC II			クラス	C	
担当講師(フルネーム)	クスターズ 妙子			実務経験	無	
授業概要(内容)	TOEICのリスニングを主とし、問題形式に慣れ、総合的なリスニング力をつける。 TOEIC頻出の表現を理解する。			授業形態	講義	
到達目標	各自のTOEIC目標スコアを達成する。					
使用テキスト	公式TOEIC Listening&Reading トレーニング リスニング編					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の目的と進め方、評価方法について説明する。 公式問題集を解く。			
2回	Section9		リスニング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施 TOEIC単語の復習			
3回	Section10		リスニング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施 TOEIC単語の復習			
4回	Section11		リスニング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施 TOEIC単語の復習			
5回	Section12		リスニング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施 TOEIC単語の復習			
6回	Section13		リスニング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施 TOEIC単語の復習			
7回	Section14		リスニング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施 TOEIC単語の復習			
8回	Section15		リスニング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施 TOEIC単語の復習			
9回	Section16		リスニング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施 TOEIC単語の復習			
10回	Section17		リスニング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施 TOEIC単語の復習			
11回	Section18		リスニング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施 TOEIC単語の復習			
12回	Section19		リスニング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施 TOEIC単語の復習			
13回	まとめ		公式問題集を解く。			
14回	Section20		リスニング問題を解き、問題形式に慣れ、出題傾向を習得していく。 練習問題の実施 TOEIC単語の復習			
15回	期末試験		期末試験 理解度の確認			

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	国際ビジネス科	
科目名	TOPIK 1			クラス	C	
担当講師(フルネーム)	李尚恩			実務経験	無	
授業概要(内容)	TOPIKの過去問、解き方を工夫して聞き取りや読解練習			授業形態	講義	
到達目標	2年次にTOPIK II 3級合格を目指す					
使用テキスト						
成績評価方法	期末試験50% 平常点50%(小テスト含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
2回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
3回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
4回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
5回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
6回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
7回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
8回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
9回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
10回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
11回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
12回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
13回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
14回	過去問練習		過去問の中の単語や表現を練習する。 聞き取り問題と解解の文法を覚える。			
15回	復習・期末試験		復習・期末試験			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	国際ビジネス科
科目名	英語プレゼンテーション			クラス	C
担当講師(フルネーム)	Pat Brown			実務経験	無
授業概要(内容)	This is a practical course in which we will use role-plays, interactive activities to help students deliver impactful presentations in English			授業形態	講義
到達目標	This course's goal is to give students the language, practice and confidence to make presentation.				
使用テキスト	No textbook; Handouts will be given to students.				
成績評価方法	・毎週の発表70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	× 期末試験なし				
	テーマ		授業内容		
1回	Orientation Syllabus Explanation Your First Presentation		Introduction and explanation of this course's goals Different kinds of speeches and the keys to a successful presentation PRESENTATION: Talk about yourself		
2回	Know Your Audience		Interview your classmates. Learn about their interests. Prepare a presentation that you think they might be interested in. PRESENTATION: Talk to your classmates about a topic they might like		
3回	Structure Your Presentations		Introduce the PEP (Point-Example-Point) structure Prepare a presentation using this structure PRESENTATION: using the PEP structure		
4回	How to Get Your Audience's Attention		Different ways to get your audience's attention from the beginning of your speech Prepare 2 attention-getting openings for a presentation PRESENTATION: Present the openings you have prepared		
5回	Use Powerful Visuals		Learn the importance of visuals and how to choose them effectively Prepare visuals to go with a simple presentation. PRESENTATION: Talk about your topic while presenting the visuals.		
6回	Using the Right Intonation and Volume When Speaking		Learn how meaning is expressed through intonation & the importance of speaking clearly Practice a presentation I will give you. PRESENTATION: Make the presentation using the appropriate intonation and volume		
7回	Using Body Language		Learn the importance of body language when giving a presentation Practice a presentation I will give you. PRESENTATION: Make the presentation using the appropriate body language		
8回	Keeping Things Simple		Learn the importance of keeping your ideas and language simple Prepare a presentation explaining an idea simply PRESENTATION: Present the idea so that it's easy to understand		
9回	What to Do About Nervousness		Learn different strategies about how to manage nervousness. Prepare a presentation on a topic of your choice PRESENTATION: Talk about it using the strategies discussed		
10回	How to Persuade and Influence Your Audience		Learn persuasive language and how to use it in a presentation Prepare a persuasive presentation about a controversial topic PRESENTATION: Try to convince your classmates to change their opinions on the topic.		
11回	The Power of Storytelling		Learn the effectiveness of telling a personal or fictional story Prepare a presentation with a story PRESENTATION: Make your presentation and try to get your audience to feel your emotion		
12回	Presenting in Pairs or in a Group		Learn how to divide roles to each team member and practice as a group Prepare a presentation with your partner / group PRESENTATION: Present with your partner / group HOMEWORK: Choose a topic and write a presentation for the final class.		
13回	Virtual Presentation Skills		How to present online via Zoom or Teams / Managing technical difficulties Prepare a virtual presentation PRESENTATION: Make your presentation to your classmates		
14回	Handling Questions		Learn how to respond to questions about your presentation Prepare a presentation PRESENTATION: Make your presentation and answer question		
15回	Final Presentation		Review of the entire semester's tips Final practice of your pre-written speech PRESENTATION: Make your presentation (5 minutes)		

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	国際ビジネス科	
科目名	韓国語プレゼンテーション			クラス	C2	
担当講師(フルネーム)	権京愛			実務経験	無	
授業概要(内容)	ビジネス会話の基礎を学んでいるような場面での表現を学ぶ。演習を取り入れ、ビジネスに使う韓国語を身に着ける。			授業形態	講義&演習	
到達目標	将来職場で正しく韓国語が駆使できるようにする。					
使用テキスト	いよいよ韓国語2(朝日出版社)					
成績評価方法	・期末テスト50% 平常点50%(小テスト含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	6課		電話会話(理由や状態について話す)			
2回	6課		聞き取り練習			
3回	7課		注文(注文した品物を交換するなど)			
4回	7課		顧客との会話			
5回	7課		聞き取り練習			
6回	8課		予定や結果について話す			
7回	8課		聞き取り練習			
8回	9課		目的別に計画を立てる			
9回	9課		宿泊施設に予約をする			
10回	9課		聞き取り練習			
11回	10課		取引先とイベントなどの相談をする			
12回	10課		相手の承諾を求める			
13回	10課		聞き取り練習			
14回	期末テスト		期末テスト			
15回	まとめ		テストのフィードバックと韓国文化体験			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	国際ビジネス科	
科目名	英語ディベート			クラス	C	
担当講師(フルネーム)	Pat Brown			実務経験	無	
授業概要(内容)	Students will experience communicating in the real-world and learn how to use their critical thinking skills to talk about current			授業形態	講義	
到達目標	This course's goal is to give students the skills, vocabulary and confidence to discuss various topics in English					
使用テキスト	No textbook; Handouts will be given to students.					
成績評価方法	・毎週のディベートの成績70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	Orientation		Introduction to debating / Basic debate phrases and formats Icebreaker debate – Simple topic (opinions)			
2回	Constructing Strong Arugments		How to write introduction, body and conclusion / Write a pitch to persuade your opponent about a topic. PRACTICE persuading each other			
3回	Reseach and Source Evaluation		How to identify reliable sources online Prepare for a debate about a current topic PRACTICE			
4回	Building and Presenting Case Studies		Making a case study using real examples Prepare by reseaching and writing down important points. PRACTICE presenting thie case study			
5回	Counterarguments and Rebuttal Tips		How do develop a counter argument and rebut your opponent's counterarguments Write a pitch and prepare to challenge your opponent's arugments and defend your own. PRACTICE			
6回	How to Think and Respond Quickly		Learn how to think and respond to what is said quickly. Prepare to debate about a simple topic PRACTICE respoding quickly to what is said.			
7回	Debate Style and Delivery		Learn how to change your voice to have a greater effect / Using body language Prepare to debate about a simple topic PRACTICE using the tips about style an delivery.			
8回	Debate Like a Lawyer		Learn how to express your viewpoint and ask questions like a lawyer Prepare for a debate about a simple topic PRACTICE			
9回	Responding to Your Opponent Like a Lawyer		Learn how to respond in a clear and strong way to y our opponents questions. Prepare to debate a simple topic and rebut your opponents' counterarguments. PRACTICE			
10回	Discussing Sensitive Topics		Learn how to discuss respectfully and with empathy Prepare to debate about a sensitive topic. PRACTICE			
11回	Using Visuals		Learn how to use visual aids (charts, pictures etc.) Prepare to debate about a simple topic using visual aids PRACTICE			
12回	Mock Debates		Prepare for and practice debating on various topics using the skills and strategies learned. PRACTICE			
13回	Final Debate Preparation		Prepare for final debate. Research and prepare visual aid Individual Practice			
14回	Final Debate Preparation		Prepare for final debate. Research and prepare visual aid Individual Practice			
15回	Final Debate		Debate the topic (we will have judges)			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	国際ビジネス科	
科目名	ビジネス韓国語			クラス	C	
担当講師(フルネーム)	李尚恩			実務経験	無	
授業概要(内容)	韓国の歴史、伝統、習慣、社会、文化、政治など全ての分野を理解し、韓国と外国の文化的特性と違いを理解する。			授業形態	講義	
到達目標	韓国語及び韓国の文化への理解を深め、より国際的な眼目を養う。韓国の文化や社会などの教養を涵養し、異文化とは何かその一面を理解する。					
使用テキスト	ワイワイ話そう中級韓国語					
成績評価方法	平常点100% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	내가 잘하는 것	남보다 잘할 수 있는 것에 대해서 자랑 특별한 자격이나 기술에 대해서 이야기				
2回	추억여행	추억에 남는 여행에 대해서 한국인들이 좋아하는 배낭 여행				
3回	우리 동네 안내	나의 고향 소개 볼거리와 먹을거리의 소개				
4回	아르바이트하기	그동안 해 봤던 아르바이트 아르바이트를 통해서 보람을 느낀 것				
5回	친구사귀기	나의 친구 소개 남자와 여자의 우정				
6回	스포츠와 건강	운동 클럽활동				
7回	스트레스 해소법	스트레스가 쌓이지 않게 하는 방법 스트레스를 푸는 방법				
8回	추천하고 싶은 물건	평상시에 자주 쓰는 물건 추천하고 싶은 물건의 장단점				
9回	알뜰한 쇼핑	어디에서 쇼핑을 해요? 쇼핑했을 때 잘 샀다고 생각한 순간과 반대				
10回	패션	유행하는 패션 한국식 패션				
11回	나의 꿈	꿈을 향해 노력한 점				
12回	데이트 코스	데이트 나가기 전에 신경쓰는 것				
13回	약속하기	나와의 약속 타인과의 약속				
14回	연락 방법의 변화	일상생활에서 핸드폰의 의존				
15回	외국어 학습	한국어를 배워서 좋은 점				

夜間総合観光

学年	科目名
1	マナープロトコール
1	就職対策
1	筆記試験対策
1	面接対策
1	世界遺産検定対策
2	観光マーケティング
2	観光地理
2	Web広告戦略
2	フレッシュャーズ教育

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	夜間総合観光科	
科目名	マナー&プロトコールの基礎知識			クラス	Y	
担当講師(フルネーム)	金森 和彦			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	授業を通して社会人になった際の知識(国際儀礼・文化)を事前に身につける			授業形態	講義	
到達目標	国際人としての一般知識を身に着ける					
使用テキスト	マナー&プロトコールの基礎知識					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	社会人として必要なマナー	好印象を与えるコミュニケーションとは 礼装の基準 手紙のマナー				
2回	ビジネスシーンのマナー	ビジネスマナーの必要性 社会人としての心構え 来客対応				
3回	食事のマナー	食事の作法の基準 和食のマナー 和室の作法				
4回	お酒のマナー	お酒の種類 ワインの基礎知識 その他のお酒				
5回	「冠」のしきたり	冠婚葬祭とは 日本の主な通過儀礼				
6回	「婚」のしきたり	結婚の変遷 結婚式のマナー				
7回	「葬」のしきたり	仏教の葬儀 神式の葬儀 キリスト教式の葬儀				
8回	「葬」のしきたり	葬儀・告別式のマナー 法要のしきたり				
9回	「祭」のしきたり	1月の行事				
10回	「祭」のしきたり	2～3月の行事				
11回	「祭」のしきたり	4～12月のしきたり				
12回	国際儀礼について	国際人としての振る舞いについて				
13回	国際儀礼について	主要国の文化の違い				
14回	国際儀礼について	宗教における風習の違い				
15回	まとめ	新入社員として、必要なマナーを習得する				

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	夜間総合観光科	
科目名	就職対策			クラス	Y	
担当講師(フルネーム)	金森 和彦			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職活動に向けて意識を高め、具体的な行動と準備ができるようになる この授業はLHRと平行して行う			授業形態	講義	
到達目標	就職活動に必要な必要事項の完成を目指す					
使用テキスト	専門学校のための就職内定基本テキスト 就職ノート					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする 平常点(授業態度 就職活動の姿勢)80% レポート・演習20%				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	就職活動の心構え		就職活動とは・学生と社会人の違い・なぜ働くのか？ 採用の基準(求められる人材・一緒に働きたい人とは) 自己PRをつくろう。			
2回	企業を知ろう		企業研究の進め方を知ろう 就職室を活用しよう 業界・業種・職種を調べよう			
3回	企業を知ろう		求人票をチェックしよう 企業に問い合わせをしよう 説明会に参加しよう			
4回	企業を知ろう		OB、OG訪問を活用しよう 入社後の自分をイメージしよう 志望動機を書こう。			
5回	就職に必要な書類とは		就職活動の流れと書類 問い合わせメールの書き方			
6回	就職に必要な書類とは		企業への電話のかけ方 エントリーシートを書こう			
7回	就職に必要な書類とは		エントリーシートを書こう			
8回	就職に必要な書類とは		エントリーシートを書こう			
9回	就職に必要な書類とは		履歴書を書こう			
10回	就職に必要な書類とは		書類の送り方			
11回	面接対策とは		面接の種類と心構え 面接官の視点を知ろう 身だしなみを整えよう			
12回	面接対策とは		好印象を与える話し方、言葉使い 個人面接の流れと対策			
13回	面接対策とは		集団面接の流れと対策 グループディスカッションの流れと対策説明			
14回	面接対策とは		よくある質問例と答え方 内定から入社まで			
15回	内定から入社まで		まとめ			

対象学年	1年	学期	通年(後期)	学科	夜間総合観光科	
科目名	筆記試験対策			クラス	Z	
担当講師(フルネーム)	北村正雄			実務経験	無	
授業概要(内容)	現在ホテル・エアライン・旅行会社などいろいろな企業が採用しているのが㈱リークルートマーケティング社のSPIです。SPIを学習することで各企業の能力検査試験に対応できます。このSPI能力検査試験に合格しなければ面接には進めません。キツイけど一緒に頑張ります。			授業形態	講義	
到達目標	ホテル・エアライン・旅行系などの企業の就職試験に合格するのに必要な学力の修得					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	国語		SPI PAPER&テストセンター(文法 長文の要旨 文章並び替え) 難しい漢字の読み書き ことわざ 四字熟語 同音異義語 同訓異義語			
2回	国語		SPI PAPER&テストセンター(文法 長文の要旨 文章並び替え) 難しい漢字の読み書き ことわざ 四字熟語 同音異義語 同訓異義語			
3回	数学		集合分野はSPIでは極めて重要な分野です。ほとんどの企業で出題が予想されます。集合はカブリのことです。ベン図 オイラー図 の理解がポイントです。集合では独特の日本語の理解が必要です。少なくともの意味			
4回	数学		集合分野はSPIでは極めて重要な分野です。ほとんどの企業で出題が予想されます。集合はカブリのことです。ベン図 オイラー図 の理解がポイントです。集合では独特の日本語の理解が必要です。少なくともの意味			
5回	国語		漢字検定準2級(熟語の構成 部首 対義語 類義語 他)			
6回	玉手箱		表の計算 グラフの読み取り ①			
7回	玉手箱		表の計算 グラフの読み取り ①			
8回	国語		SPI PAPER&テストセンター(文法 長文の要旨 文章並び替え) 難しい漢字の読み書き ことわざ 四字熟語 同音異義語 同訓異義語			
9回	国語		SPI PAPER&テストセンター(文法 長文の要旨 文章並び替え) 敬語問題 文章整理問題他 四字熟語 同音異義語 同訓異義語			
10回	数学SPI テストセンター過去問		推論 集合 順列 組み合わせの過去問 問1~問12 推論 6個の玉を箱PQIに分けて入れた PはQの2倍 Qの玉は何個か 9人にイヌ ネコ 小鳥どれを飼いたいかわからない 多い順にイヌ ネコ 小鳥 無回答無し 小鳥の回答人数は			
11回	数学SPI テストセンター過去問		推論 集合 順列 組み合わせの過去問 問13~問25 集合 クラスの30人のうち、運動部の生徒16人 運動部と文化部の両方2人 どちらにも入っていない生徒は4人 文化部に入っている生徒は何人?			
12回	数学SPI テストセンター過去問		推論 集合 順列 組み合わせの過去問 問26~問38 組み合わせ PQRSTUVの7人を3人部屋と4人部屋に振り分けたい 分け方は何通り? 確率PQR3人がサイコロを振った Pが最大の目 QとRが同じ目となる組み合わせは何通り?			
13回	数学SPI テストセンター過去問		推論 問1~問8 RSTU 4人の交通費の問題 4店舗の位置の問題 LMNOPQ 6人の待ち合わせ場所の到着の前後関係 嘘・本当の発言問題 トーナメント方式の勝敗の結果 トーナメント表の作成			
14回	数学		サイコロや立方体を左右・前後に何回か回転させたのち、Aの面の回転の軌跡、立方体の性質が分かればすぐに解けるので、絶対に落とせない分野 $Y=ax$ $Y=ax+b$ $Y=ax^2+bx+c$ 一次関数 二次関数 傾き 切片 比例定数 条件と領域			
15回	構造的把握力検査		この分野は、SPI・3になって初めて導入された分野です。 1問5択の選択肢が用意されています。問題処理の考え方の構造が似ているものを二つ選ぶ問題。 慣れないと問題の意味を理解するのが難しい。問題を解いても正解に到達できるわけではありません。			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	夜間総合観光科	
科目名	面接対策			クラス	Y	
担当講師(フルネーム)	牟田口 真理子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職試験に向けて、面接の対策を行う。			授業形態	講義	
到達目標	面接の基本動作習得、より評価の高い受け答えができる					
使用テキスト	専門学校生のための就職内定基本テキスト、就職ノート					
成績評価方法	・平常点100%(出席状況と受講態度、事後学習の取り組み姿勢による) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の進め方と評価について ・面接試験に臨むまえに ・自己紹介 ・面接の種類と心構え				
2回	面接対策①	面接官の視点を知ろう 身だしなみ 好印象を与える話し方				
3回	面接対策②	・面接のシチュエーションと基本動作 ・自己紹介				
4回	面接対策③	・面接のシチュエーションと基本動作 ・自己PR				
5回	面接対策④	グループディスカッション				
6回	面接対策⑤	・よく聞かれる質問例				
7回	面接対策⑥	・よく聞かれる質問例				
8回	面接対策⑦	・志望動機				
9回	面接対策⑧	・志望動機				
10回	面接対策⑨	・志望動機 ※模擬面接とフィードバック				
11回	面接対策⑩	・配属の希望と理由 ※模擬面接とフィードバック				
12回	面接対策⑪	・アルバイトについて ※模擬面接とフィードバック				
13回	面接対策⑫	・学生時代に力を入れて取り組んだこと ※模擬面接とフィードバック				
14回	就職セミナーの振り返り					
15回	まとめ	・就職試験に臨む前に				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	夜間総合観光科1年
科目名	世界遺産検定対策			クラス	Y選択
担当講師(フルネーム)	金森 和彦			実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	地域ごとの世界遺産を学ぶ 有名観光地の映像を見る			授業形態	講義
到達目標	日本の地域・国々・主な都市・主要世界遺産を覚える				
使用テキスト	世界遺産検定100 世界遺産検定3級公式テキスト				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション	オリエンテーション 授業の進め方などシラバスをもとに説明 教科書の使用方法解説			
2回	世界遺産の基礎について	世界遺産とは ユネスコ 世界遺産と日本			
3回	世界遺産の基礎について	無形文化遺産 グラフと数字目見る世界遺産 世界遺産の基準			
4回	日本の世界遺産	西日本の世界遺産 文化遺産について 自然遺産について			
5回	日本の世界遺産	東日本の世界遺産 文化遺産について 自然遺産について			
6回	海外の世界遺産	ヨーロッパ周辺地区 世界遺産の観光概要や最寄りの交通機関について 画像、地図から世界遺産の魅力について説明 ヒースロー、シャルルドゴール空港など主要空港からの利便性について			
7回	海外の世界遺産	アメリカ地区 世界遺産の観光概要や最寄りの交通機関について 画像、地図から世界遺産の魅力について説明 JFケネディーなど空港など主要空港からの利便性について			
8回	海外の世界遺産	アジア周辺地区 世界遺産の観光概要や最寄りの交通機関について 画像、地図から世界遺産の魅力について説明 主要空港からの利便性について			
9回	海外の世界遺産	オセアニア周辺地区 世界遺産の観光概要や最寄りの交通機関について 画像、地図から世界遺産の魅力について説明 主要空港からの利便性について			
10回	海外の世界遺産	その他周辺地区 世界遺産の観光概要や最寄りの交通機関について 画像、地図から世界遺産の魅力について説明 主要空港からの利便性について			
11回	問題集を解く、解説	世界遺産検定 試験対策(過去問題を解く、解説) 主要国おさらい(ヨーロッパ方面) 地図をもとに場所確認			
12回	問題集を解く、解説	世界遺産検定 試験対策(過去問題を解く、解説) 主要国おさらい(北アメリカ方面) 地図をもとに場所確認			
13回	問題集を解く、解説	世界遺産検定 試験対策(過去問題を解く、解説) 主要国おさらい(南アメリカ方面) 地図をもとに場所確認			
14回	問題集を解く、解説	世界遺産検定 試験対策(過去問題を解く、解説) 主要国おさらい(その他地区) 地図をもとに場所確認			
15回	まとめ	試験問題対策、期末試験について説明 主要国おさらい			

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	夜間総合観光科	
科目名	観光マーケティング			クラス	Z	
担当講師(フルネーム)	中牟田 哲也			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	講義・説明に加え、学生自身で考え発表することを繰り返すことで、接客サービスやトラブル、社内でのコミュニケーション力を高める訓練をする。			授業形態	講義	
到達目標	希望職種の研究をし、現状と課題を自分の言葉で発表できるようになる					
使用テキスト	観光学基礎(JTB総合研究所)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	ガイダンス		自己紹介、講義概要説明 予定進路・就活状況確認 一般常識(諺・四字熟語)			
2回	第10章 観光と情報①		観光行動と情報 観光情報の媒体 グループディスカッションと発表			
3回	第10章 観光と情報②		効果的な観光情報の発信・提供方法 Self Check 一般常識(諺・四字熟語)			
4回	第11章 観光政策と観光行政①		観光政策と観光行政 国の政策 グループディスカッションと発表			
5回	第11章 観光政策と観光行政②		地方における観光政策と観光行政 Self Check 一般常識(諺・四字熟語)			
6回	第12章 観光のマーケティング①		マーケティングと観光への応用 観光マーケティングの対象と観光消費の対象となる「商品」 グループディスカッションと発表			
7回	第12章 観光のマーケティング②		観光マーケティング活動の実際 Self Check 一般常識(諺・四字熟語)			
8回	振り返り		Extension Study(第10章～第12章) グループディスカッションと発表 一般常識(諺・四字熟語)			
9回	第13章 旅の歴史とこれからの旅行①		旅の歴史 グループディスカッションと発表 一般常識(諺・四字熟語)			
10回	第13章 旅の歴史とこれからの旅行②		マストツーリズムからサステイナブル・ツーリズムへ Self Check 一般常識(諺・四字熟語)			
11回	第14章 観光と国際経済・社会・文化①		我が国におけるインバウンドの動向 グループディスカッションと発表 一般常識(諺・四字熟語)			
12回	第14章 観光と国際経済・社会・文化②		観光と国際経済の関わり グループディスカッションと発表 一般常識(諺・四字熟語)			
13回	第14章 観光と国際経済・社会・文化③		観光と国際社会・文化の関わり Self Check 一般常識(諺・四字熟語)			
14回	期末試験		Extension Study(第13章～第14章) 期末試験			
15回	試験FB、まとめ		期末試験のフィードバック まとめ			

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	夜間総合観光科	
科目名	観光地理			クラス	Z	
担当講師(フルネーム)	金森 和彦			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	地域ごとの国々・主な都市及び都市コードを白地図に記入 有名観光地の映像を見る			授業形態	講義	
到達目標	日本の地域・国々・主な都市・有名観光地を覚える					
使用テキスト	国内観光地理サブノート JTB総合研究所					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	日本の概要説明	九州各県の経済、特徴について説明				
2回	東京都(観光、空港情報)	首都東京の観光資源、経済について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明				
3回	大阪府(観光、空港情報)	食い倒れのまち。関西の食文化について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明				
4回	京都府(観光、空港情報)	1,000年の都 日本の伝統工芸について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明				
5回	愛知県(観光、空港情報)	モノづくりのまち。徳川家康の残した文化について 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明				
6回	静岡県(観光、空港情報)	伊豆の観光資源と富士山観光について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明				
7回	長野県(観光、空港情報)	海なし県の文化について 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明				
8回	三重県(観光、空港情報)	伊勢神宮と皇室とのつながりについて説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線紹介				
9回	石川県(観光、空港情報)	加賀百万石など焼き物文化について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線紹介				
10回	新潟県(観光、空港情報)	佐渡島と金山について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介				
11回	福島県(観光、空港情報)	会津若松と白虎隊について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線紹介				
12回	宮城県(観光、空港情報)	東北の中心地。日本三景松島について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線紹介				
13回	岩手県(観光、空港情報)	平泉の世界遺産について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線紹介				
14回	青森県(観光、空港情報)	青函連絡船と世界遺産について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線紹介				
15回	北海道(観光、空港情報)	北海道の大自然と知床の世界遺産について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介				

対象学年	2年	学期	通年	学科	夜間総合観光	
科目名	Web広告戦略			クラス	Z	
担当講師(フルネーム)	坂井 隆仁			実務経験	有(ブライダル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	前期でPCを使う上での基本的な知識を、Officeを使用し学習しながら、同時にデータの取り扱い方、動画制作ホームページの作り方の勉強していきます。			授業形態	実技	
到達目標	パソコンを使って色々な事ができる人材になっていきましょう。					
使用テキスト	特になし。課題、資料等はデータで配布予定。					
成績評価方法	・授業内課題70点 出席30点 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		スケジュール確認、タイピング練習 ファイルの保存、管理、提出方法について			
2回	画像を加工してみよう		画像の取得方法について 画質、ファイル形式について 人物抽出方法の紹介			
3回	Wordでチラシ作成		Wordで画像を使いチラシ作成をしてみましょう 課題作成			
4回	Word応用 画像のある文章作成		前回学んだ画像配置を使い、 画像のある文章を作成してみましょう ビジネス文章を作成してみましょう。			
5回	Excel応用 表作成		Excelで表作成、四則演算をできる様になりましょう。 課題作成			
6回	PowerPoint課題作成①		チーム別に課題作成			
7回	PowerPoint課題作成②		チーム別に課題作成			
8回	PowerPoint課題作成③		チーム別に課題作成			
9回	PowerPoint課題作成④		チーム別に課題作成 課題上映、振り返り			
10回	PowerPoint応用		PowerPointに動画を入れる方法 分割印刷 テンプレートについて			
11回	動画制作①		写真を使ってスライドショーを作成 音楽の挿入、トランジションの使い方 動画広告について			
12回	動画制作②		課題作成 音楽に合わせて動画編集			
13回	Webサイトを 作ってみましょう①		ペライチへ登録 webサイト作成 課題①			
14回	Webサイトを 作ってみましょう②		webサイト作成 課題②			
15回	Webサイトを 作ってみましょう③		webサイト作成 課題③			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	夜間総合観光科	
科目名	フレッシュエズ教育			クラス	Z	
担当講師(フルネーム)	金森 和彦			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	授業を通して社会人になった際の知識(国際儀礼・文化)を事前に身につける			授業形態	講義	
到達目標	国際人としての一般知識を身に着ける					
使用テキスト	マナー&プロトコルの基礎知識					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	マナーとは何か		マナー、エチケット、礼儀、作法の違いやプロトコルを学ぶ意義 新入社員としての多様性の事態のマナーについて			
2回	マナーの歴史と意味		日本の礼儀、作法の成り立ち 西洋のマナー、エチケットの成り立ち アジアのマナーの特徴			
3回	国際人としてのプロトコル		プロトコルの原則 具体的な席次 異文化コミュニケーション			
4回	社会人として必要なマナー		好印象を与えるコミュニケーションとは 礼装の基準 手紙のマナー			
5回	ビジネスシーンのマナー		ビジネスマナーの必要性 社会人としての心構え 来客対応			
6回	食事のマナー		食事の作法の基準 和食のマナー 和室の作法			
7回	お酒のマナー		お酒の種類 ワインの基礎知識 その他のお酒			
8回	「冠」のしきたり		冠婚葬祭とは 日本の主な通過儀礼			
9回	「婚」のしきたり		結婚の変遷 結婚式のマナー			
10回	「葬」のしきたり		仏教の葬儀 神式の葬儀 キリスト教式の葬儀			
11回	「祭」のしきたり		1月から12月までの行事			
12回	国際儀礼について		国際人としての振る舞いについて			
13回	国際儀礼について		主要国の文化の違い			
14回	国際儀礼について		宗教における風習の違い			
15回	まとめ		新入社員として、必要なマナーを習得する			